

旧津市白山郷土資料館解体工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	【建築工事】	(A-24)	1階建具配置図		【電気設備工事】
(A-00)	表題・目次	(A-25)	2階建具配置図	(E-01)	電気設備 配置図
(A-01)	解体工事特記仕様書 1	(A-26)	建具表 1 (A・D・A・W)	(E-02)	電気設備 1階平面図
(A-02)	解体工事特記仕様書 2	(A-27)	建具表 2 (W・D・P)	(E-03)	電気設備 2階平面図
(A-03)	附近見取図・工事概要	(A-28)	家具撤去図 1 (展示台)		
(A-04)	配置図	(A-29)	家具撤去図 2 (展示台)		
(A-05)	仮設計画参考図	(A-30)	家具撤去図 3 (センターモニュメント)		
(A-06)	敷地求積図	(A-31)	家具撤去図 4 (展示台)		
(A-07)	面積求積図	(A-32)	基礎伏図・基礎詳細図		
(A-08)	仕上表	(A-33)	2階床伏図		【機械設備工事】
(A-09)	全体 1階平面図	(A-34)	小屋伏図 (桁レベル)	(M-01)	機械設備 配置図
(A-10)	全体 2階平面図	(A-35)	軸組図 1 (1~4通り)	(M-02)	機械設備 1階平面図
(A-11)	解体 1階平面図	(A-36)	軸組図 2 (5・11~13通り)	(M-03)	機械設備 2階平面図
(A-12)	解体 2階平面図	(A-37)	軸組図 3 (A・I通り)	(M-04)	機械設備 平面詳細図
(A-13)	1階取合部解体平面詳細図	(A-38)	軸組図 4 (B・H通り)		
(A-14)	2階取合部解体平面詳細図	(A-39)	軸組図 5 (C~F通り)		
(A-15)	屋根伏図	(A-40)	自転車置場撤去詳細図		
(A-16)	立面図 1 (東)	(A-41)	外構図		
(A-17)	立面図 2 (西)	(A-42)	外構詳細図		
(A-18)	立面図 3 (南・北)	(A-43)	解体後敷地図		
(A-19)	矩計図				
(A-20)	展開図 1				
(A-21)	展開図 2				
(A-22)	1階天井伏図				
(A-23)	2階天井伏図				

解体工事特記仕様書

- I. 工事名 旧津市白山郷土資料館解体工事
- II. 工事概要
- 1 工事場所 津市 白山中ノ村 地内
 - 2 工事内容 棟名称 旧津市白山郷土資料館
構造 木造2階建て
建築面積 440㎡
延べ面積 544㎡
工事項目 解体工事
- III. 解体工事仕様
- 1 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、最新版）による。
 - 2 特記仕様
 - 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、○の付いたものを適用する。
 - 3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																		
①	① 適用基準	<p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（最新版） ○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ○その他関係法令 																		
一般共通事項	2 発生材の処理等 (1.3.10) (4.4.1) (5.4.1)	<p>○ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設設備・内装材等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根ふき材</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>外装材・上部構造部分</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>引き渡しを要するもの ・ 無 ○ 金属類 ・ PCB含有物 ・ () 特別管理産業廃棄物 ・ 有 () 処理方法 () 木材の縮減 ・ 実施する (最も近い再資源化施設までの距離が50Kmを超える場合に限り) 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ () 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 金属類 ・ 小形二次電池 ・ 蛍光灯及びH I Dランプ ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建設設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																		
建設設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																		
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																		

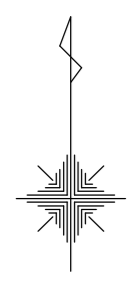
③ 建設副産物情報交換システムの利用	<p>引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。</p> <p>受注者は受注時において延べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。</p> <p>また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p>															
④ 三重県 産業廃棄物税	<p>本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。</p> <p>なお、この期間を超えて請求することはできない。</p> <p>また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p>															
⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	<p>○ 適用する（請負金額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督員に提出すること。</p>															
6 電気保安技術者 (1.3.3)	<p>・ 適用する</p>															
⑦ 疑義	<p>設計図書に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。</p>															
⑧ 施工条件 (1.3.5)	<p>○ 監督員と協議し決定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工可能日</th> <th>指定なし</th> <th>一部に土、日曜日、祝祭日施工あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工可能時間帯</td> <td>指定なし</td> <td>時 ~ 時</td> </tr> <tr> <td>部位別の施工順序</td> <td>指定なし</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>工事車両の駐車場</td> <td>指定なし</td> <td>図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>資機材置場</td> <td>指定なし</td> <td>図示 (図面番号:)</td> </tr> </tbody> </table>	施工可能日	指定なし	一部に土、日曜日、祝祭日施工あり	施工可能時間帯	指定なし	時 ~ 時	部位別の施工順序	指定なし	()	工事車両の駐車場	指定なし	図示 (図面番号:)	資機材置場	指定なし	図示 (図面番号:)
施工可能日	指定なし	一部に土、日曜日、祝祭日施工あり														
施工可能時間帯	指定なし	時 ~ 時														
部位別の施工順序	指定なし	()														
工事車両の駐車場	指定なし	図示 (図面番号:)														
資機材置場	指定なし	図示 (図面番号:)														
⑨ 官公庁手続	<p>工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。</p>															
⑩ 危険災害の防止	<p>1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。 なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。</p> <p>2) 重機搬出時、発生材搬出時、仮設材搬出時には、交通整理のための誘導員を配置すること。</p>															
⑪ 工事進入路	<p>重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。</p>															
⑫ 工事写真	<p>1) 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 2) 工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。</p>															
⑬ 完成写真	<p>写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なして撮影すること。</p>															
⑭ 事故報告	<p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p>															
⑮ 提出書類	<p>施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、その他市監督員の指示するものとする。</p> <p>施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他市監督員の指示するものを添付すること。</p>															
⑯ 産業廃棄物	<p>施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。</p>															

⑰ 不正軽油の使用の禁止	<p>1) 一般事項 県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は、下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p>
⑱ 地下埋設物の確認	<p>中間検査又は完成検査において、地下埋設物の確認を受けること。 確認時期は、監督員と協議し決定する。</p>
⑲ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。 ・ 作業着手までの調査は、事前に施設管理者及び、市監督員と協議するものとする。 ・ 敷地内、周辺での作業・通行等は周辺住民の安全確保に十分配慮すること。 ・ 安全対策のため、作業終了時及び休工時は出入口を施錠すること。 ・ 作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員の立合いのもと写真等に記録しておくこと。 ・ また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担において速やかに復旧すると共に市監督員に報告すること。 ・ 設計書に明記がなくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるもの、並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ・ 工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ・ 緊急且つ必要な場合において、市監督員以外（施設管理者等）が直接受注者に指示することがある。 その場合は当該指示に従うこと。 ・ 廃材、残土等の搬出にあたっては、周辺道路を汚さないよう当然に無理な積込みは行わないこと。 ・ 工事車両等の出庫時は、タイヤ清掃等を行うなど、工事敷地からの土砂の流出抑制に心掛けること。 ・ 喫煙は限られた場所のみとし、現場内は禁煙とする。 ・ 建物付属物については特記なき限り記載の有無に関わらず全て撤去処分とする。 ・ 特記なき植栽は、全て伐採・伐根とし、業者処分とする。 ・ 備品・生活用品等については特記なき限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。 ・ 埋設配管については特記なき限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。 ・ 本工事の仕上げ材には、アスベスト含有の材料があり撤去及び処分の際には、環境省からの「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」に基づいて行うものとする。 ・ 足場は、倒壊がないように堅固に組み立てること。 ・ 台風等により強風が考えられる場合は、足場のシート撤去や部分補強をあらかじめ行うこと。 ・ 本工事期間内（工事完了間際）において、別途 改修工事が行われるため、各受注者と協力し、お互いの工事遂行に影響のないように進めること。 ・ 工事着手は、原則、6月24日からとする。ただし、監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りでない。

章	項目	特記事項																																																								
仮設工事	① 仮設トイレ	構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない																																																								
	② 仮囲い	位置 ○ 図示 (図面番号: A-05) ・ その他 () 仕様 ○ 図示 (図面番号: A-05) ・ 成形鋼板H=3000 ・ 成形鋼板H=2000 ○ その他 (ガ-ドフェンスH1.8m)																																																								
	3 監督員事務所 (2.3.1)	・ 設置する。 監督員事務所の規模 (単位: m) <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 監督職員事務所の仕上げ <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> 備品等の設置 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>受注者加入電話・FAX</th> <th>インターネット</th> <th>冷暖房機器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度							部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台	台
	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																				
	部位等	仕 上 げ																																																								
	床	合板張り又はビニール床シート張り																																																								
	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																								
	屋根	溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																								
	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																				
	数量	組	台	個	個	個																																																				
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																					
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																					
④ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 取出位置 ・ 図示 (図面番号:)																																																									
⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から、工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																																									
⑥ 騒音・粉じん等の対策 (2.2.1)	○ 設ける ・ 防音パネル ○ 防音シート ・ 養生シート 適用範囲、高さ等 図示 (図面番号:) ・ 設けない																																																									
⑦ 仮設鉄板敷	○ 工事用進入路の養生として、鉄板 (t=22) を敷き、養生を行うこと。 位置 ・ 図示 (図面番号:)																																																									
⑧ 使用重機	「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																																									
⑨ 散水養生	解体作業時には粉塵等の飛散を防ぐため、散水養生を行うこと。																																																									
⑩ 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さ及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。																																																									
⑪ 損傷を与えた場合の対応	解体工事により解体建築物以外の建築物や舗装、樹等に損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において原形復旧を行うこと。																																																									

解体施工	③ 1 浄化槽、排水槽等 (3.2.1)	汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う ・ 行わない									
	2 杭の撤去 (3.9.2)	杭の撤去 ・ 行う ・ 行わない 解体方法 ・ 引抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング ・ ()) ・ 破砕 ・ 図示 (図面番号:) 引き抜いた杭の処理 ・ 図示 (図面番号:)									
	③ 樹木等 (3.10.1)	樹木の伐採根及び移植 ○ 行う 図示 (図面番号: A-41) ・ 行わない									
	④ 地下埋設物及び埋設配管 (3.11.1)	地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う 図示 (図面番号:) ・ 行わない									
建設廃棄物の処理	⑤ 解体撤去後の整地 (3.12.1)	・ 砕石 (0-40) にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・ 再生クラッシュラン (RC-40) にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・ 山砂にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ○ 撤去物跡									
	4 産業廃棄物広域認定制度 (4.4.2)	特例による広域処理 ・ 図示 (図面番号:)									
特別管理産業廃棄物の処理	2 最終処分 (4.4.4)	最終処分する廃棄物 ・ () 最終処分場 ・ ()									
	3 処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ CCA 処理木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (1) アスベスト含有石膏ボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (2) ひ素、カドミウム含有石膏ボード</td> <td>・ 埋立処分 ・ 再資源化</td> </tr> <tr> <td>・ (1)(2) 以外の石膏ボード</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建設廃棄物の種類	処理方法	・ CCA 処理木材		・ (1) アスベスト含有石膏ボード		・ (2) ひ素、カドミウム含有石膏ボード	・ 埋立処分 ・ 再資源化	・ (1)(2) 以外の石膏ボード
建設廃棄物の種類	処理方法										
・ CCA 処理木材											
・ (1) アスベスト含有石膏ボード											
・ (2) ひ素、カドミウム含有石膏ボード	・ 埋立処分 ・ 再資源化										
・ (1)(2) 以外の石膏ボード											
特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査 (5.1.2)	特別管理産業廃棄物の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない									
	2 PCBを含む機器類 (5.4.3)	微量PCB、PCB含有シーリング材の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない									
	3 廃油、廃酸、廃アルカリ (5.4.5) (5.4.6)	・ 廃油 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 廃酸 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 廃アルカリ 適用箇所 図示 (図面番号:)									
	4 ダイオキシン類 (5.4.7)	サンプリング調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない 解体方法及び処分方法 ・ () ・ 図示 (図面番号:)									

アスベスト含有建材の除去及び処理	1 適用範囲 (6.1.1)	建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理 ・ 行う 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 行わない															
	② 施工調査 (6.1.2)	分析によるアスベスト含有の調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ○ 行わない															
	3 アスベスト粉じん濃度測定 (6.1.3)	アスベスト粉じん濃度の測定時期、測定場所及び測定点数 <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	測定時期	測定場所	測定点数	備考	処理作業中				処理作業後						
	測定時期	測定場所	測定点数	備考													
	処理作業中																
処理作業後																	
4 アスベスト含有吹付け材の除去・処分 (6.3.2) (6.3.3)	除去工法 ・ 共通仕様書 [6.3.2] (a) ・ 図示 (図面番号:) 除去したアスベストの飛散防止措置 ・ 固化 ・ 湿潤化 除去したアスベストの処分 ・ 埋立処分 ・ 溶融又は無害化による中間処理																
⑤ アスベスト含有成形板 (6.5.3)	処分方法 (石綿含有せっこうボードを除く) ○ 埋立処分 ・ 溶融又は無害化による中間処理																
特殊な建設副産物の処理	① 施工調査 (7.1.3)	分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ○ 行わない															
	② 特殊な建設副産物 (7.3.1)	特殊な建設副産物の種類等 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>回収及び処分</th> </tr> <tr> <td>○ フロン</td> <td>空調機</td> <td>・ (回収及び破壊処理)</td> </tr> <tr> <td>・ ハロン</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	種類	適用箇所	回収及び処分	○ フロン	空調機	・ (回収及び破壊処理)	・ ハロン		・ ()			・ ()			・ ()
	種類	適用箇所	回収及び処分														
	○ フロン	空調機	・ (回収及び破壊処理)														
・ ハロン		・ ()															
		・ ()															
		・ ()															
③ フロン類の回収 (2.4.3)	冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・ フロン回収行程管理票 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業 (ポンプダウン) を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても上記に準じて、冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講ずること。																
④ フロン回収	当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の回収作業を行う場合はフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (平成27年4月1日施行) 等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。																



附近見取図

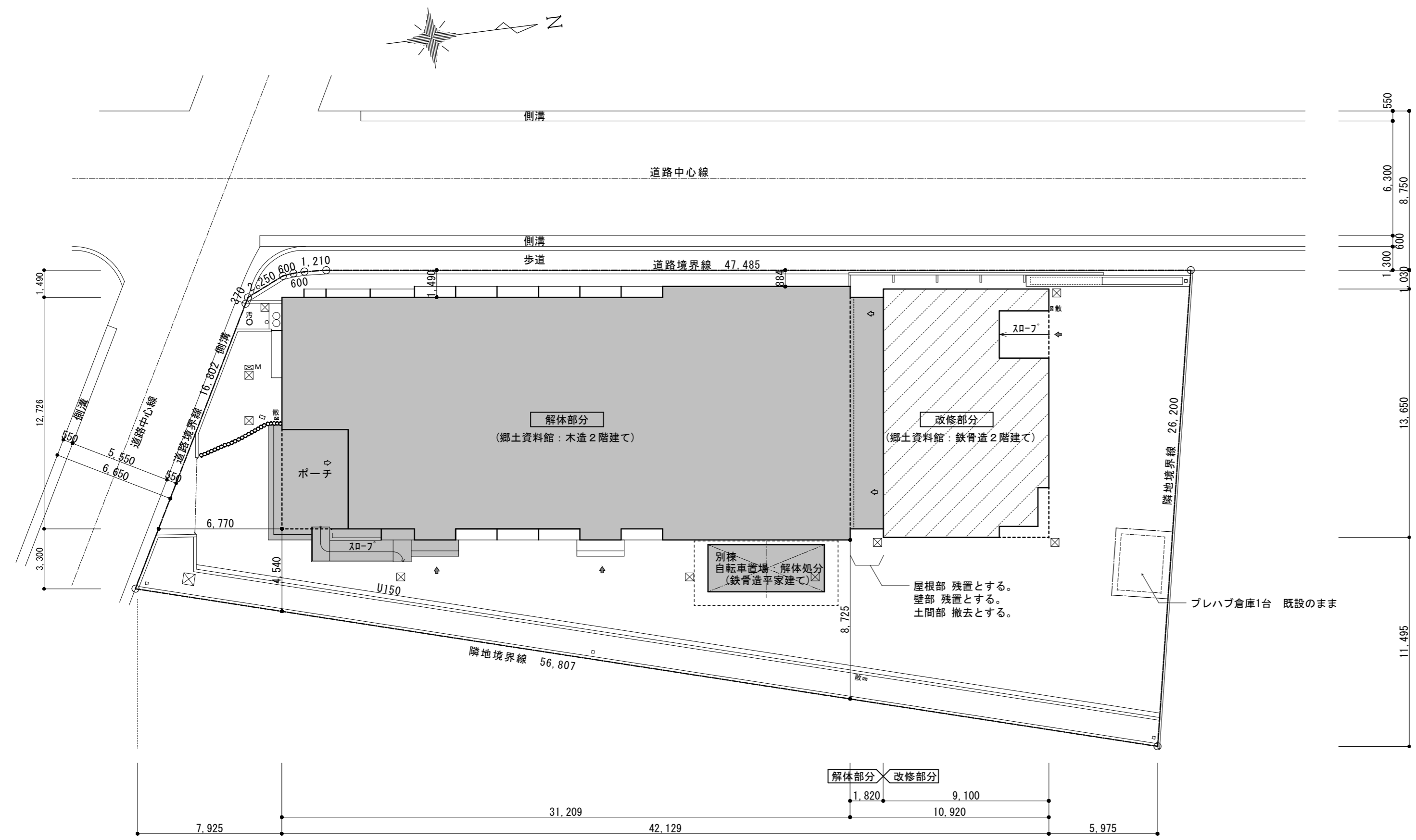
工事箇所：三重県津市白山町中ノ村127番地11

■ 計画概要

工事名称	旧津市白山郷土資料館解体工事
工事場所	三重県津市白山町中ノ村127番地11
敷地面積	1,189.58㎡
用途地域	都市計画区域外
防火指定	
その他の地域	
建ぺい率	48.91%
容積率	60.22%
道路幅員	8.750m
道路接道長さ	69.317m

■ 工事内容

1. 旧津市白山郷土資料館(木造2階建) 解体工事
2. 外構工作物解体工事及び植栽撤去工事
・コンクリート擁壁、CB塀、外灯、看板(基礎共)
自転車置場、その他
・植栽撤去
・アスファルト舗装撤去



配置図 S=1/200

- 解体工事：郷土資料館 - 木造2階建て
- 自転車置場 - 鉄骨造平家建て
- ▨ 改修工事：別注工事(鉄骨造2階建て)

全体面積表

敷地面積	1189.58 m ² (359.9 t)		
	解体建物(自転車置場含む)	改修建物	合計
建築面積	457.59 m ² (138.1 t)	124.21 m ² (37.5 t)	581.80 m ² (175.6 t)
1階床面積	432.37 m ² (130.5 t)	114.20 m ² (34.5 t)	546.57 m ² (165.0 t)
2階床面積	128.59 m ² (38.8 t)	41.40 m ² (12.5 t)	169.99 m ² (51.3 t)
延べ面積	560.96 m ² (169.3 t)	155.60 m ² (47.0 t)	716.56 m ² (216.3 t)

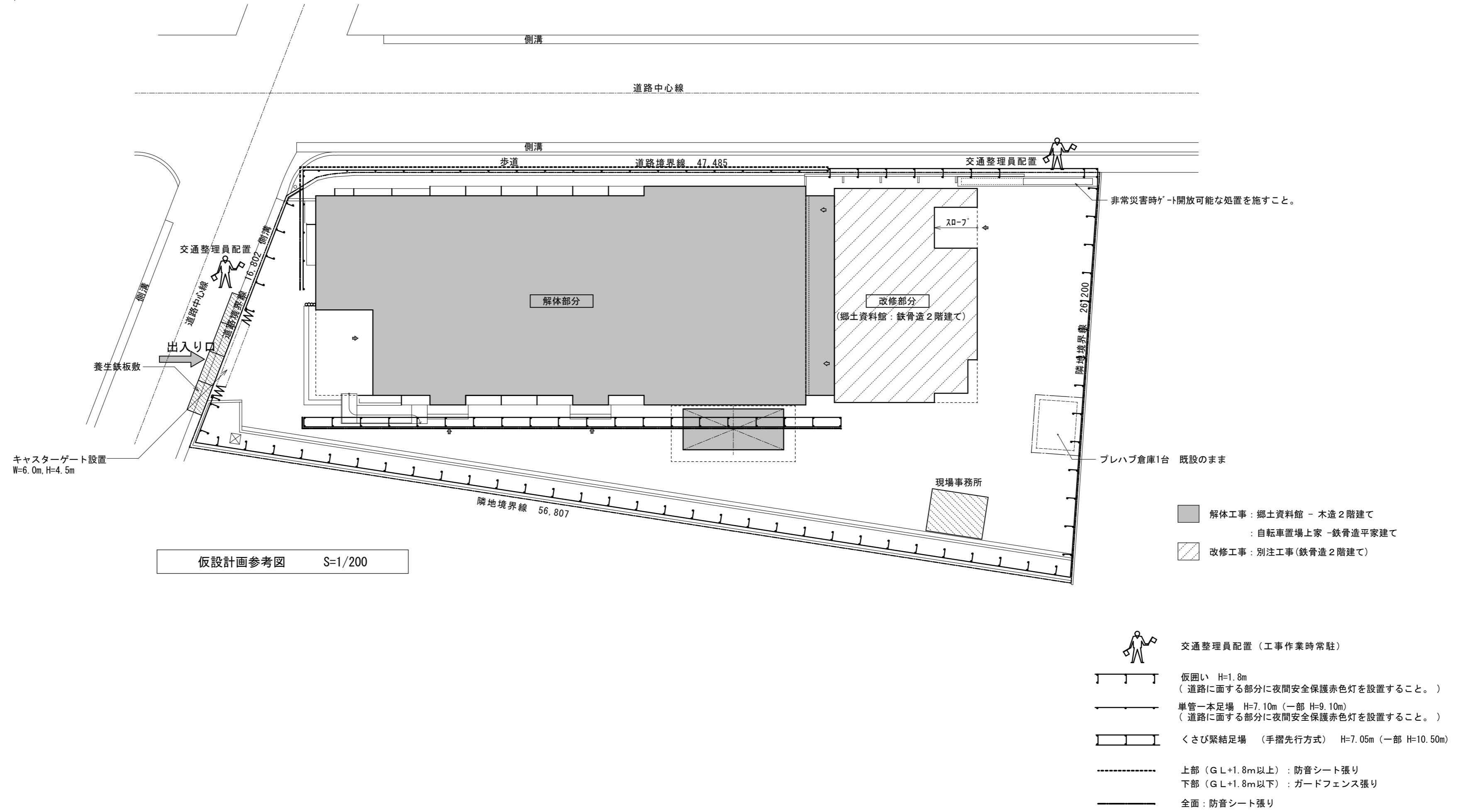
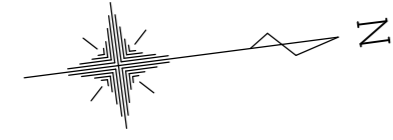
(坪換算:敷地-3.305124m²/坪 建物-3.3124m²/坪)

解体建物 面積表

	解体建物		解体建物合計
	郷土資料館	自転車置場(別棟)	
建築面積	440.95 m ² (133.1 t)	16.64 m ² (5.0 t)	457.59 m ² (138.1 t)
1階床面積	415.73 m ² (121.0 t)	16.64 m ² (5.0 t)	432.37 m ² (130.5 t)
2階床面積	128.59 m ² (38.8 t)		128.59 m ² (38.8 t)
延べ面積	544.32 m ² (64.32 t)	16.64 m ² (5.0 t)	560.96 m ² (169.3 t)

都市計画区域外 建ぺい率 - 容積率 -

建ぺい率	48.91%
容積率	60.22%

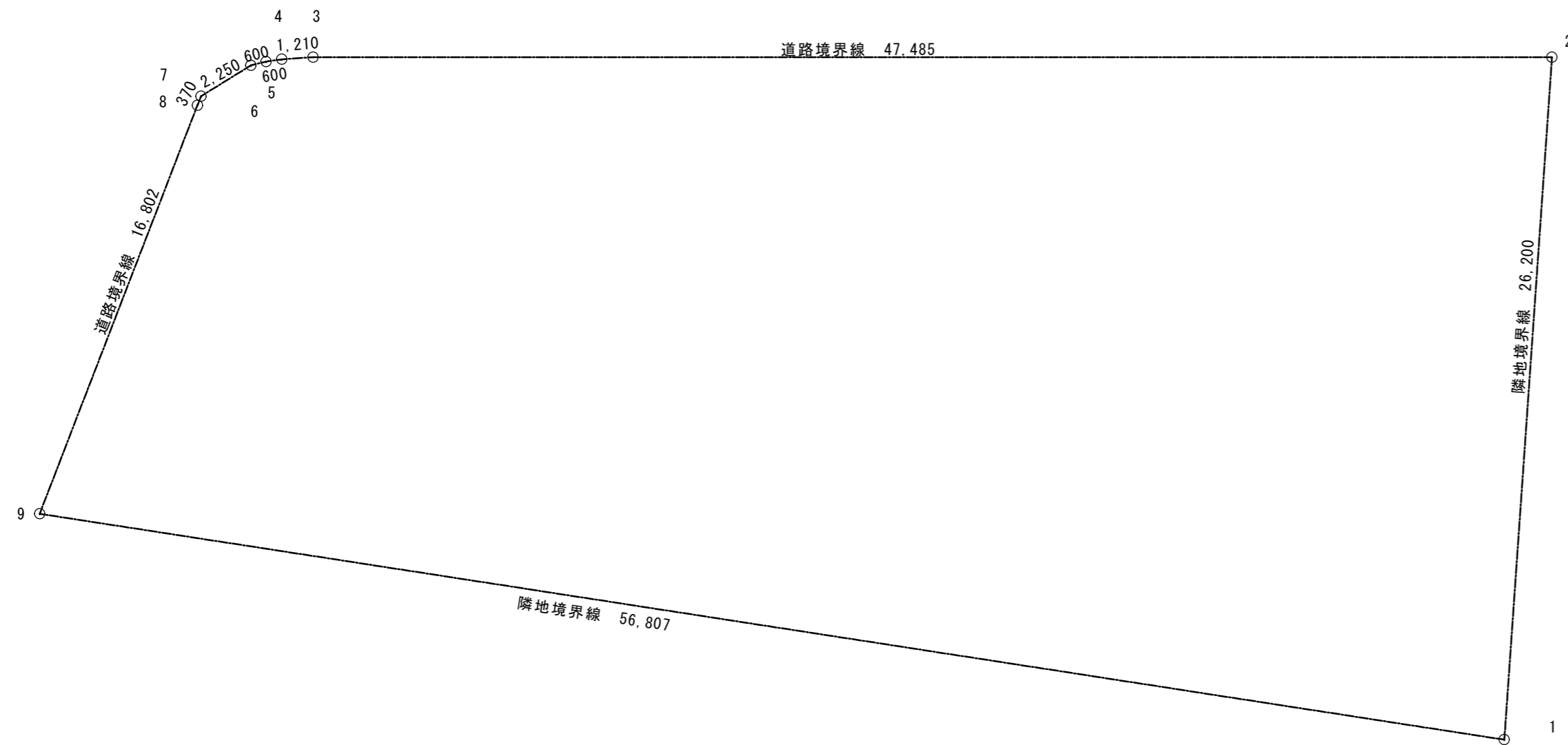
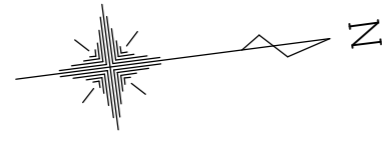


仮設計画参考図 S=1/200

- 解体工事：郷土資料館 - 木造2階建て
：自転車置場 上家 - 鉄骨造平家建て
- 改修工事：別注工事(鉄骨造2階建て)

- 交通整理員配置 (工事作業時常駐)
- 仮囲い H=1.8m
(道路に面する部分に夜間安全保護赤色灯を設置すること。)
- 単管一本足場 H=7.10m (一部 H=9.10m)
(道路に面する部分に夜間安全保護赤色灯を設置すること。)
- くさび緊結足場 (手摺先行方式) H=7.05m (一部 H=10.50m)
- 上部 (G L+1.8m以上) : 防音シート張り
下部 (G L+1.8m以下) : ガードフェンス張り
全面 : 防音シート張り

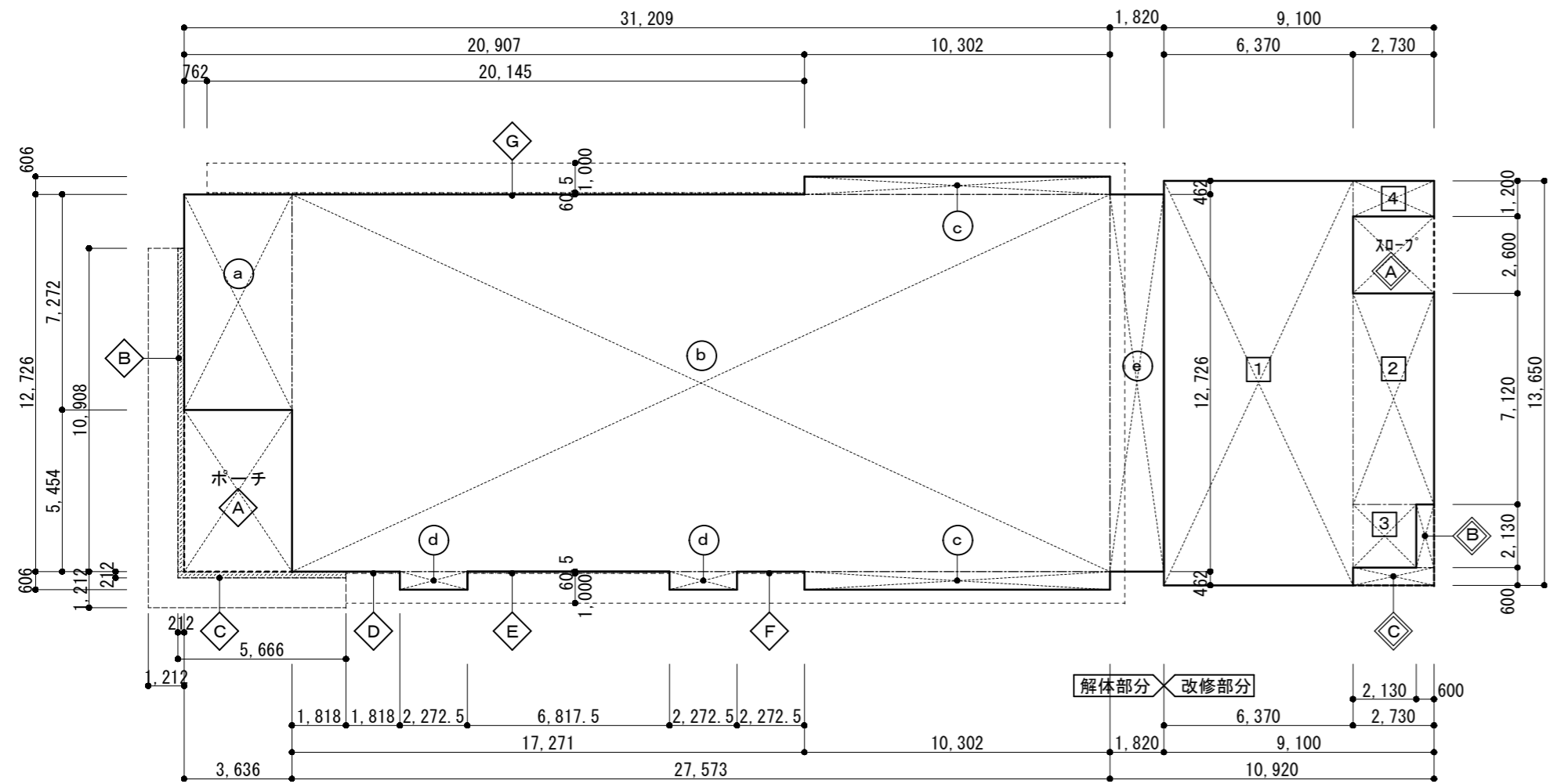
参考



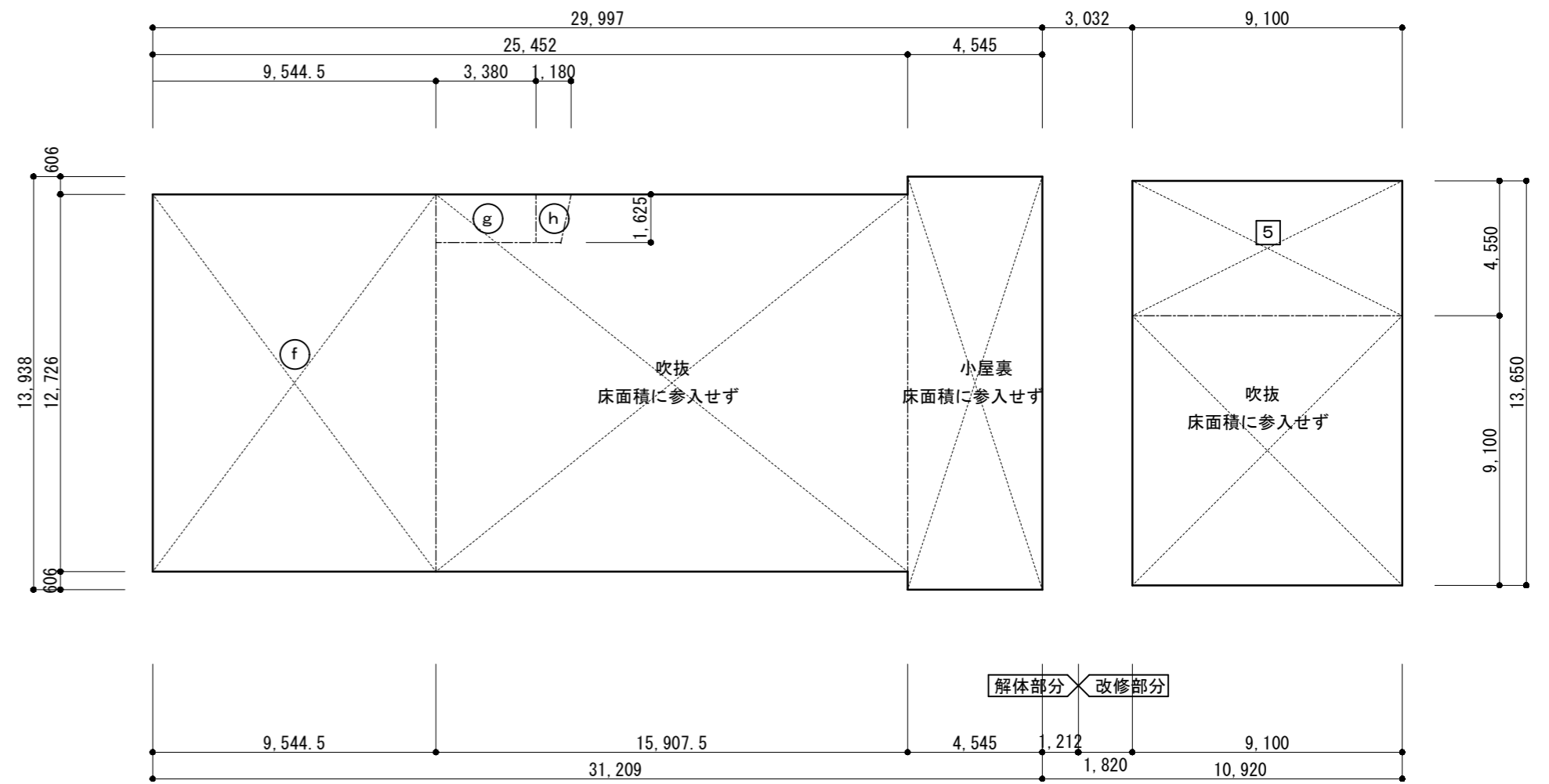
座 標 面 積 計 算 表				
測点	X 座標	Y 座標	辺 長	計 算
1	-1.000	1.000	26.238	51.33485
2	0.822	27.175	47.487	-2580.91845
3	-46.665	27.175	1.210	-65.50389
4	-47.872	27.095	0.600	-32.0813
5	-48.465	27.005	0.600	-31.34943
6	-49.047	26.860	2.250	-100.66664
7	-50.963	25.680	0.371	-6.784862
8	-51.096	25.334	16.801	-211.637664
9	-57.144	9.659	56.808	598.438896
倍 面 積				-2379.16849
× 1/2				-1189.584245
地 積 面 積				1189.58㎡

敷地求積図 S=1/200

参考



1階面積求積図 S=1/200



2階面積求積図 S=1/200

参考

床面積 求積表				■解体部分■				■改修部分■				■全体面積表■	
1階床面積		建築面積		2階床面積・延床面積		1階床面積		建築面積		2階床面積・延床面積		建築面積	全体面積
(a)	3.636 × 7.272 = 26.440992	(A)	3.636 × 5.454 = 19.830744	(f)	9.5445 × 12.726 = 121.463307	[1]	6.37 × 13.65 = 86.9505	(A)	2.73 × 2.60 = 7.098	[5]	9.10 × 4.55 = 41.405	1階床面積	415.73 + 114.20 = 529.93㎡
(b)	27.573 × 12.726 = 350.893998	(B)	0.212 × 10.908 = 2.312496	(g)	3.38 × 1.625 = 5.4925	[2]	2.73 × 7.12 = 19.4376	(B)	0.6 × 2.13 = 1.278			2階床面積	128.59 + 41.40 = 169.99㎡
(c)	10.302 × 0.606 × 2 = 12.486024	(C)	5.666 × 0.212 = 1.201192	(h)	(1.18+0.832) × 1.625 × 1/2 = 1.63475	[3]	2.13 × 2.13 = 4.5369	(C)	2.73 × 0.6 = 1.638			延床面積	544.32 + 155.60 = 699.92㎡
(d)	2.2725 × 0.606 × 2 = 2.75427	(D)	1.818 × 0.0605 = 0.109989			[4]	2.73 × 1.2 = 3.276						
(e)	1.82 × 12.726 = 23.16132	(E)	6.8175 × 0.0605 = 0.41245875				114.201000						
計	415.736604	(F)	2.2725 × 0.0605 = 0.13748625	計	128.590557	計	114.2010	計	10.014				
1階床面積	415.73 ㎡	(G)	20.145 × 0.0605 = 1.2187725	2階床面積	128.59 ㎡	1階床面積	114.20 ㎡	1階床面積	114.20	2階床面積	41.40 ㎡		
		計	25.2231385										
		1階床面積	415.73										
		建築面積	440.95 ㎡	延床面積	544.32 ㎡			建築面積	124.21 ㎡	延床面積	155.60 ㎡		

解体部分 外部仕上表

名称	仕上	名称	仕上
屋根	日本瓦(棧瓦)新磨き 一文字葺 (杉野地板 t 15 + アスファルトルーフィング 22kg / 1巻 + 瓦棧)	樋	軒樋 銅板 120角程度 落シ口 銅板製 谷樋 銅板 t 0.6 m/m 水切取合い部 銅板 t 0.6 m/m
軒裏	ラスモルタル下地しっくい壁 庇屋根等は太平板 t 6 AEP		壁樋 銅板 φ75
外壁	ラスモルタル下地 しっくい塗り 改修部分との取合い：カッター切断の上 ラスモルタル下地しっくい壁 除却の際不都合ヶ所はやり替え	開口部	アルミサッシカラー(黒) 木製建子 米松OP塗2回
腰壁	壁 ラスモルタル下地300角タイル斜め貼り H=1,200 + 二丁掛けタイル 取合いジョイント部しっくい押え	スロープ	手摺り壁：コンクリート打ち放しの上、吹き付けタイル仕上げ 手摺り：SUS304(HL) 42.7φ 床：磁器質50角タイル貼り
巾木	モルタル塗り ミルコート塗り		
ホーチ底	日本瓦(棧瓦)新磨き 一文字葺 鼻隠しケラバ 銅板巻き 揚裏 檜ピーリング合板	その他	サッシ廻り：チオコール10x10 クロスシール：アクリル系 タイルシール：ウレタン系
庇	日本瓦(棧瓦)新磨き 一文字葺 鼻隠しケラバ しっくい塗り 庇揚裏 太平板 t 6 AEP		取合い部：チオコール10x10程度

解体部分 内部仕上表

室名	床	仕上高	巾木・腰	高さH	塗装	壁	天井	天井高	廻り縁	備考
1階 ポーチ	300角 タイル貼	GL+270~300	テラゾーブロック t 25 300角タイル斜貼 しっくい押え	100 1000		ラスモルタル下地 しっくい塗	檜ピーリング合板	2,435	檜小節	丸柱ステンレス t 2.0巻き(鏡面仕上) 450φ 館名表示 白山町郷土資料館8文字ステンレス切枝
風除室	300角 タイル貼	GL+200	テラゾーブロック t 25	100		胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0	2,435	フクビ	天井点検口アルミ枠450角 ステンレス巻 t 2.0W40
展示室	土間コンクリートの上モルタル塗 クッションフロア(重歩行用 t 3.0)	GL+200	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0 + t 15.0 (リブ付) アルミルーバーH30x30角 カラーアクリル板 t 2.0 400x700	4,100~ 5,235	フクビ	米松見切枠OP 立上壁クロス貼 センターモニュメント、展示台(家具)
事務室	土間コンクリートの上 300角 タイル貼 及びカラーフロア直貼 t 12	GL+200 GL+300	テラゾーブロック t 25 米松	100 100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0	2,500 一部2,320	フクビ	上り框：テラゾーブロック t 40 H100 カウンター(家具)
廊下	土間コンクリートの上モルタル塗 クッションフロア(重歩行用 t 3.0)	GL+200	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 太平板 t 6.0 AEP塗	2,370	フクビ	
湯沸	土間コンクリートの上モルタル塗 クッションフロア(重歩行用 t 3.0)	GL+200	ラスモルタル塗 100角タイル貼 ソフト巾木	1,100 75		胴縁下地 耐水ボード t 12.0 流し台面：100角タイル貼 クロス貼	木下地 化粧石こうボード t 9.0	2,230	フクビ	ステンレス流し台(L=1,500) ガス台(L=600) 2口ガスコンロ 吊戸棚(L=600x2) フード換気扇φ250
多目的便所	土間コンクリートの上モルタル塗り クッションフロア	GL+50	ラスモルタル塗 100角タイル貼 ソフト巾木	1,100 75		胴縁下地 太平板 t 6.0 クロス貼	木下地 太平板 t 6.0 AEP塗	2,380	木製	面台：タイル貼り
男子女子便所	土間コンクリートの上 モザイクタイル貼	GL+50	ラスモルタル塗 100角タイル貼	1,200		胴縁下地 太平板 t 6.0 クロス貼	木下地 太平板 t 6.0 AEP塗	2,470	フクビ	
倉庫	土間コンクリートの上モルタル塗	GL+200 GL+100	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 太平板 t 6.0 AEP塗	木下地 化粧石こうボード t 9.0			
物置	土間コンクリートの上モルタル塗	GL+200	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 太平板 t 6.0 AEP塗	木下地 化粧石こうボード t 9.0	2,935	フクビ	
收藏室	土間コンクリートの上モルタル塗 クッションフロア(重歩行用 t 3.0)	GL+200	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 化粧石こうボード t 9.0	2,680 3,990一部2,475	フクビ	梁型 OP塗、柱型クロス巻き 展示台(家具)、東屋風展示台
2階 階段	木板 t 42張り OP塗り		米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0 + t 15.0 (リブ付)		フクビ	手摺パイプ φ34、手摺子16φ@130 H=760 OP塗り ステンレスノンスリップ
廊下	コンパネ t 12下地 カラーフロア t 12	1FL+3,005	米松	100	OP	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0 + t 15.0 (リブ付)	2,230	フクビ	手摺パイプ φ42.7、手摺子φ34.0 12本 H=260 OP塗り 腰壁木製笠木205x24 19.1φx2本、ピクチャーレール
研修室	コンパネ t 12下地 カラーフロア t 12	1FL+3,005	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0	2,500	フクビ	柱型クロス巻き、黒板3,000x1,200、天井点検口アルミ枠450角 ピクチャーレール、スライディングウォール
学習室	コンパネ t 12下地 カラーフロア t 12	1FL+3,005	米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 PB t=9.0+PB t=12.0 クロス貼	木下地 P B t 9.0 + 岩綿吸音板 t 12.0	2,500	フクビ	柱型クロス巻き ピクチャーレール、本棚(家具)
倉庫	コンパネ t 12下地 カラーフロア t 12		米松	100	OP 2回塗	胴縁下地 太平板 t 6.0 AEP塗	木下地 ジブトーン t 9.0	2,400	フクビ	

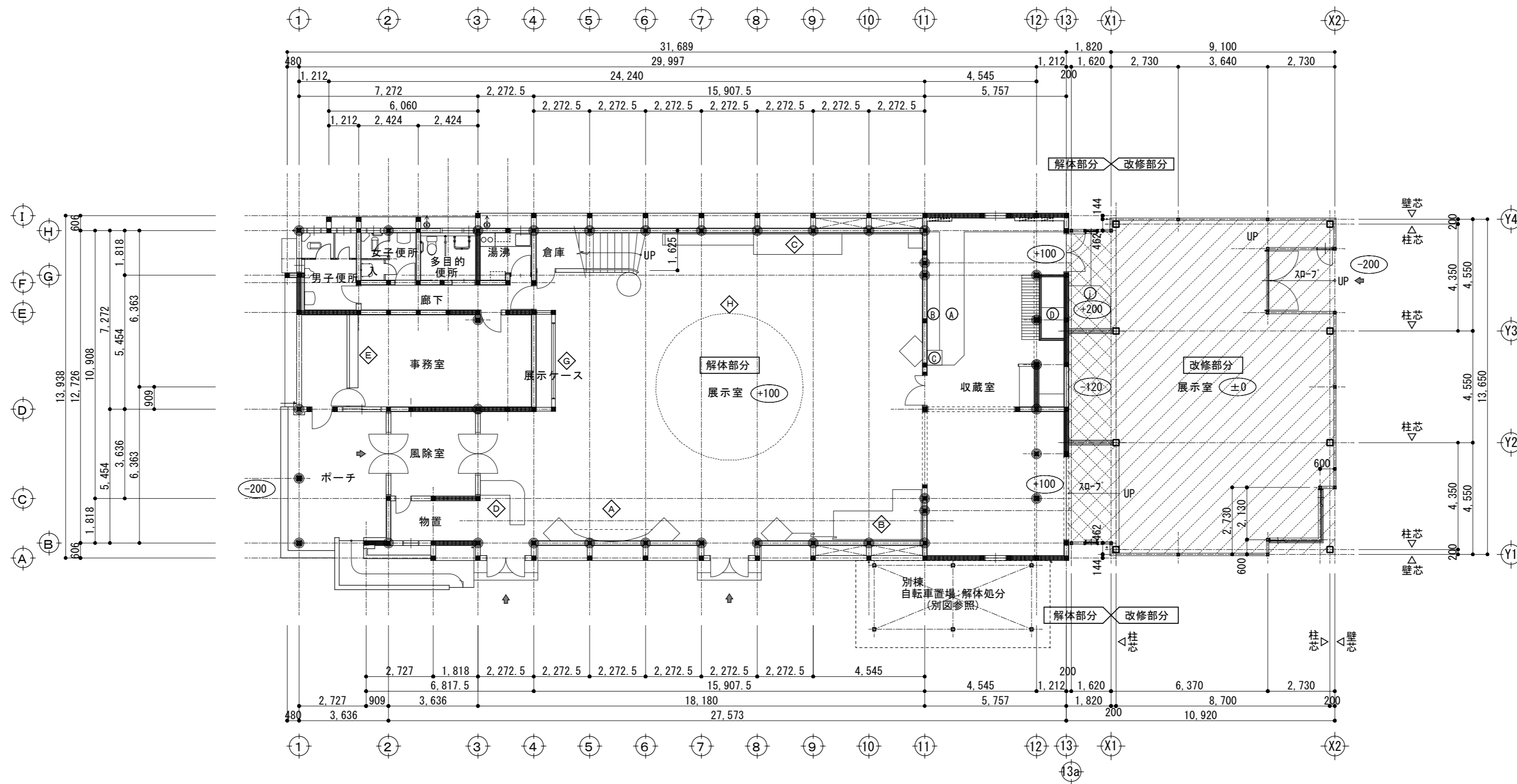
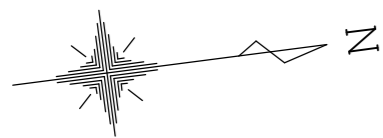
特記事項：壁装材：PB t9.0+PB t12.0 クロス貼=壁装材第0005号

太平板 t6.0	=不燃第1001号	太平板：75% 炭含有成形板対象(ケリタイル11%含有) 特記仕様書に基づき除去処分すること。
天井材：岩綿吸音板 t 12、t 15	=不燃第1021号	
太平板 t6.0	=不燃第1001号	太平板：75% 炭含有成形板対象(ケリタイル11%含有) 特記仕様書に基づき除去処分すること。
化粧石こうボード t 9.0	=不燃第1004号	

2階小屋裏界壁部：土壁(わら、竹含む)

参考

原図:A2

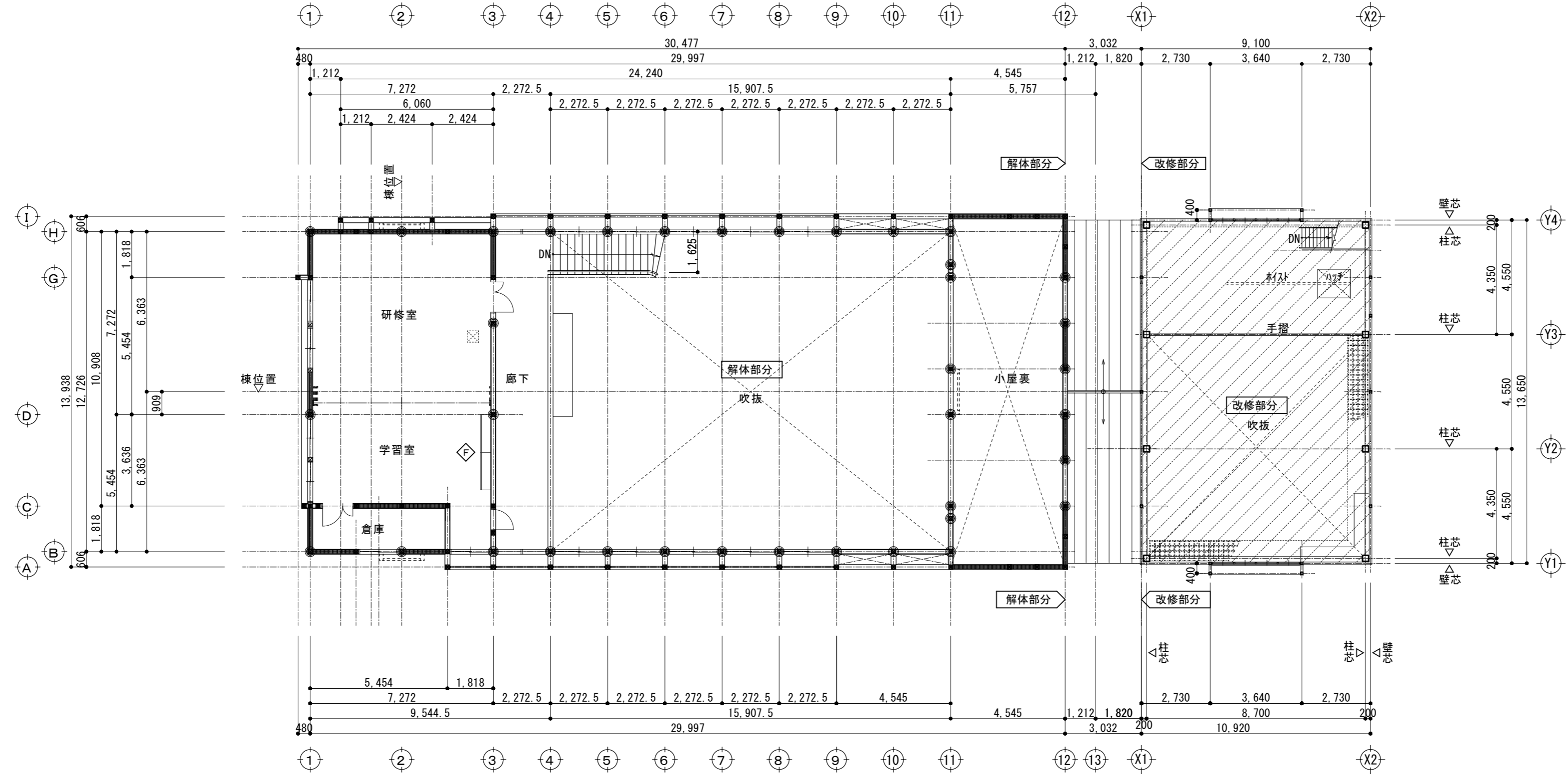
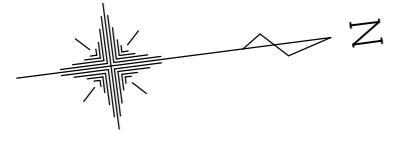


1階平面図 S=1/150 ● は、解体建物通し柱を示す

参考

<p>■ 凡例</p> <p>■ 解体工事</p> <p>□ 解体部分：木造2階建て</p> <p>・基礎、建物、全て撤去処分</p>		<p>■ 解体及び改修工事(平面詳細図参照)</p> <p>▨ 接続部分(本解体工事に含む)：鉄骨造平家建て</p> <p>屋根部残置、壁部残置、土間部撤去。</p> <p>屋根及び13a通り柱は残す。</p>		<p>■ 改修部分(別注改修工事)：鉄骨造2階建て</p>	
<p>・展示家具：撤去処分(別図参照) A~G</p> <p>・セクターモニュメント：撤去処分(別図参照) H</p> <p>・展示台：撤去処分(別図参照) A~C</p> <p>・東屋風展示台：撤去処分(別図参照) D</p>		<p>・展示台：撤去処分(平面詳細図参照) I</p>			

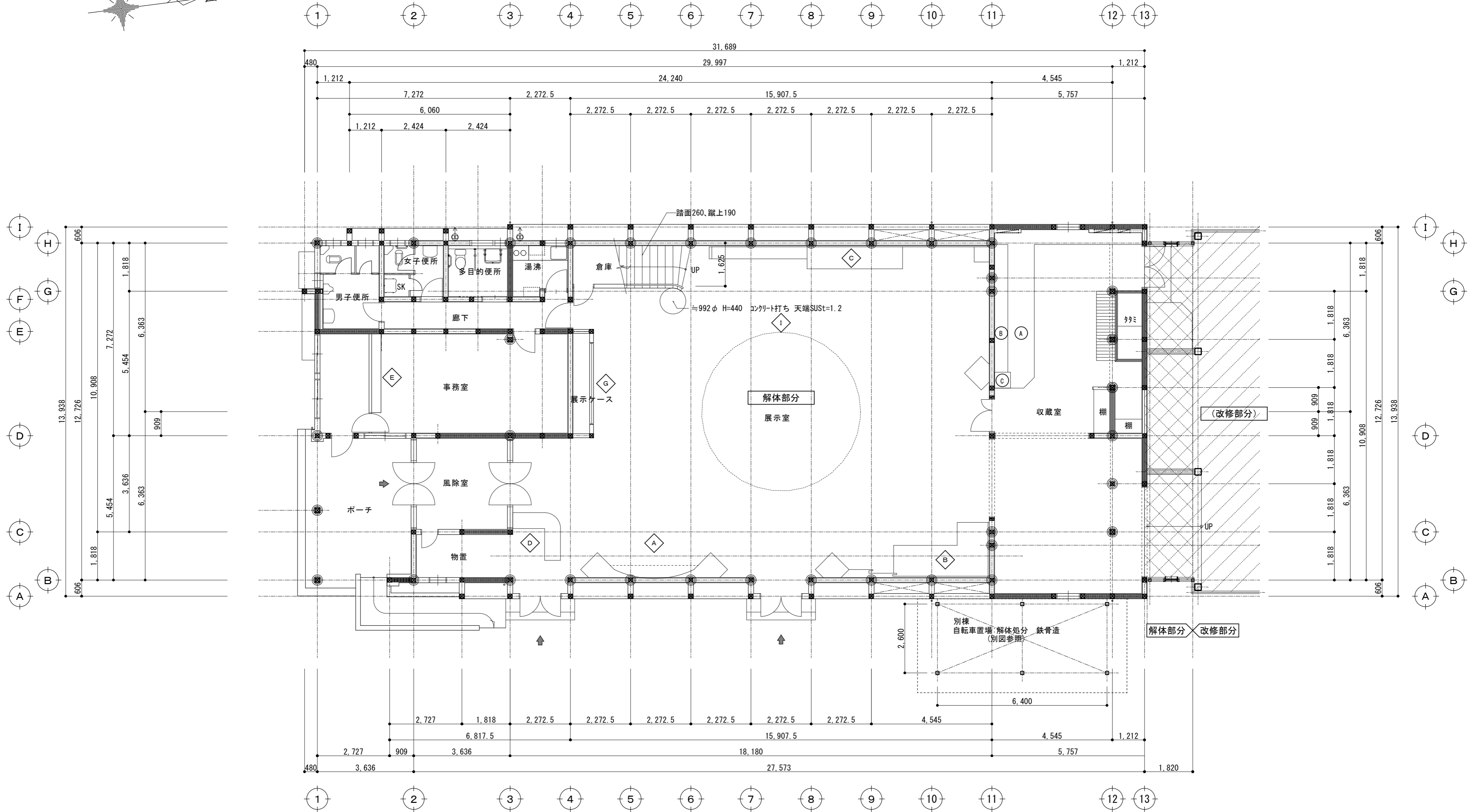
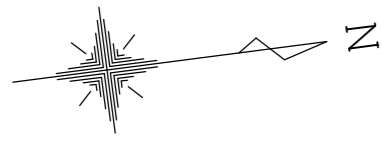
原図:A2



2階平面図 S=1/150 ◎ は、解体建物通し柱を示す

参考

<p>■ 凡例 ■</p> <p>■ 解体工事</p> <p>□ 解体部分：木造2階建て</p> <p>・基礎、建物、全て撤去処分</p>		<p>◆ A ~ G</p> <p>◆ H</p> <p>◆ A ~ C</p> <p>◆ D</p>	<p>・展示家具：撤去処分(別図参照)</p> <p>・セクターモニュメント：撤去処分(別図参照)</p> <p>・展示台：撤去処分(別図参照)</p> <p>・東屋風展示台：撤去処分(別図参照)</p>	<p>▨ 改修部分(別注改修工事)：鉄骨造2階建て</p>
---	--	---	--	-------------------------------



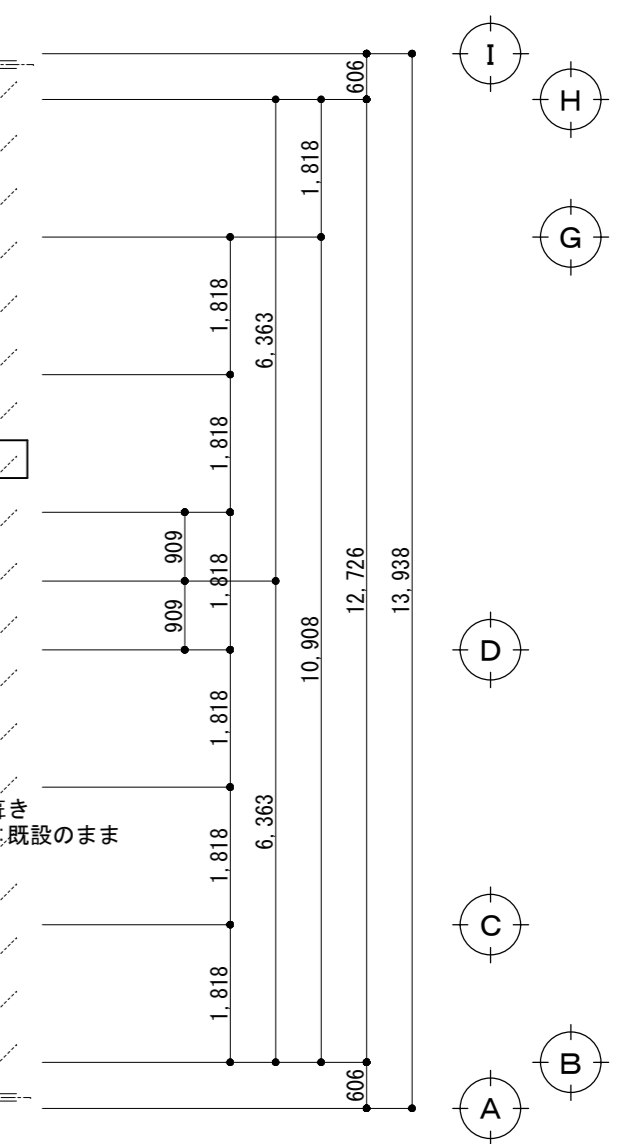
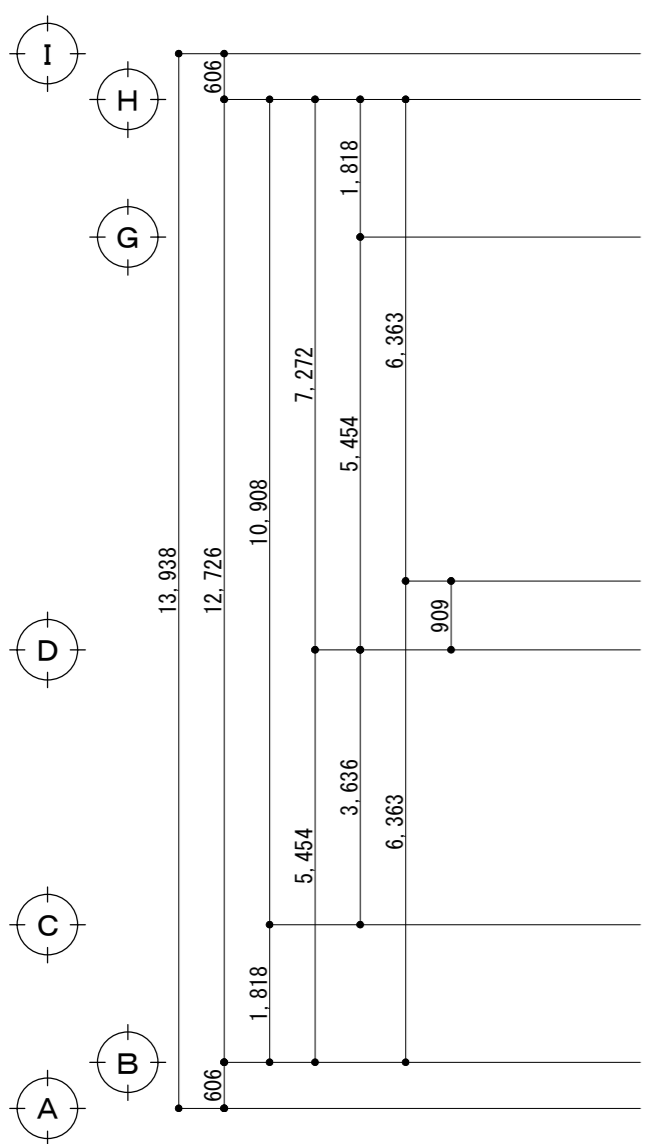
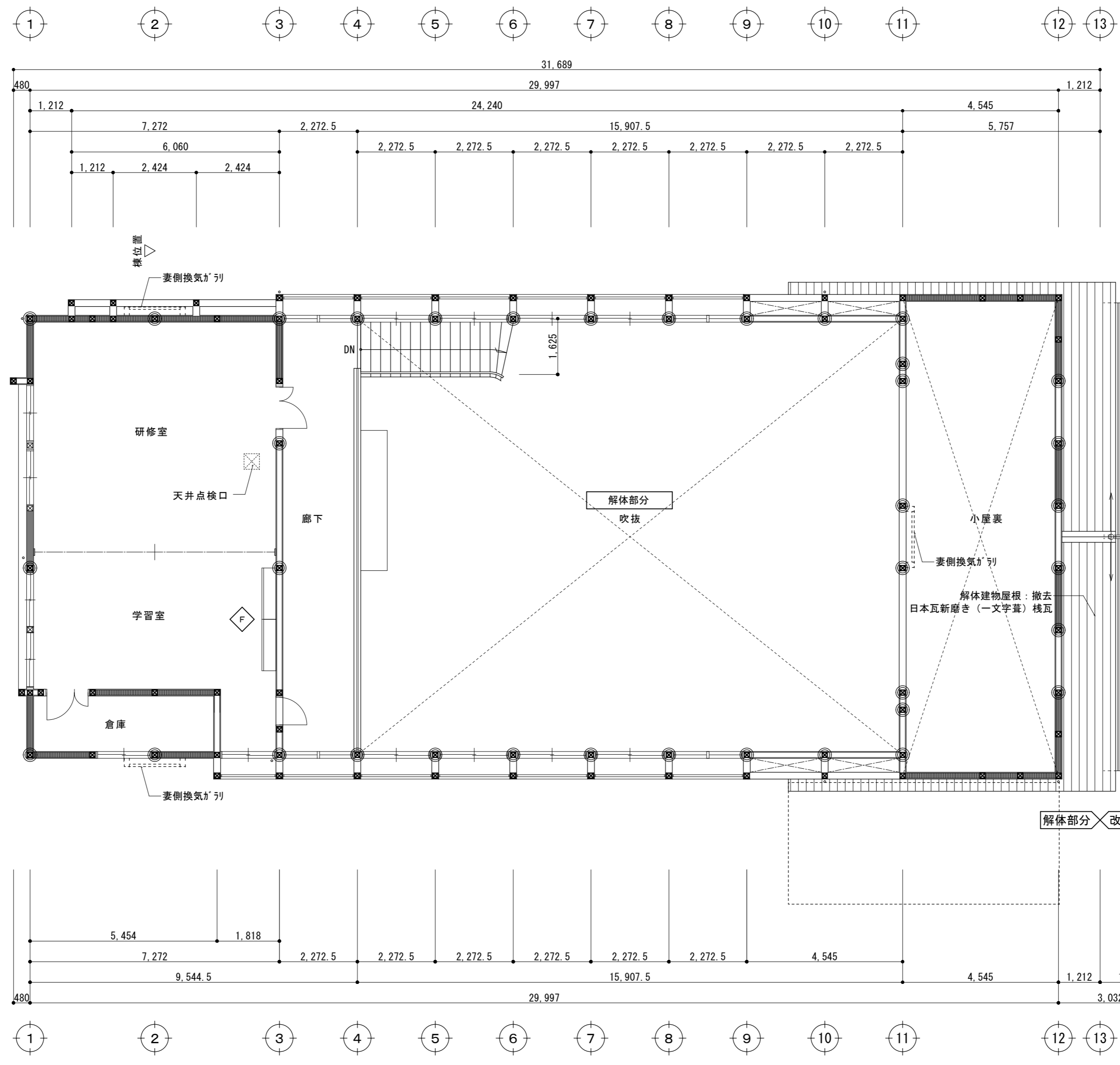
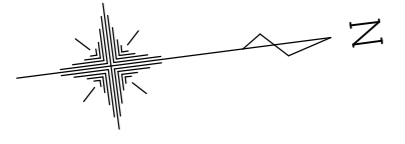
■凡例■ (全体平面図参照)

- 解体部分: 木造2階建て
- ▨ 改修部分: 鉄骨造2階建て
- ▧ 接続部分(解体及び改修): 鉄骨造平家建て

1階平面図 S=1/100

◎ は通し柱を示す

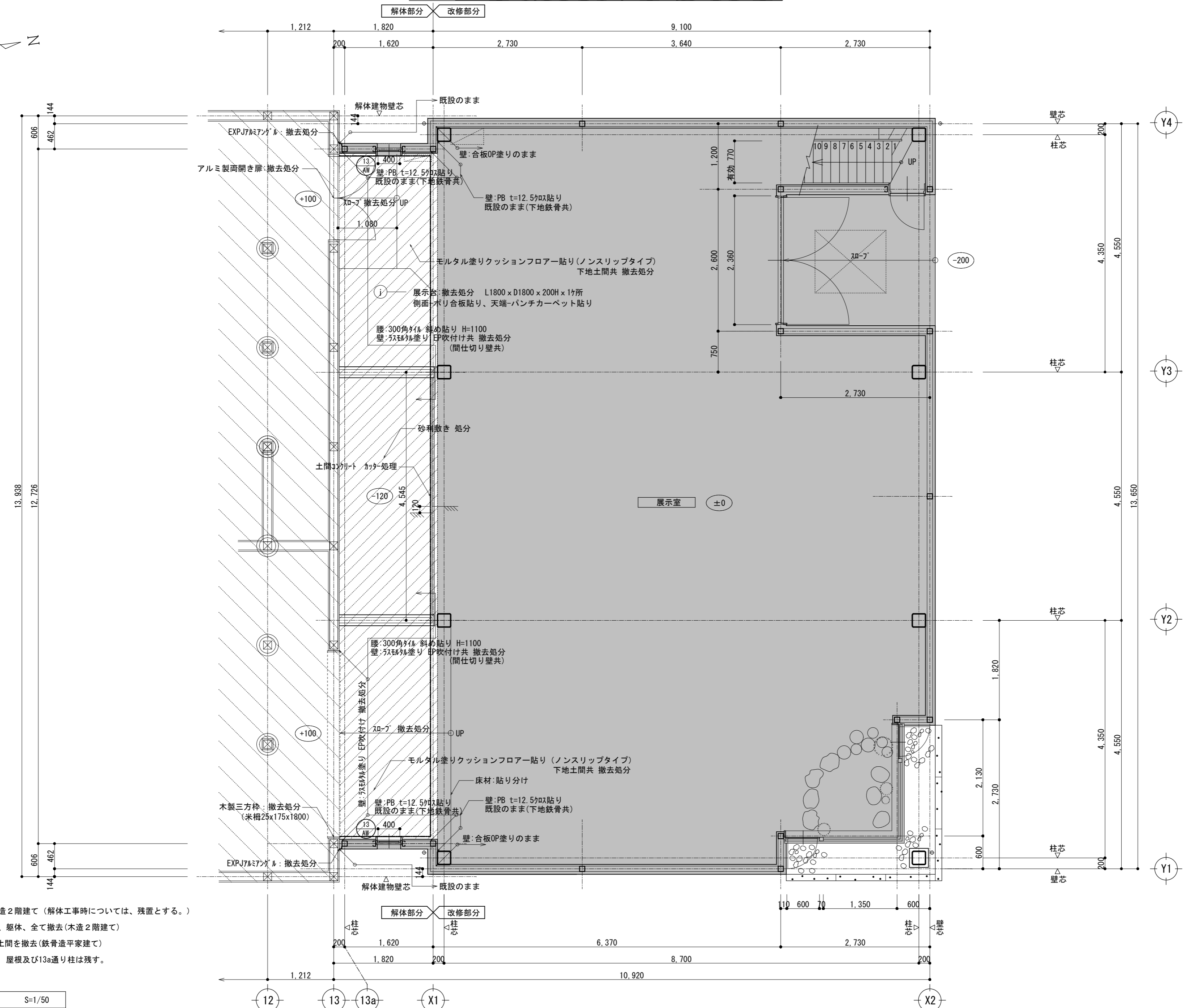
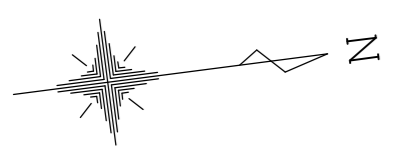
参考



2階平面図 S=1/100

◎ は通し柱を示す

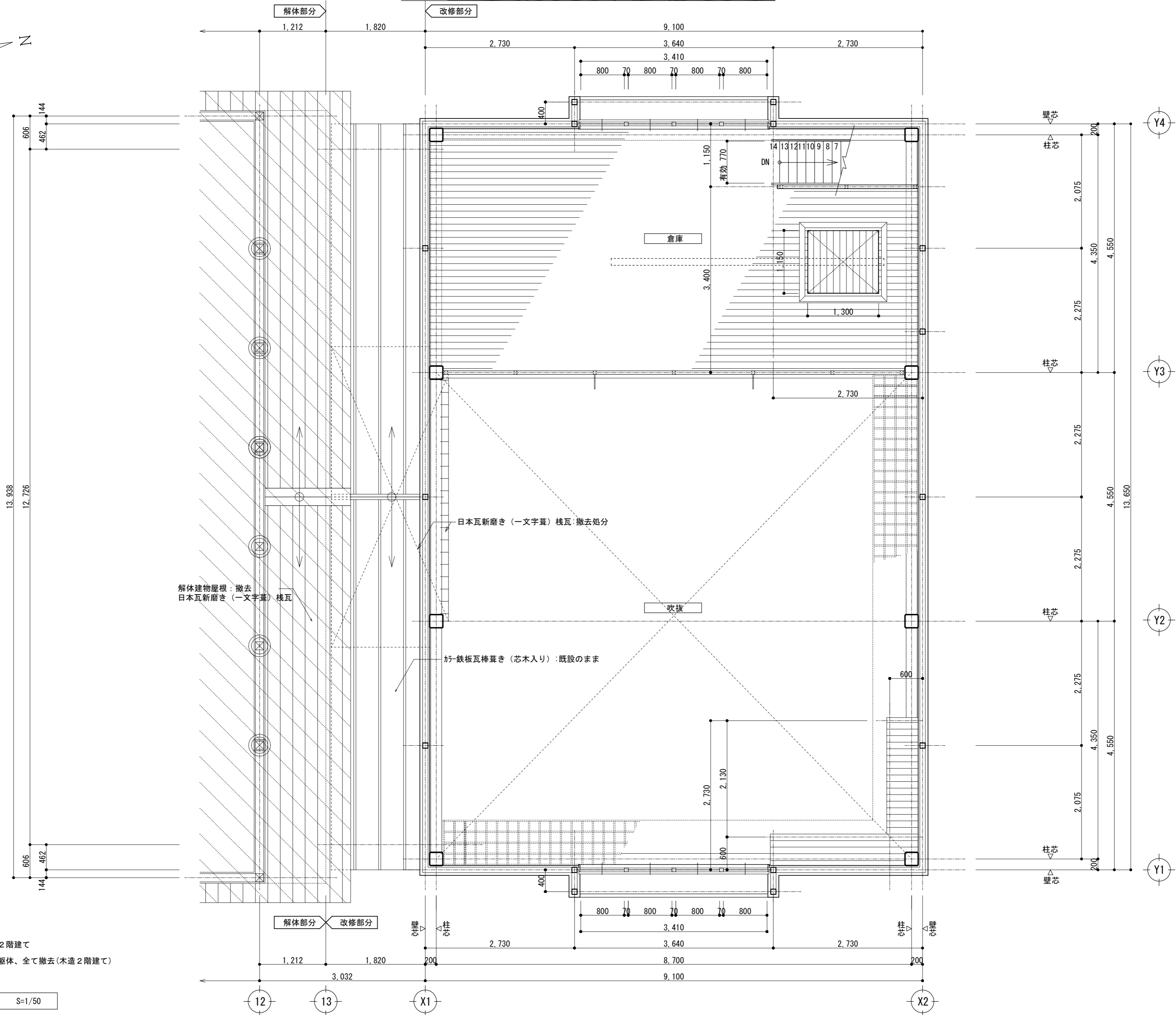
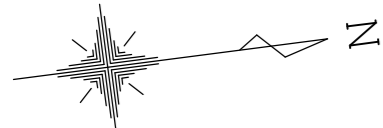
参考



- 凡例 ■
- 改修部分: 鉄骨造2階建て(解体工事時については、残置とする。)
 - 撤去部分: 基礎、躯体、全て撤去(木造2階建て)
 - 接続部分: 壁、土間を撤去(鉄骨造平家建て)
屋根及び13a通り柱は残す。
- ※特記以外は別注改修工事

1階平面詳細図 S=1/50

参考



解体建物屋根：撤去
日本瓦新葺き（一文字葺） 棟瓦

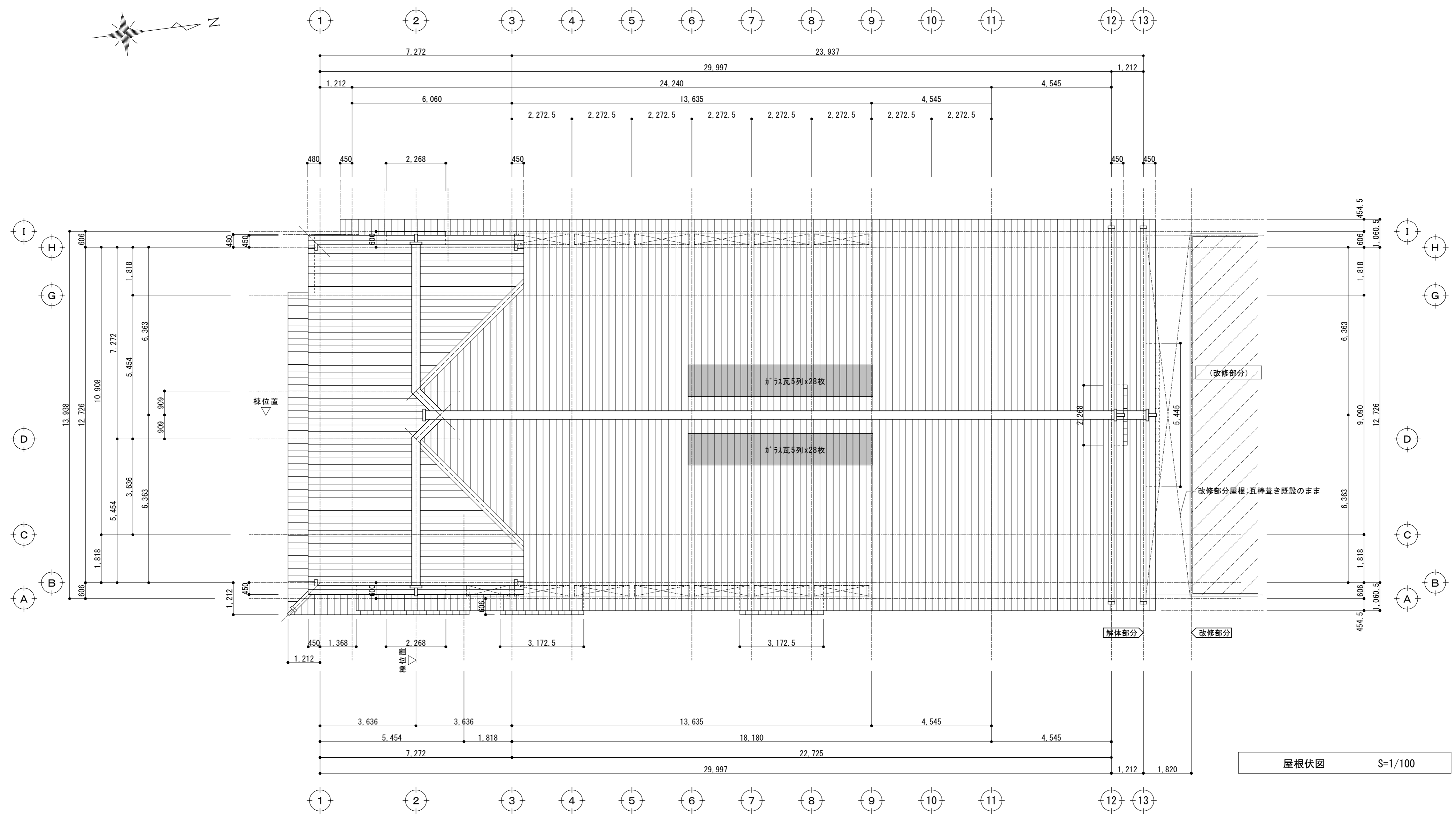
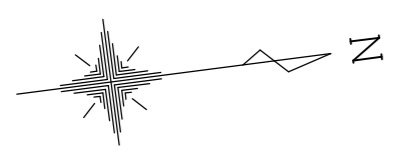
日本瓦新葺き（一文字葺） 棟瓦：撤去処分

ガ-鉄板瓦葺き（芯木入り）：既設のまま

- 凡例 ■
- 改修部分：鉄骨造2階建て
- ▨ 撤去部分：基礎、躯体、全て撤去(木造2階建て)
- ※特記以外は別注改修工事

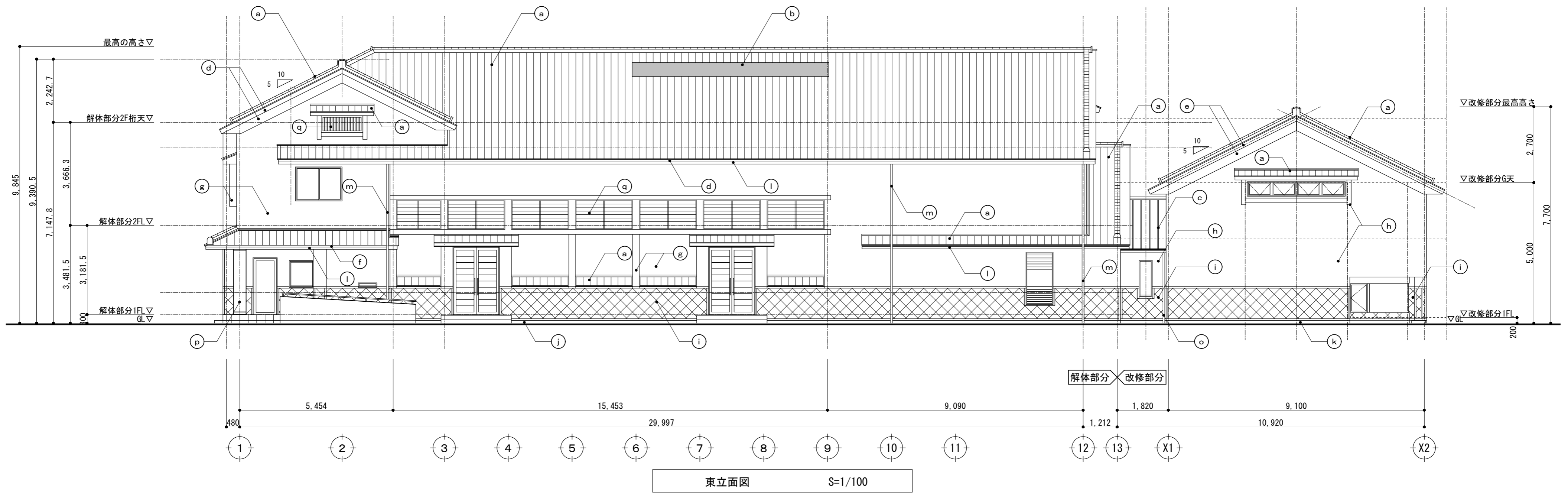
2階平面詳細図 S=1/50

参考



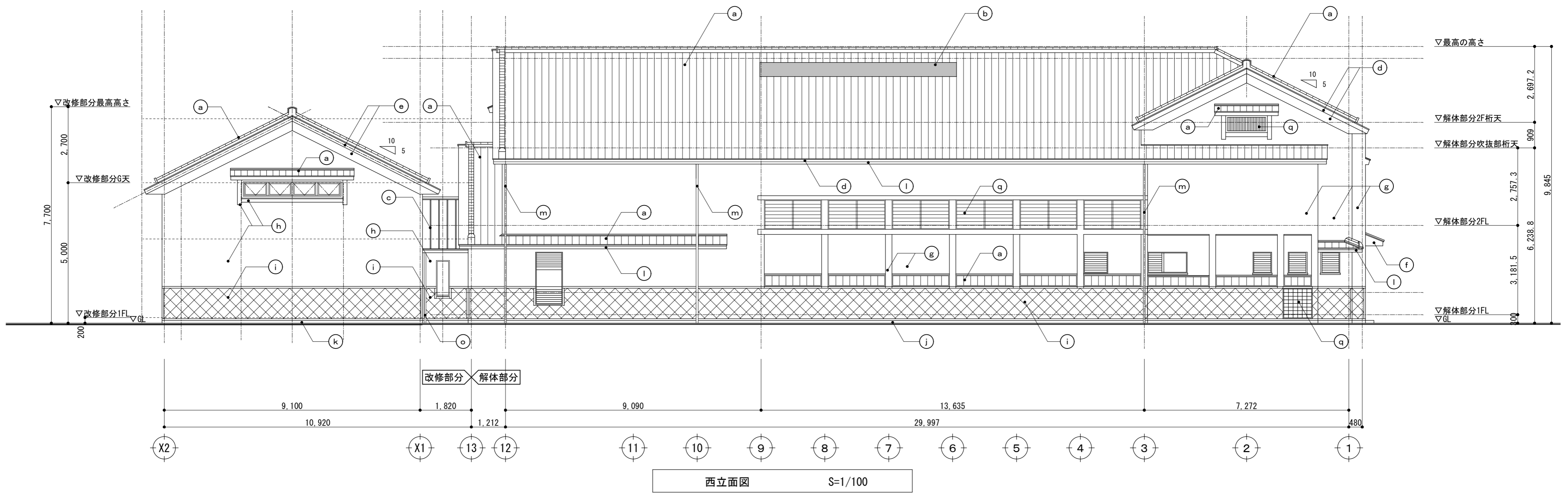
屋根伏図 S=1/100

参考



参考

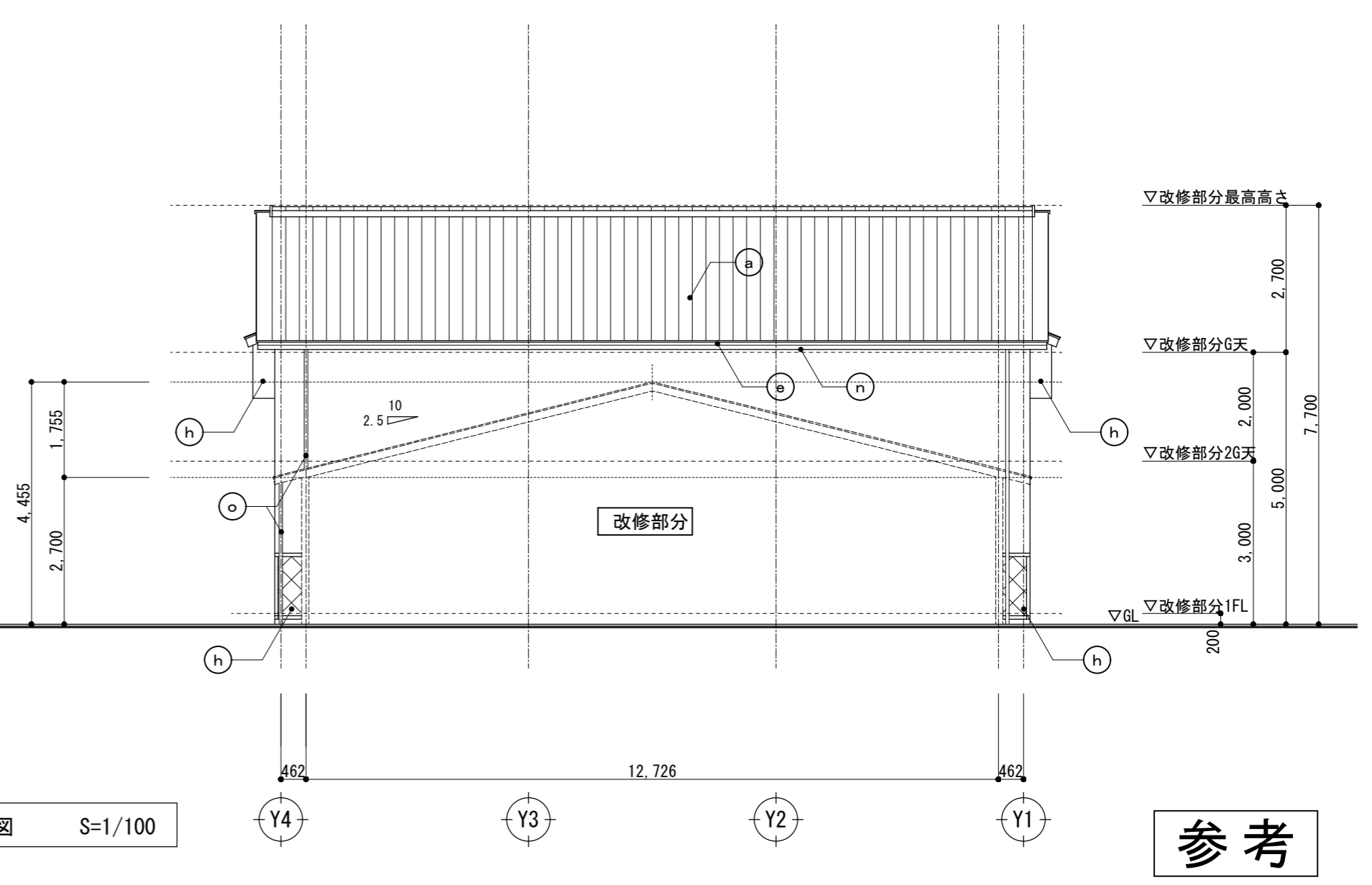
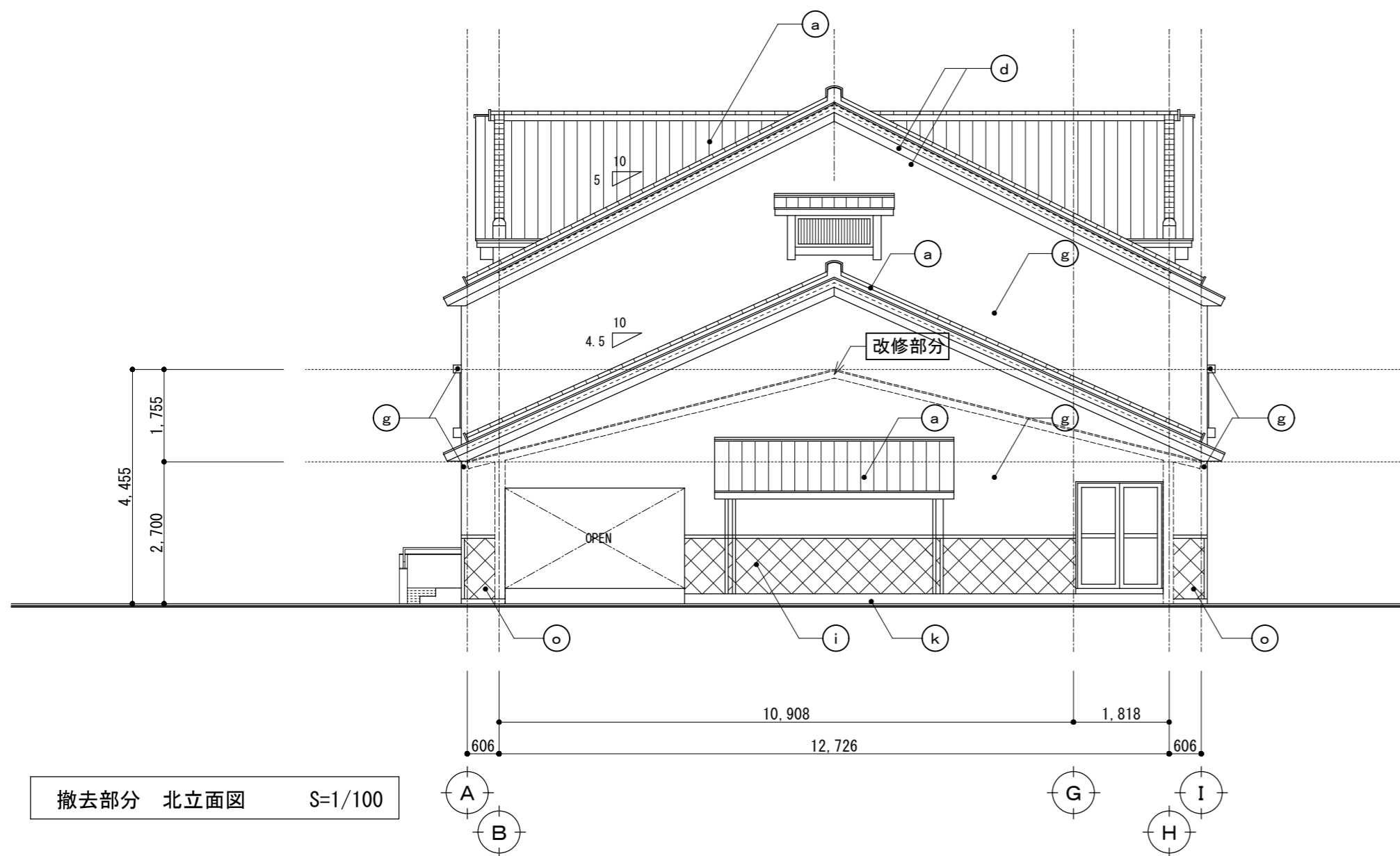
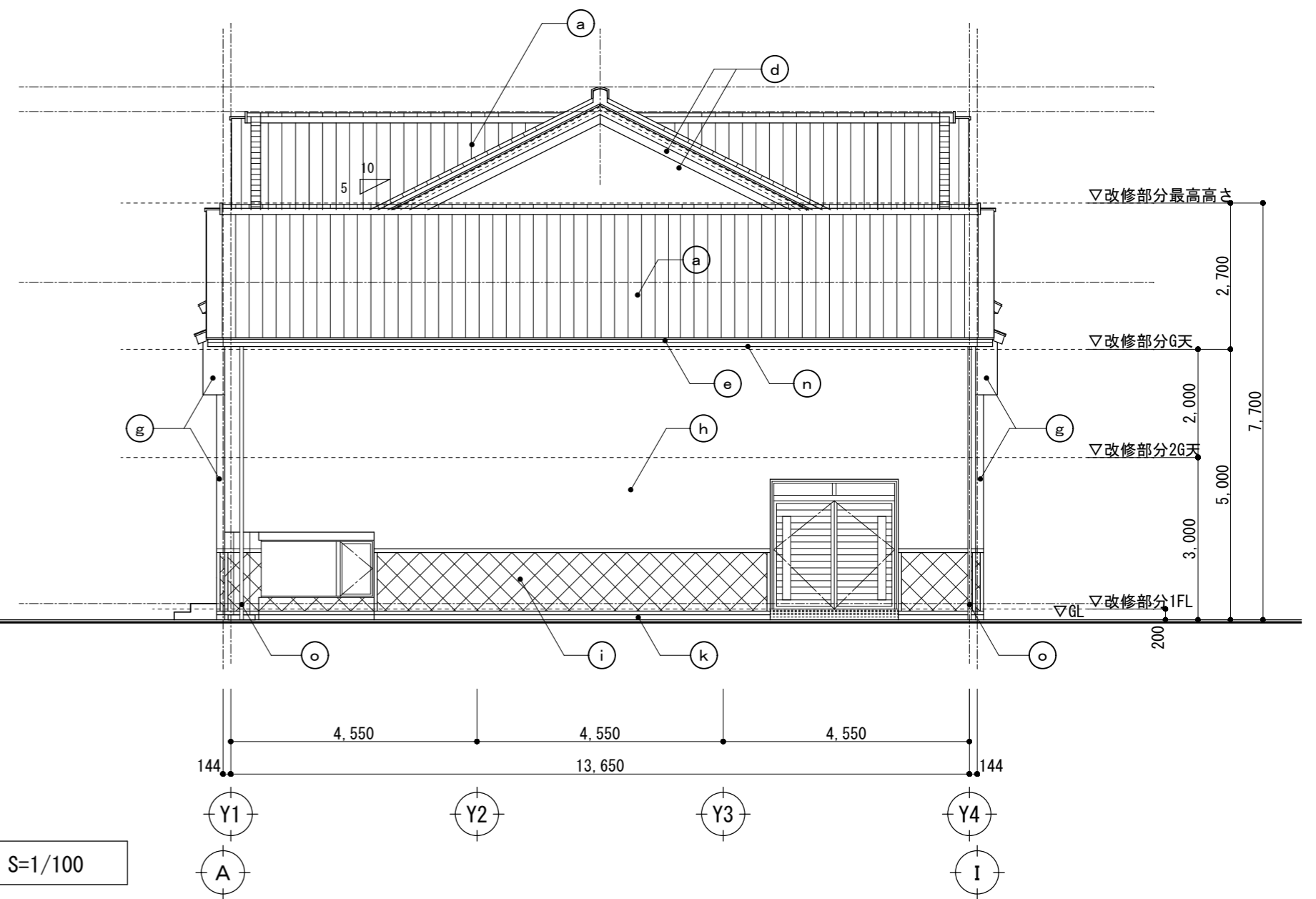
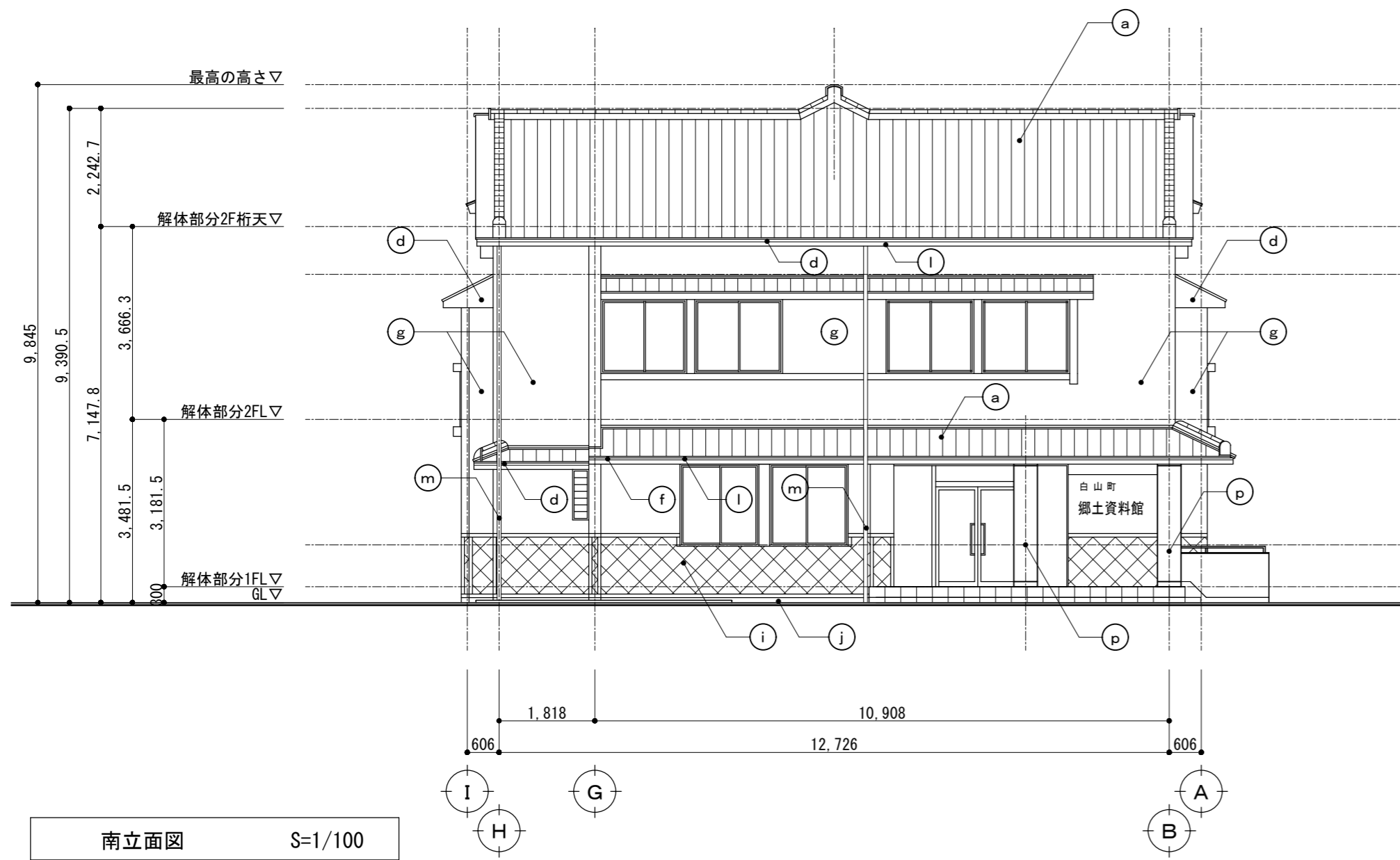
(a)	日本瓦(棧瓦)新磨き 一文字葺	(d)	鼻隠し・破風:ラスモルタルしっくい塗	(g)	外壁:ラスモルタルしっくい塗	(j)	巾木:珪藻土塗りミコト塗り	(m)	縦樋:銅板75φ	(p)	SUS鏡面仕上げ450φ
(b)	ガラス瓦葺き	(e)	鼻隠し・破風:ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル	(h)	外壁:ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル	(k)	巾木:珪藻土塗り金時	(n)	軒樋:硬質塩化ビニル (既製品)	(q)	木製格子:米松OP塗り
(c)	か-鉄板瓦棒葺き(芯木入り)	(f)	鼻隠し・破風:銅板張り	(i)	腰壁:300角タイル斜め貼り	(l)	軒樋:銅板120角	(o)	縦樋:硬質塩化ビニル60φ(既製品) (摺り金物共)	(r)	



西立面図 S=1/100

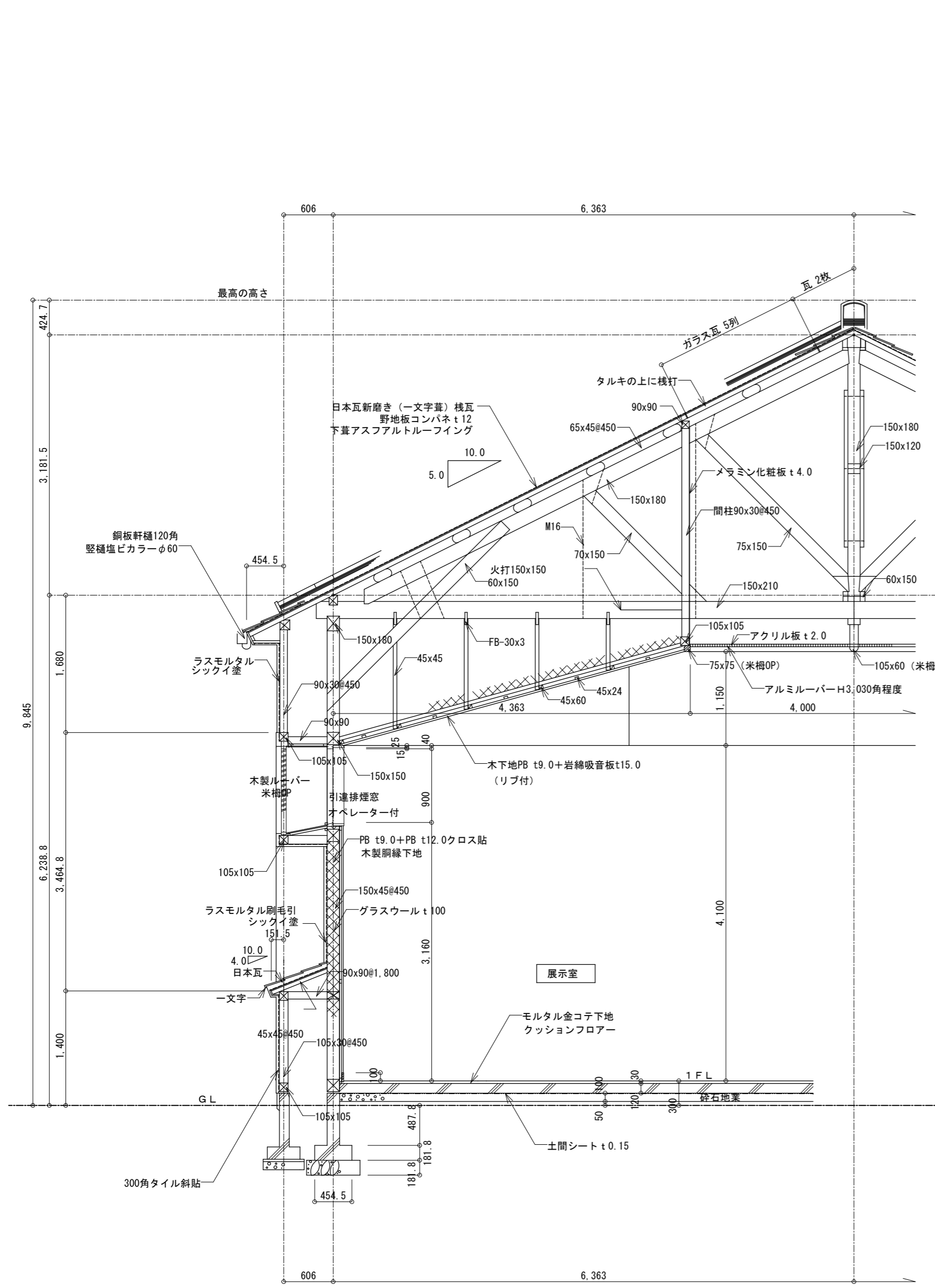
参考

(a) 日本瓦(棧瓦)新磨き 一文字葺	(d) 鼻隠し・破風: ラスモルタルしっくい塗	(g) 外壁: ラスモルタルしっくい塗	(j) 巾木: 珪藻土塗りミコト塗り	(m) 縦樋: 銅板75φ	(p) SUS鏡面仕上げ450φ
(b) ガラス瓦葺き	(e) 鼻隠し・破風: ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル	(h) 外壁: ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル	(k) 巾木: 珪藻土塗り金時	(n) 軒樋: 硬質塩化ビニル (既製品)	(q) 木製格子: 米松OP塗り
(c) 加鉄板瓦葺き(芯木入り)	(f) 鼻隠し・破風: 銅板張り	(i) 腰壁: 300角タイル斜め貼り	(l) 軒樋: 銅板120角	(o) 縦樋: 硬質塩化ビニル60φ(既製品) (摺り金物共)	(r)

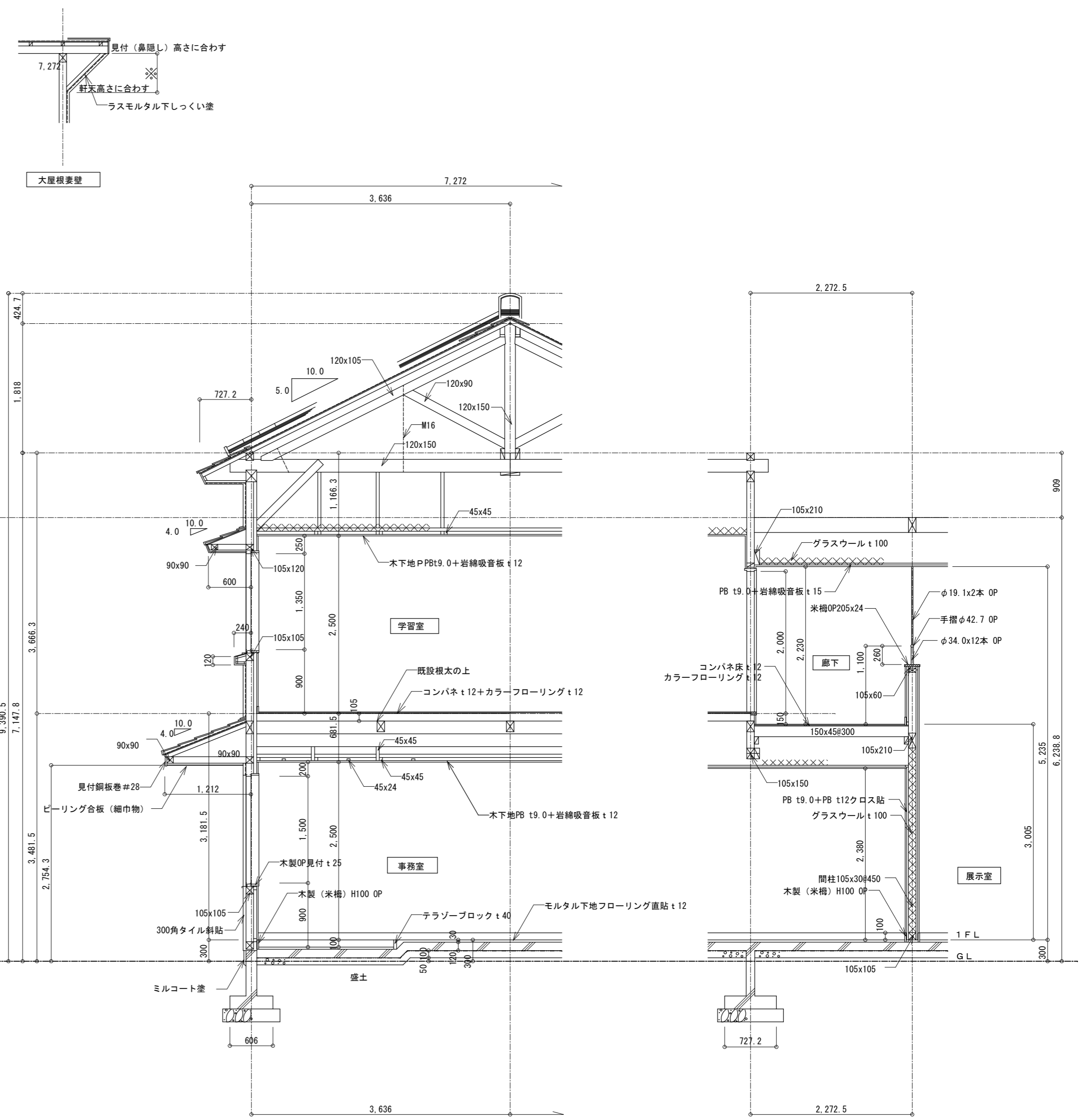


参考

(a) 日本瓦(棧瓦)新磨き 一文字葺	(d) 鼻隠し・破風: ラスモルタルしっくい塗	(g) 外壁: ラスモルタルしっくい塗	(j) 巾木: 珪藻土塗りミコト塗り	(m) 縦樋: 銅板75φ	(p) SUS鏡面仕上げ450φ
(b) ガラス瓦葺き	(e) 鼻隠し・破風: ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル	(h) 外壁: ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル	(k) 巾木: 珪藻土塗り金時	(n) 軒樋: 硬質塩化ビニル (既製品)	(q) 木製格子: 米松OP塗り
(c) 加鉄板瓦葺き(芯木入り)	(f) 鼻隠し・破風: 銅板張り	(i) 腰壁: 300角タイル斜め貼り	(l) 軒樋: 銅板120角	(o) 縦樋: 硬質塩化ビニル60φ(既製品) (摺り金物共)	(r)

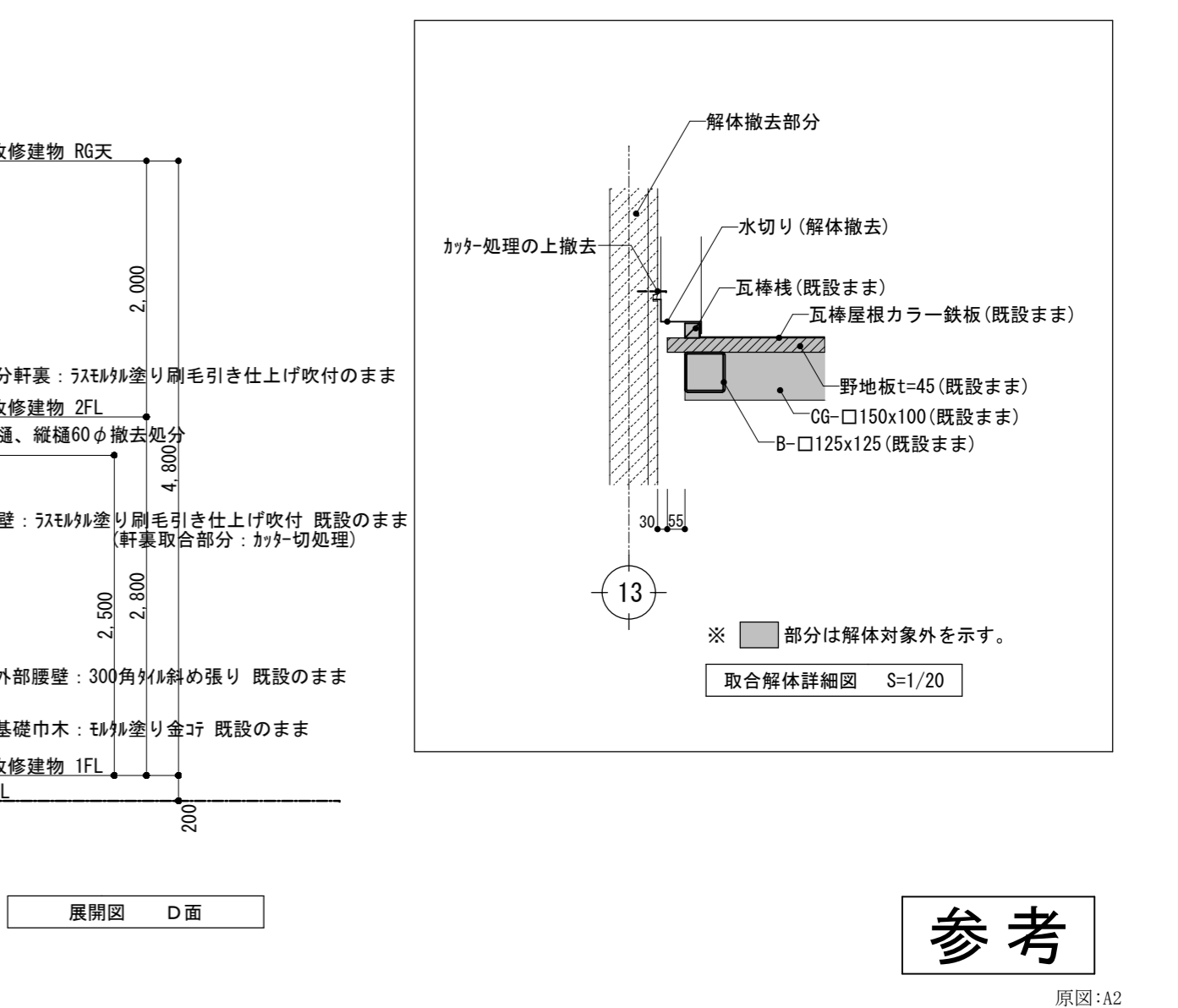
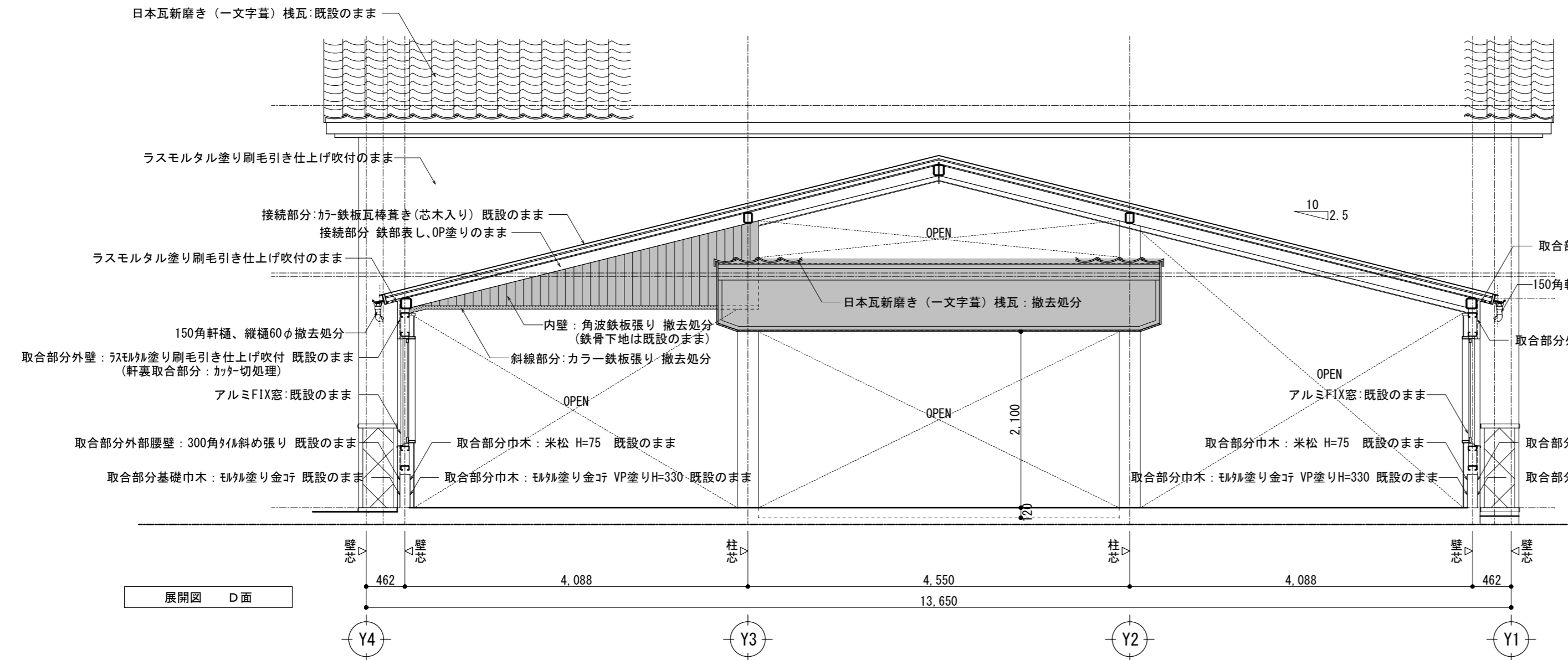
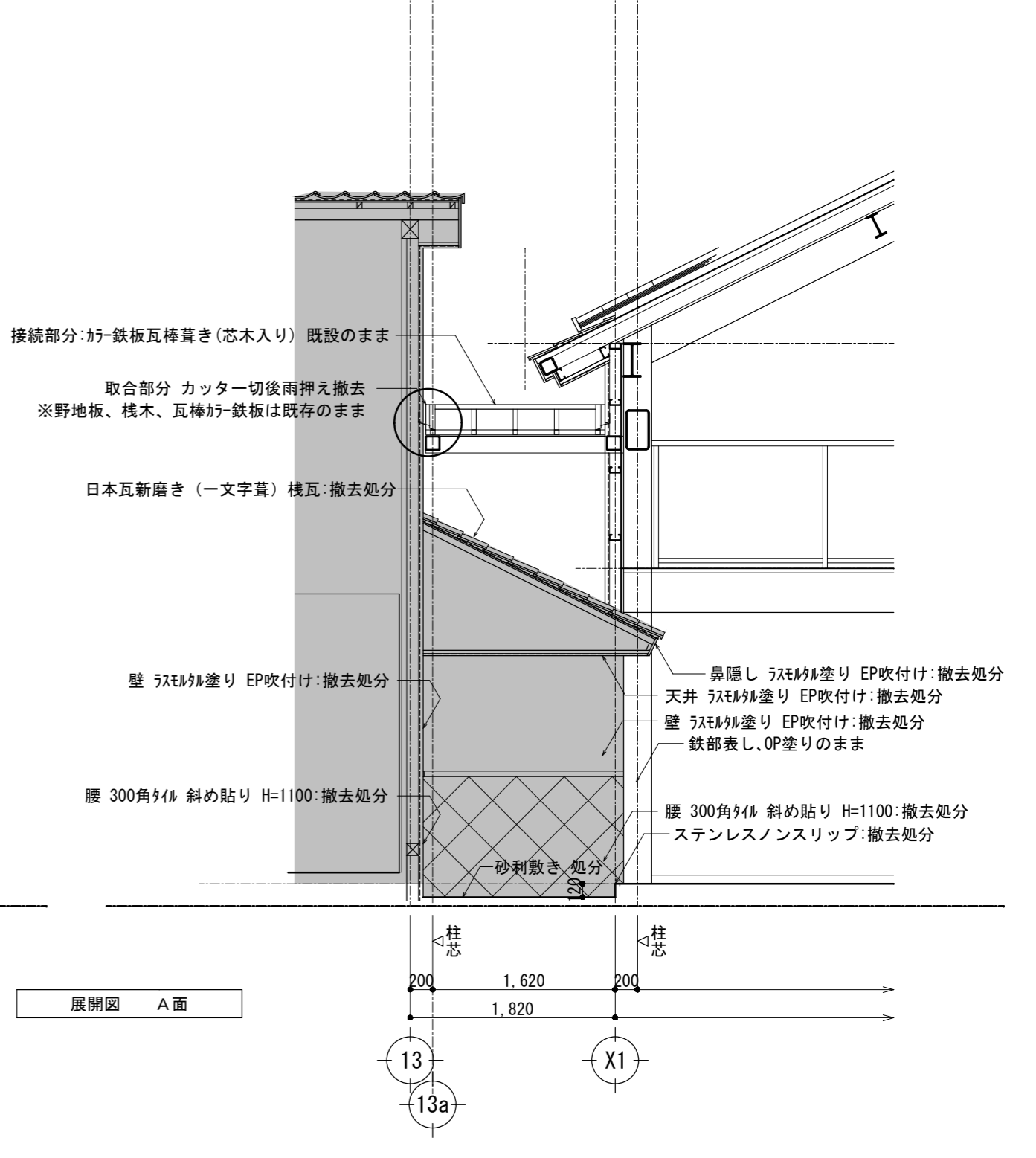
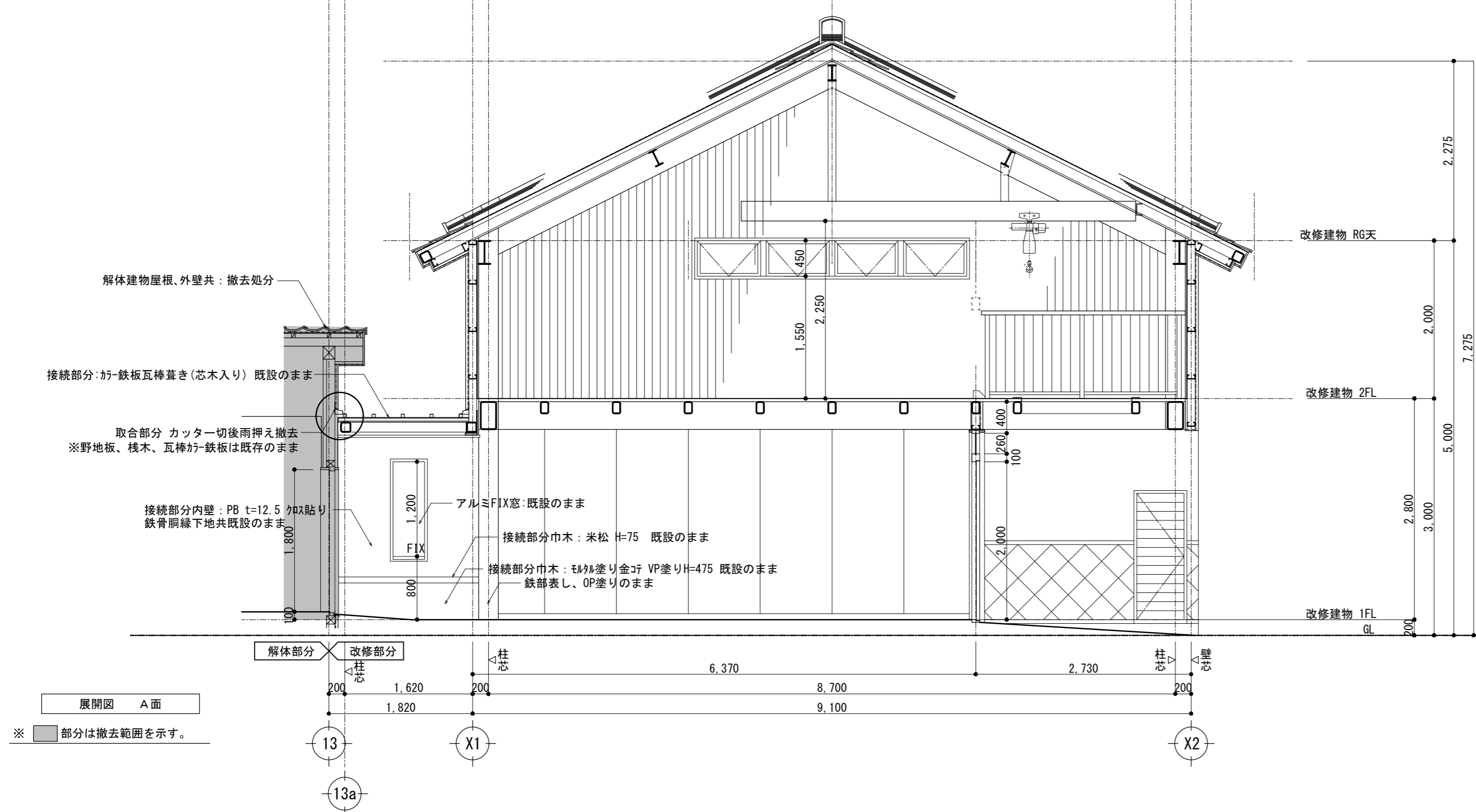


矩計図(1) S=1/50



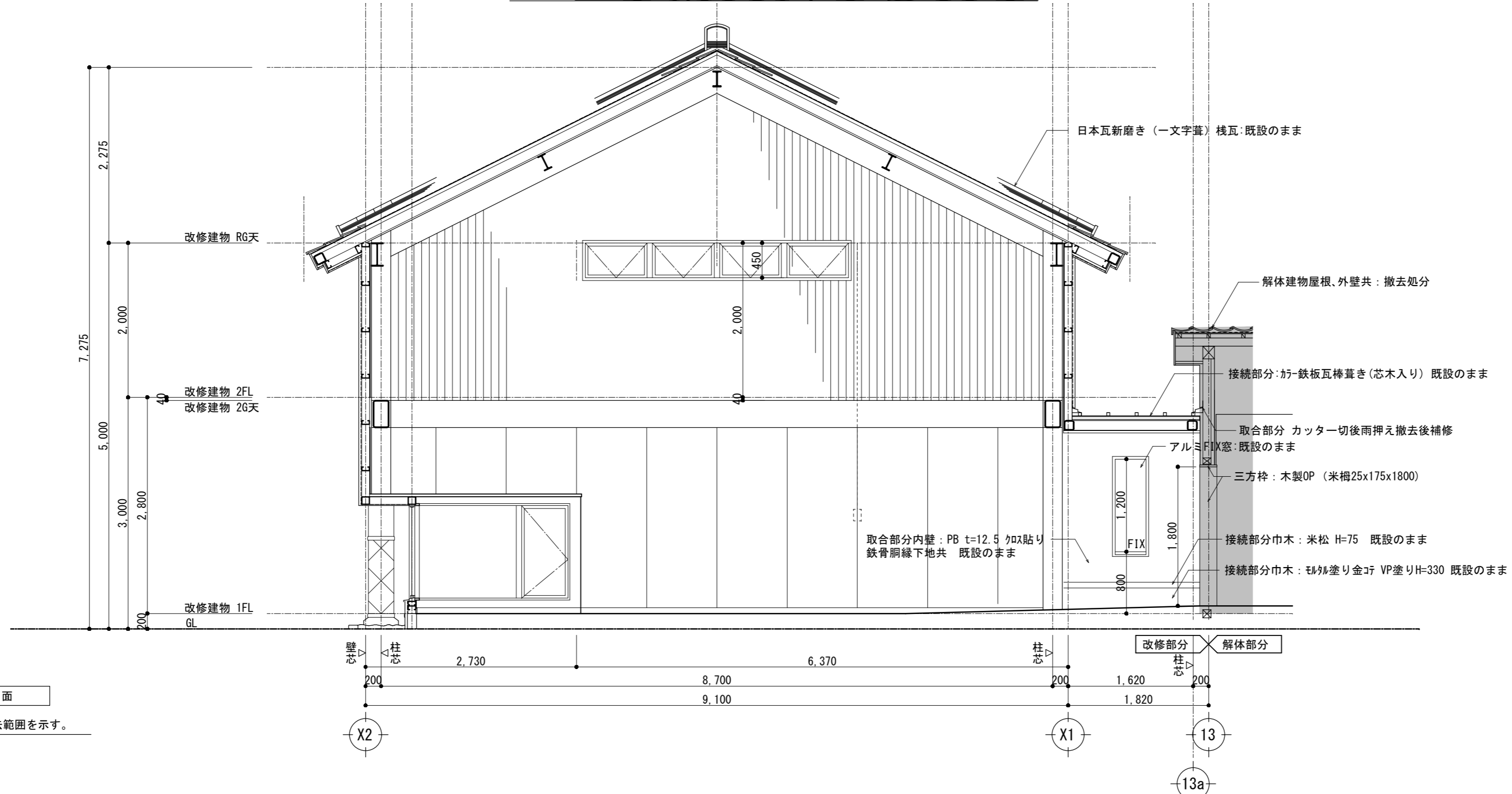
矩計図(2) S=1/50

参考



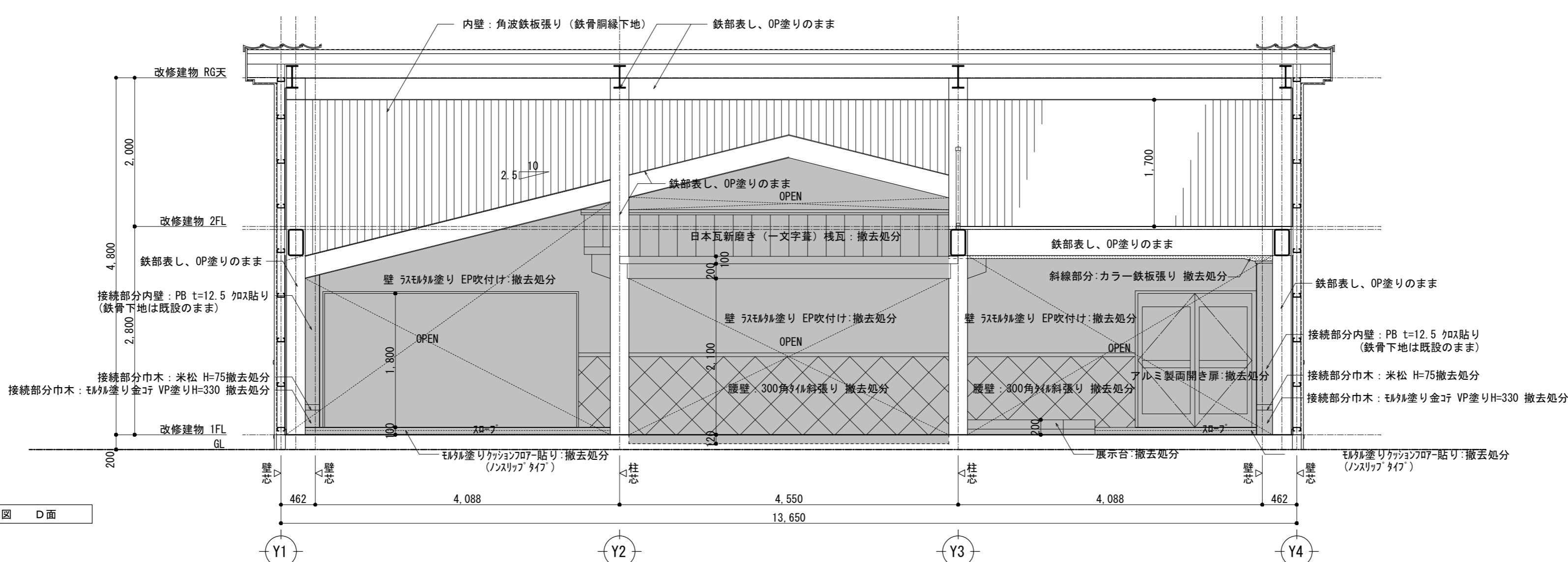
参考

原図：A2



展開図 C面

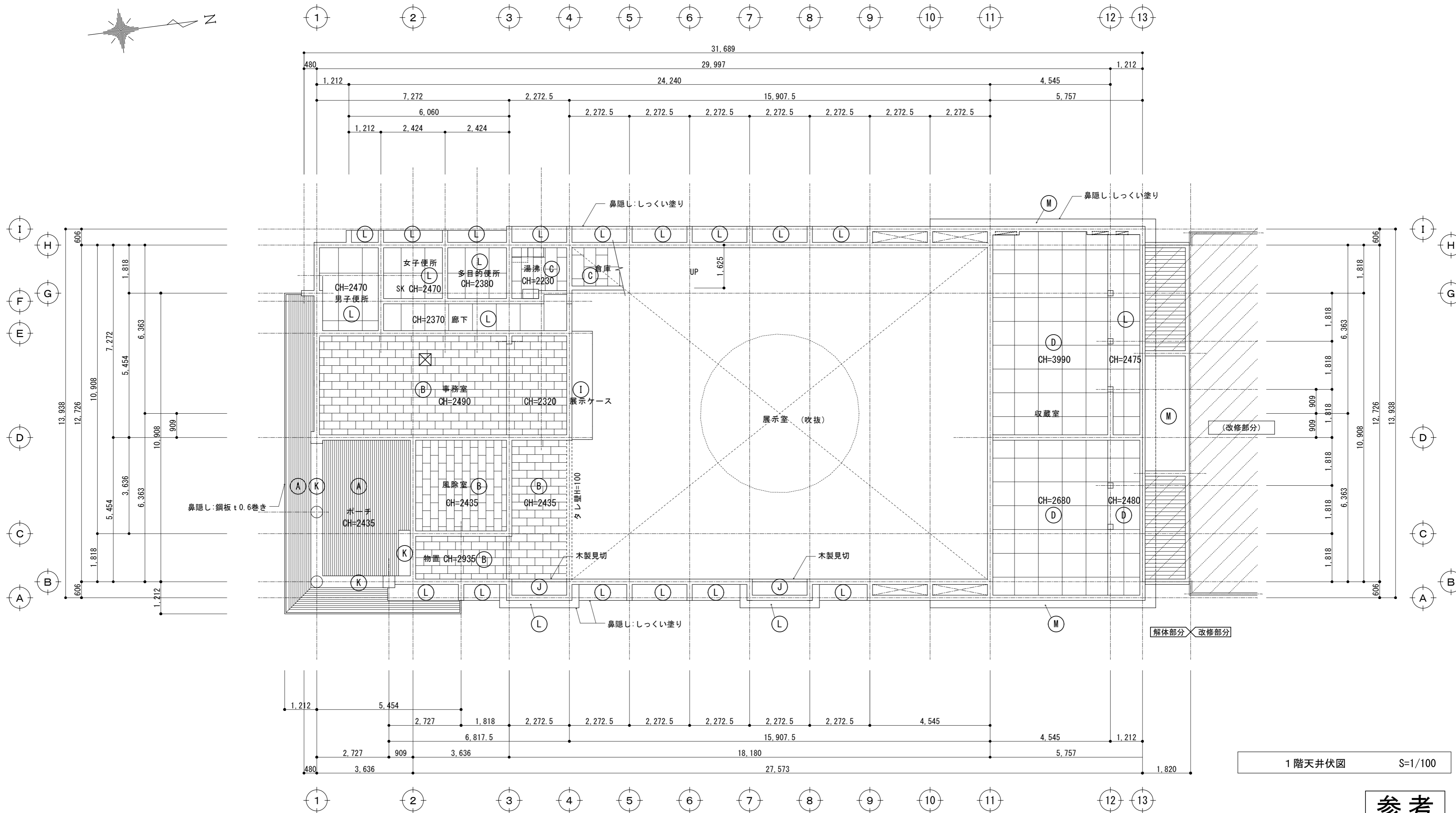
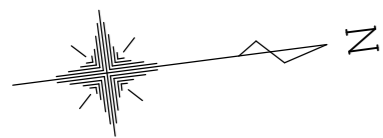
※ 部分は撤去範囲を示す。



展開図 D面

参考

原図:A2



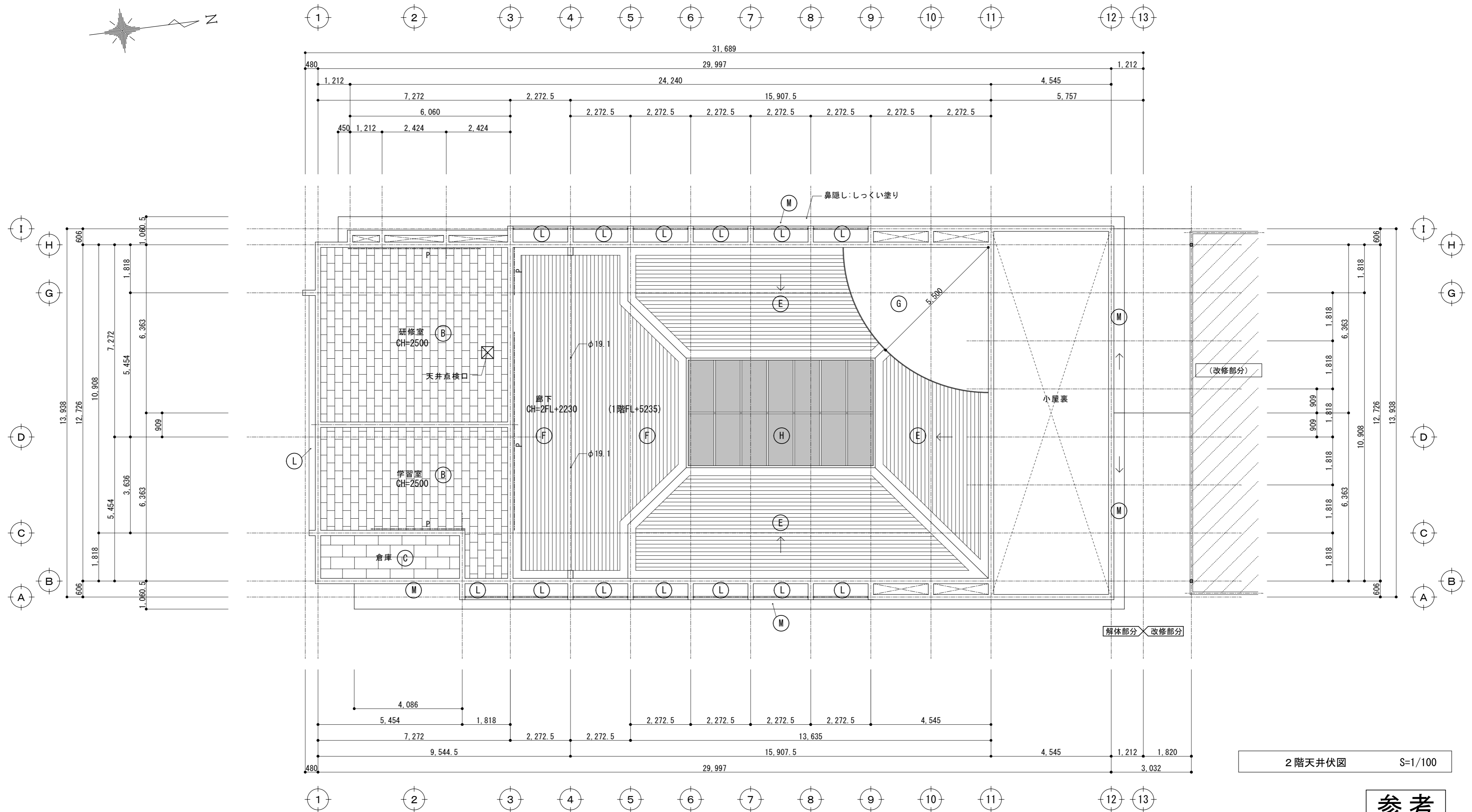
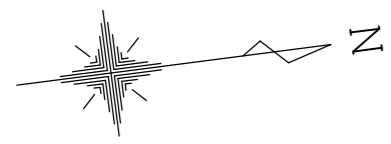
1階天井伏図 S=1/100

参考

■天井仕上表■

(A)	檜ピーリング合板 t6.0	(E)	木下地 PB t9.0+岩綿吸音板 t12.0+t15.0(ワ'付) 勾配天井 CH=4,100~5,235	(I)	コンクリート用型枠合板 T12.0 クロス貼り	(M)	軒裏: しっくい塗り
(B)	木下地 PB t9.0+岩綿吸音板 t12.0	(F)	木下地 PB t9.0+岩綿吸音板 t12.0+t15.0(ワ'付)	(J)	クロス貼り	(K)	天井点検口 450角 アルミ枠
(C)	木下地 化粧石こうボード t9.0 455×910	(G)	木下地 太平板 t6.0 クロス貼	(L)	木下地 太平板 t6.0 AEP塗	(P)	ピクチャーレール(2階)
(D)	木下地 化粧石こうボード t9.0 910×910	(H)	アルミルーバーH30×30角 カラーアクリル板 t2.0 400×7000				

原図:A2



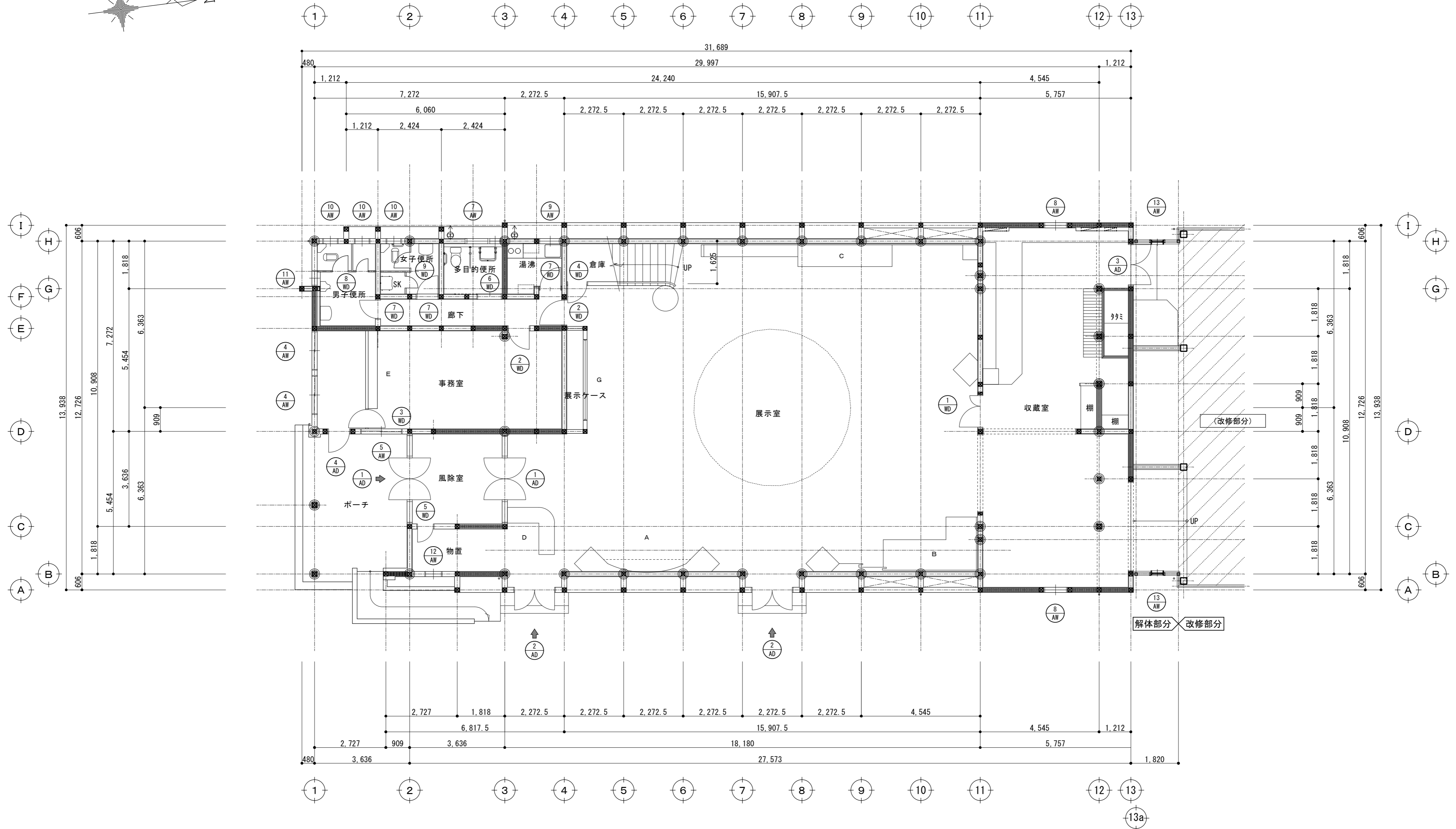
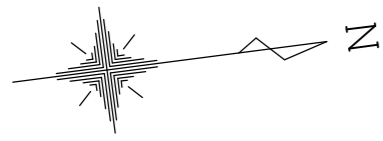
2階天井伏図 S=1/100

参考

■天井仕上表■

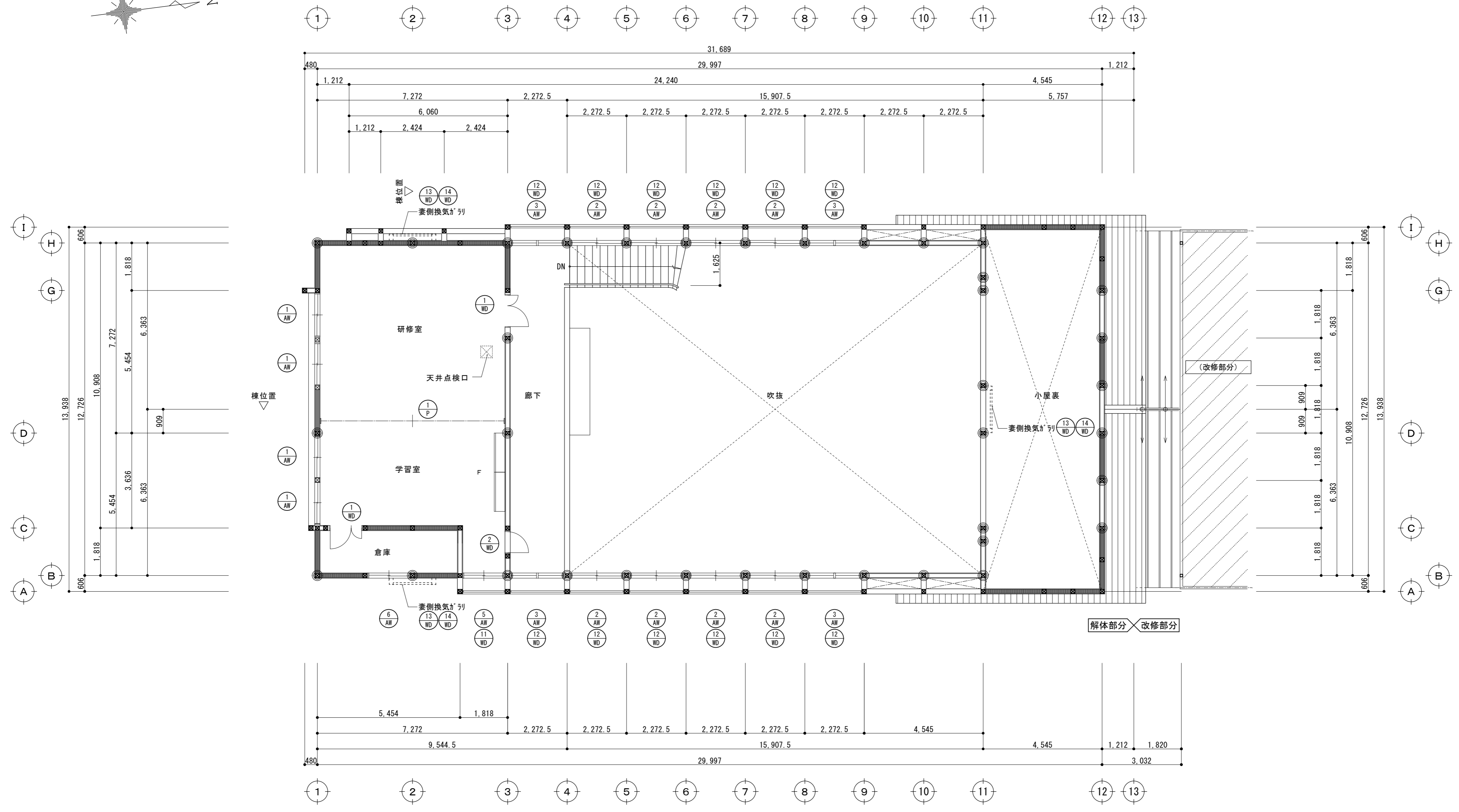
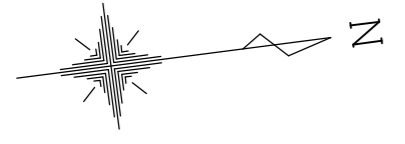
(A)	檜ピーリング合板 t6.0	(E)	木下地 PB t9.0+岩綿吸音板 t12.0+t15.0(ワ'付) 勾配天井 CH=4,100~5,235	(I)	コンクリート用型枠合板 T12.0 クロス貼り	(M)	軒裏: しっくい塗り
(B)	木下地 PB t9.0+岩綿吸音板 t12.0	(F)	木下地 PB t9.0+岩綿吸音板 t12.0+t15.0(ワ'付)	(J)	クロス貼り	(X)	天井点検口 450角 アルミ枠
(C)	木下地 化粧石膏ボード t9.0 455×910	(G)	木下地 太平板 t6.0 クロス貼	(K)	梁型: しっくい塗り	(P)	ピクチャーレール(2階)
(D)	木下地 化粧石膏ボード t9.0 910×910	(H)	アルミルーバーH30×30角 カラーアクリル板 t2.0 4000×7000	(L)	木下地 太平板 t6.0 AEP塗		

原図:A2



1階建具配置図 S=1/100

参考



2階建具配置図 S=1/100

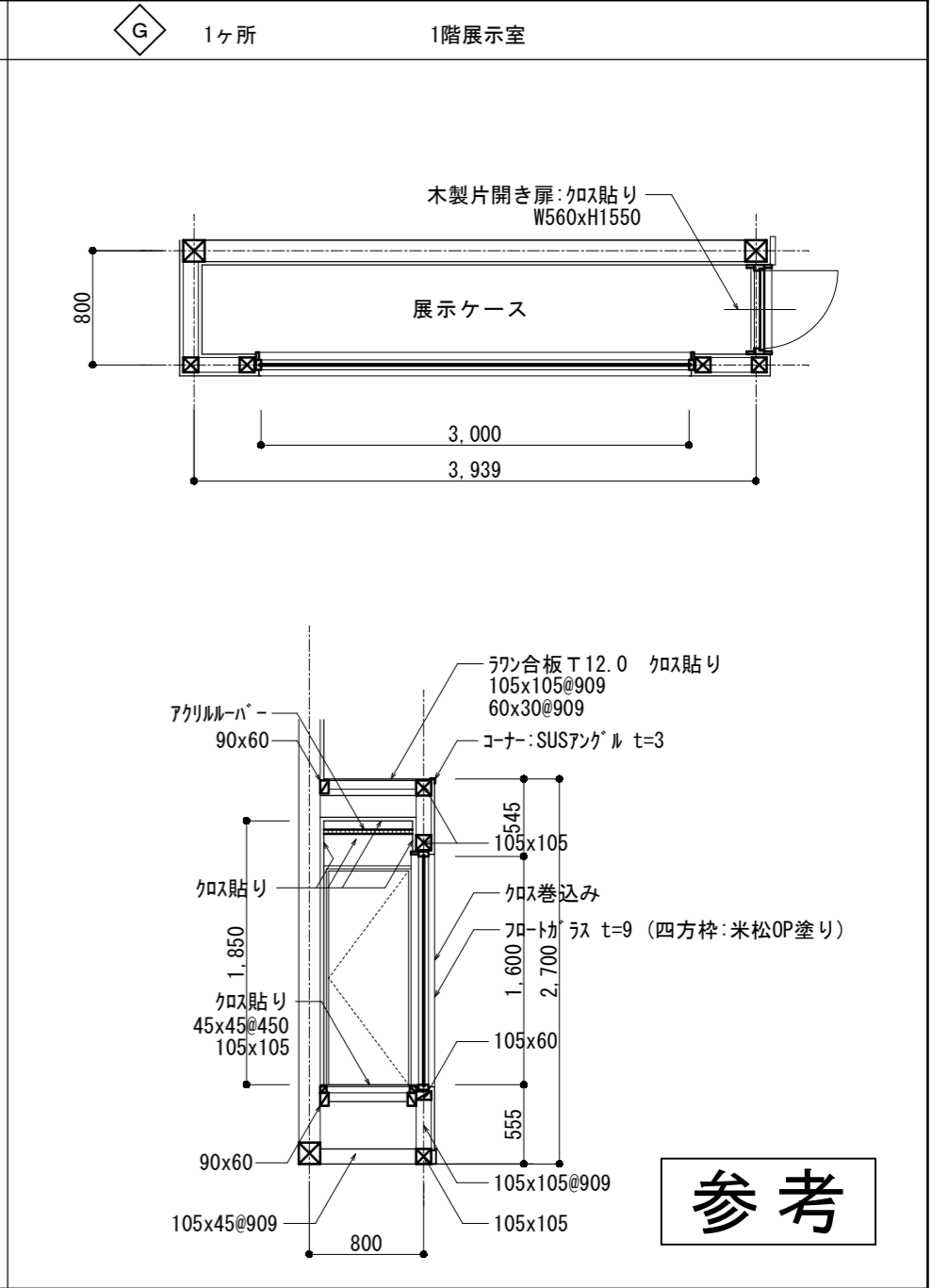
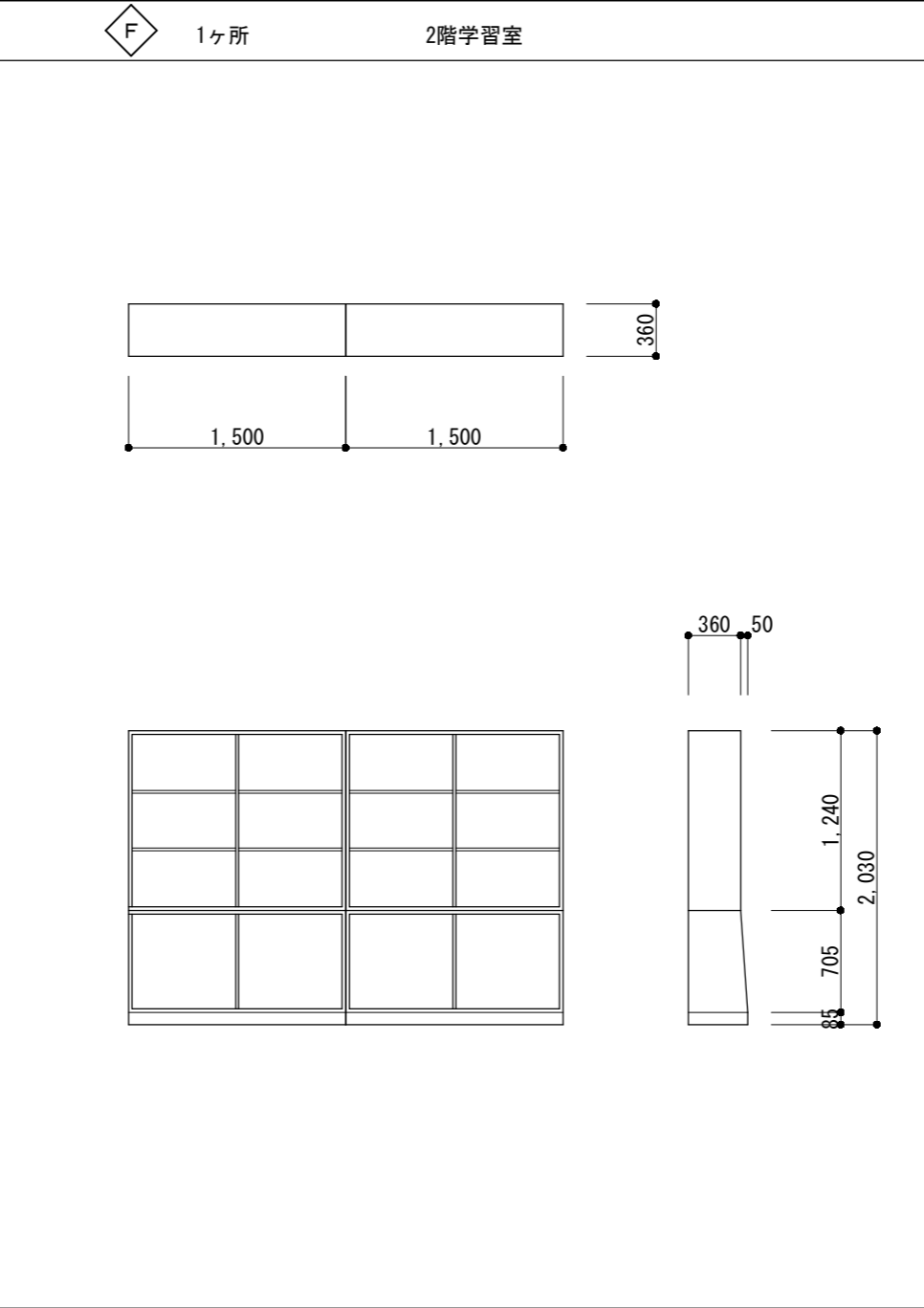
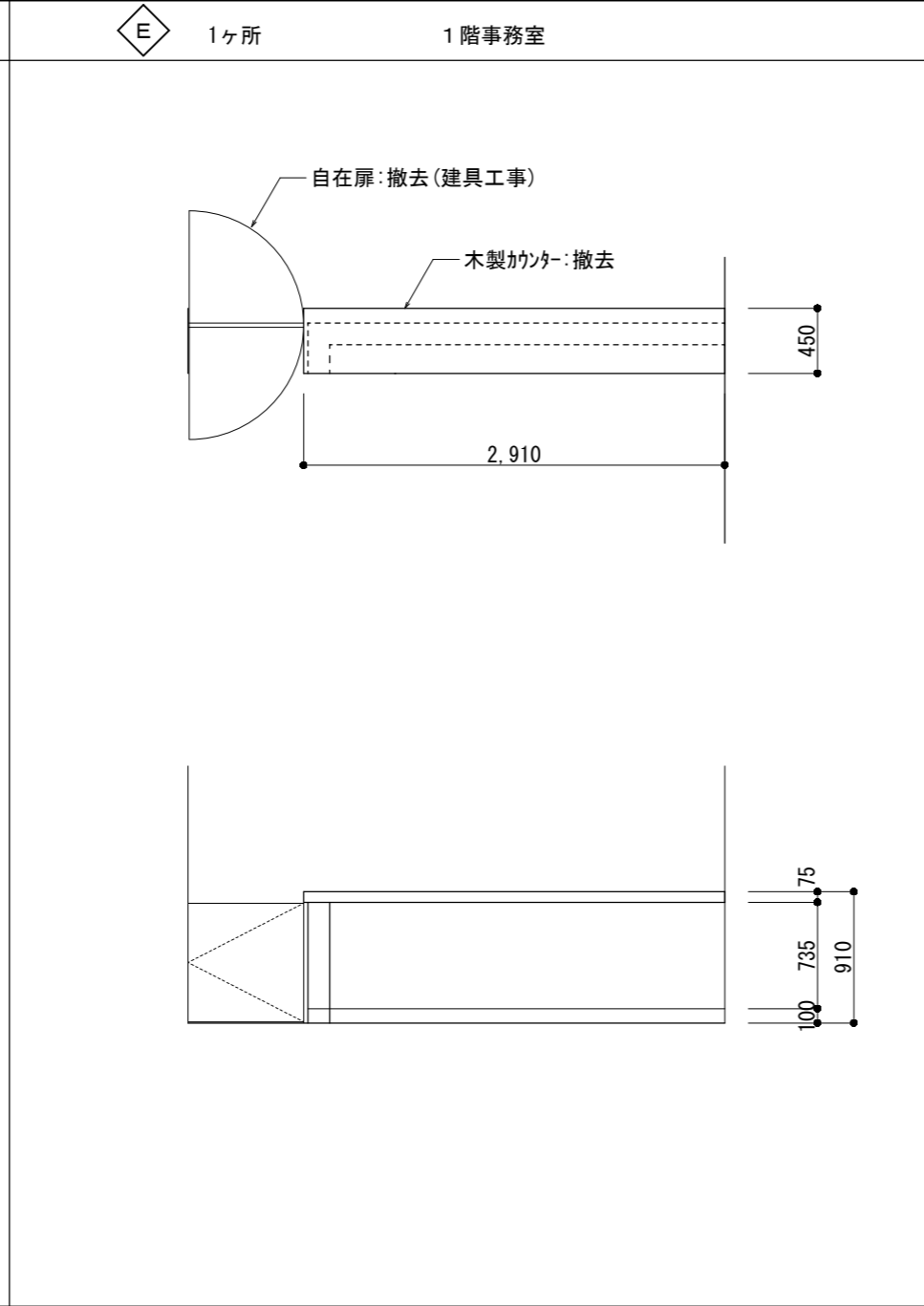
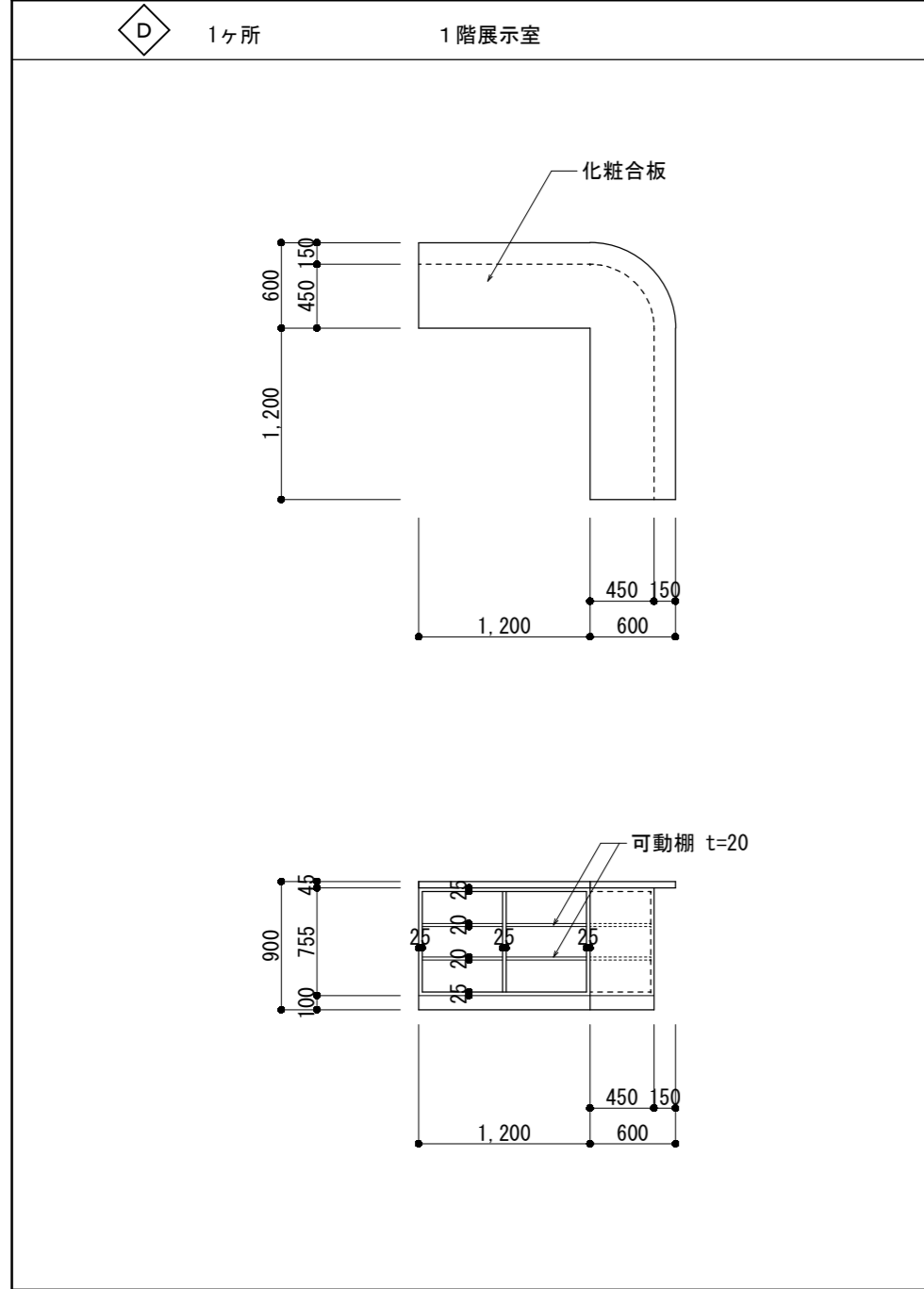
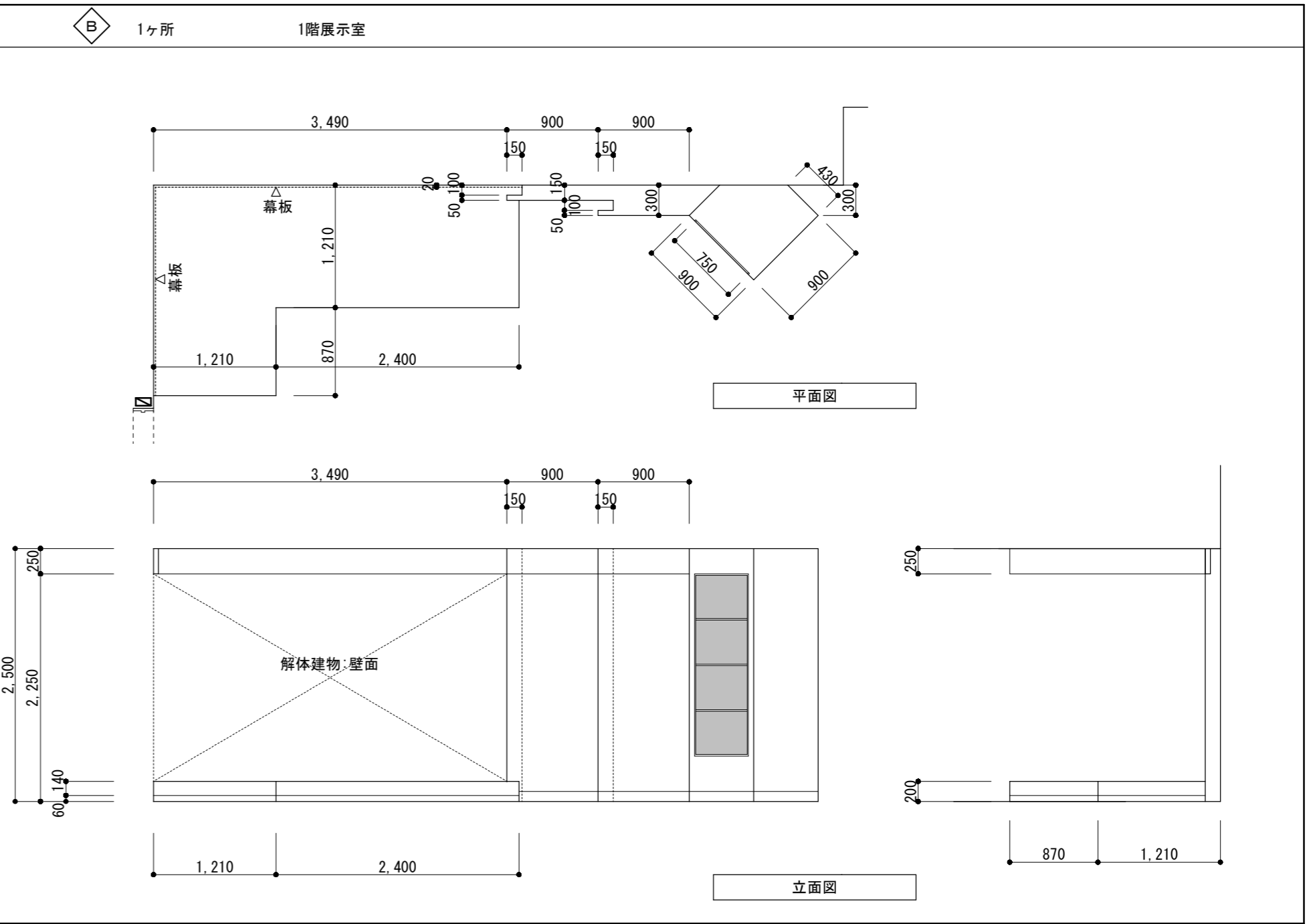
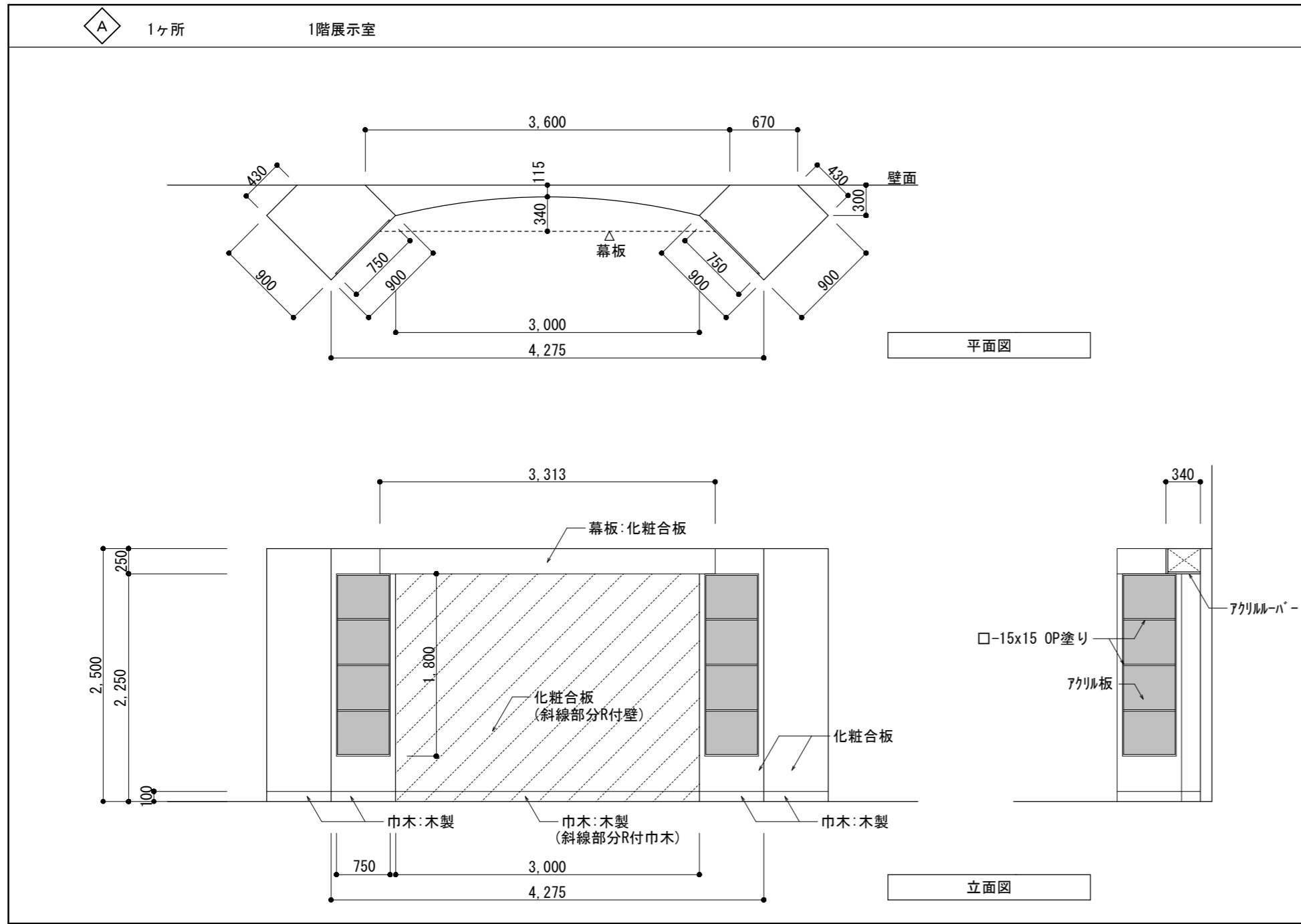
参考

記号	数量	位置	① AD 2ヶ所	ホーチ	② AD 2ヶ所	展示室	③ AD 1ヶ所	収蔵室	④ AD 1ヶ所	ホーチ												
姿図																						
型式	アルミ製両開き扉+両袖Fix+欄間Fix		アルミ製両開き扉		アルミ製両開き扉		アルミ製片開き扉															
材質	アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック															
見込	70mm		70mm		70mm		70mm															
硝子	強化透明6.0mm		強化透明6.0mm		強化透明6.8mm		強化透明6.8mm															
金物	アルミ押棒、サムターン付シリカゲ-錠、707-ヒンジ、フランス落し、アングルヒ-ス、附属金物一式		アルミ押棒、サムターン付シリカゲ-錠、丁番、アルミ水切、DC、フランス落し、アングルヒ-ス、附属金物一式		アルミ押棒、サムターン付シリカゲ-錠、丁番、アルミ水切、DC、フランス落し、アングルヒ-ス、附属金物一式		アルミ押棒、サムターン付シリカゲ-錠、丁番、アルミ水切、DC、フランス落し、アングルヒ-ス、附属金物一式															
備考																						
記号	数量	位置	① AW 4ヶ所	研修室 学習室	② AW 8ヶ所	展示室	③ AW 4ヶ所	展示室 2階廊下	④ AW 2ヶ所	事務室	⑤ AW 1ヶ所	事務室	⑥ AW 1ヶ所	2階物置	⑦ AW 1ヶ所	多目的便所	⑧ AW 2ヶ所	収蔵室				
姿図																						
型式	アルミ製引違い窓		アルミ製引違い高窓		アルミ製引違い窓 連窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓		アルミ製引違い窓+ガラスハ-連窓		アルミ製引違い窓+ガラスハ-連窓					
材質	アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック					
見込	70mm		70mm		70mm		70mm		70mm		70mm		70mm		70mm		70mm					
硝子	強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm		強化透明 5.0mm					
金物	クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、ガラスハ-、ガラスハ-、ガラスハ-、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		クレセント、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式					
備考																						
記号	数量	位置	⑨ AW 1ヶ所	湯沸し	⑩ AW 3ヶ所	男子・女子便所	⑪ AW 1ヶ所	男子便所	⑫ AW 1ヶ所	階段下倉庫	⑬ AW 2ヶ所	接続部分										
姿図											※既設のまま											
型式	アルミ製ガラスハ-窓		アルミ製ガラスハ-窓		アルミ製ガラスハ-窓		アルミ製ガラスハ-窓		アルミ製ガラスハ-窓		アルミ製ガラスハ-窓											
材質	アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック		アルミ ブラック											
見込	70mm		70mm		70mm		70mm		70mm		70mm											
硝子	型板 6.0mm		型板 6.0mm		型板 6.0mm		型板 6.0mm		型板 6.0mm		型板 6.0mm											
金物	ハンドル、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		ハンドル、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		ハンドル、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		ハンドル、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		ハンドル、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式		ハンドル、アルミ水切、アングルヒ-ス、附属金物一式											
備考																						
姿図																						
型式																						
材質																						
見込																						
硝子																						
金物																						
備考																						

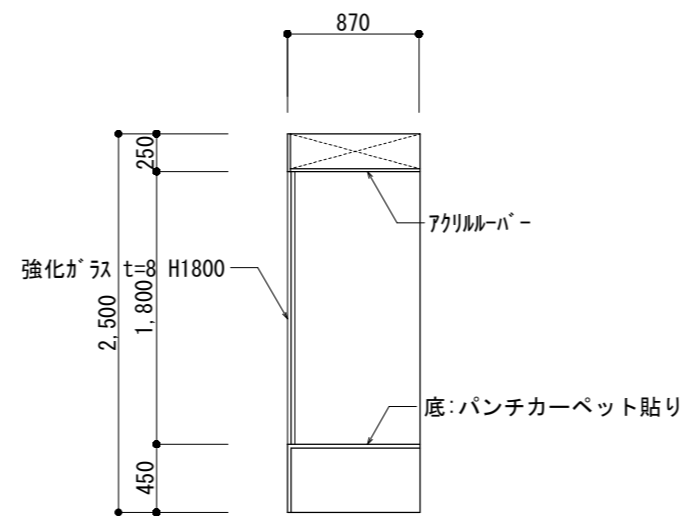
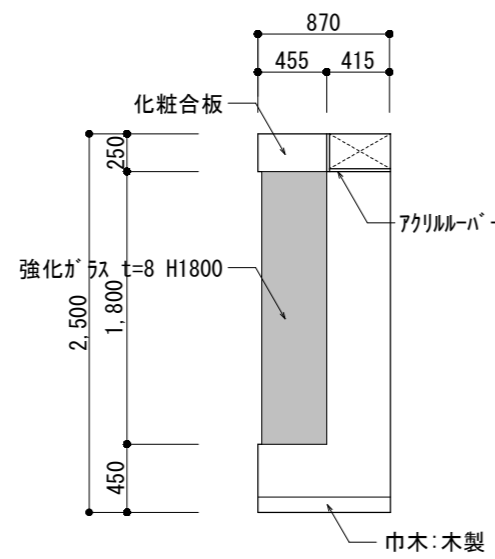
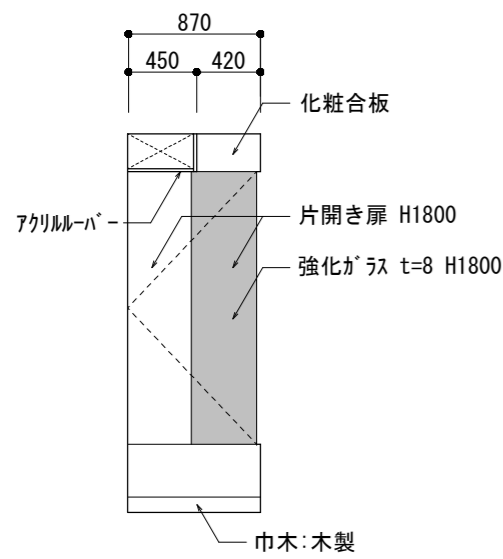
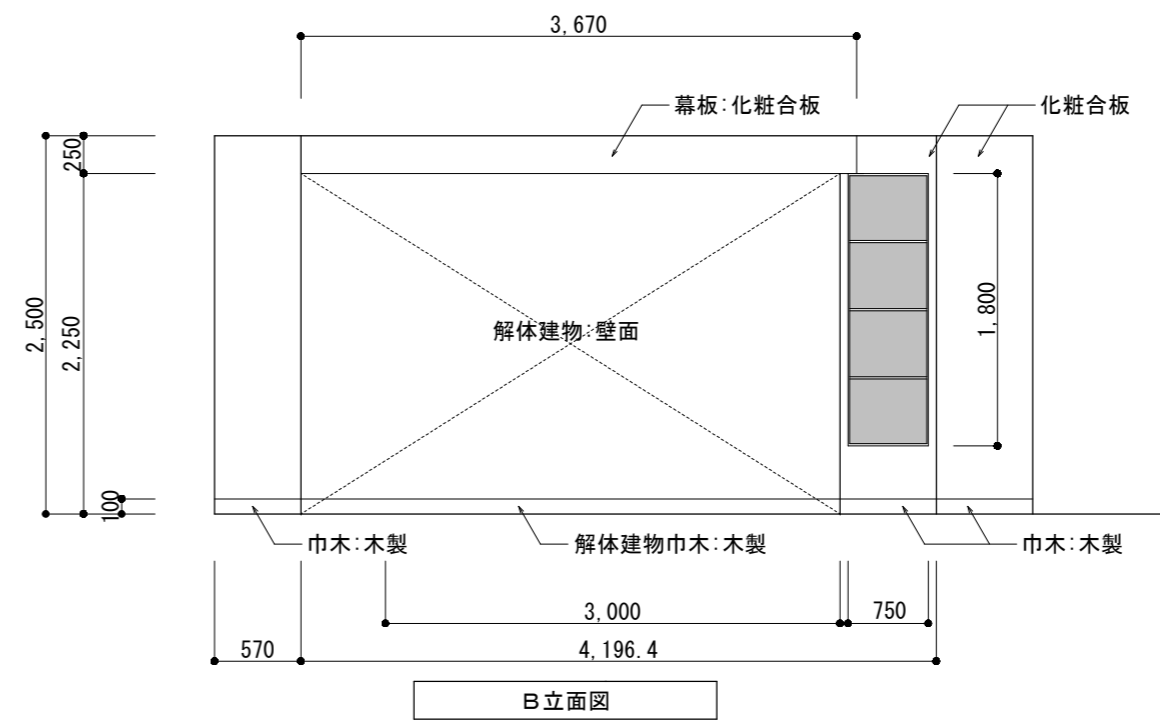
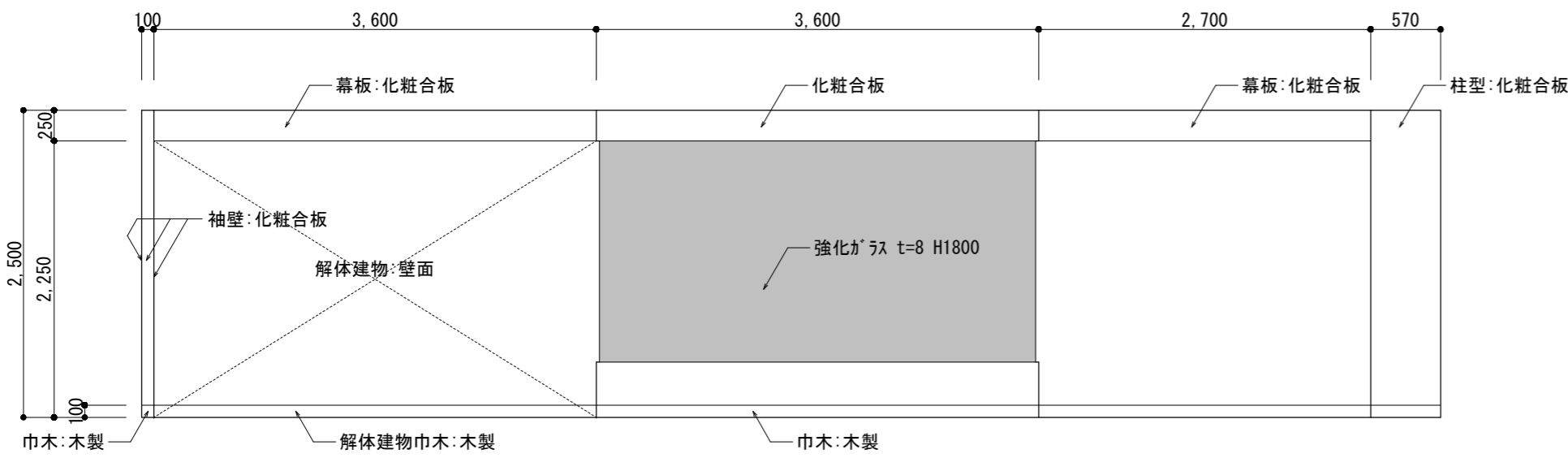
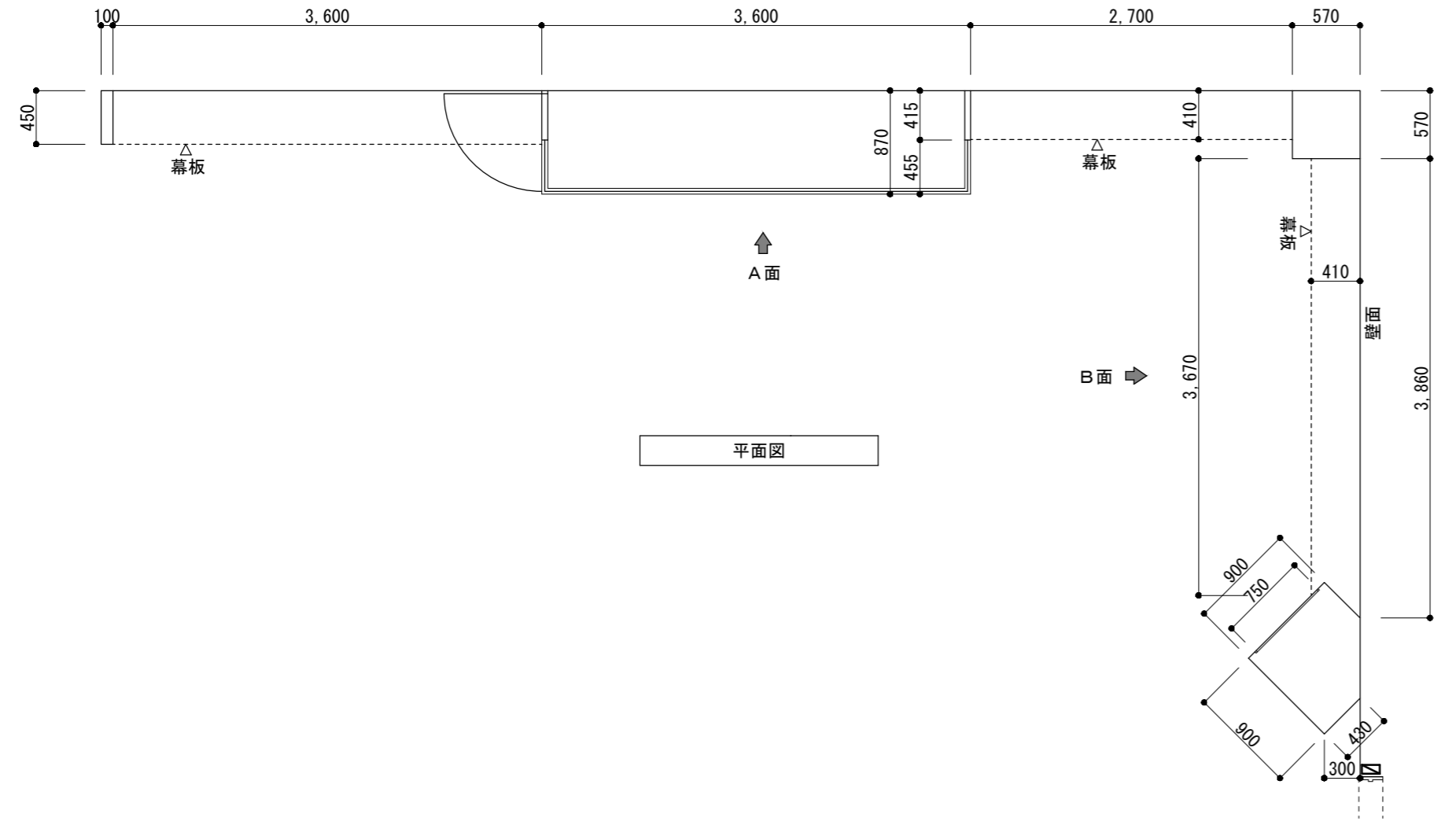
参考

記号	数量	位置	① WD 3ヶ所	② WD 3ヶ所	③ WD 1ヶ所	④ WD 1ヶ所	⑤ WD 1ヶ所	⑥ WD 1ヶ所	⑦ WD 3ヶ所
			展示室 学習室・研修室	事務室・廊下 学習室	事務室	階段下倉庫	物置	多目的便所	湯沸室 便所
姿図									
型式			木製親子開き扉	木製片開き扉	木製片開きスイング扉	木製片開き扉	木製片開き扉	木製片引き上吊り戸	木製片開き扉
材質			化粧合板フラッシュ	化粧合板フラッシュ	化粧合板フラッシュ	化粧合板フラッシュ	化粧合板フラッシュ	化粧合板フラッシュ	化粧合板フラッシュ
見込			36mm	36mm	30mm	36mm	36mm	36mm	36mm
硝子			型板硝子4.0mm	型板硝子4.0mm	型板硝子4.0mm	型板硝子4.0mm	型板硝子4.0mm	型板硝子4.0mm	型板硝子4.0mm
金物			ステンレス番撒りt=2.0、木製ｶﾞﾘ、DC、丁番 ﾊﾝﾄﾞﾙ付ｼﾘﾝｸﾞ-錠、ﾌﾗﾝｽ落し	ステンレス番撒りt=2.0、木製ｶﾞﾘ、DC、丁番 ﾊﾝﾄﾞﾙ付ｼﾘﾝｸﾞ-錠	自在丁番	ステンレス番撒りt=2.0、木製ｶﾞﾘ、丁番 ﾊﾝﾄﾞﾙ付ｼﾘﾝｸﾞ-錠	ステンレス番撒りt=2.0、木製ｶﾞﾘ、丁番 ﾊﾝﾄﾞﾙ付ｼﾘﾝｸﾞ-錠	ステンレス番撒りt=2.0、木製ｶﾞﾘ、引手、表示錠 戸先ｺﾞﾑ、戸車、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、附属金物一式	ステンレス番撒りt=2.0、木製ｶﾞﾘ、DC、丁番 ﾊﾝﾄﾞﾙ付表示錠
備考									
記号	数量	位置	⑧ WD 1ヶ所	⑨ WD 1ヶ所	⑩ WD 1ヶ所	⑪ WD 1ヶ所	⑫ WD 12ヶ所	⑬ WD 3ヶ所	⑭ WD 3ヶ所
			男子便所	女子便所		桁行側外部	桁行側外部	妻側小屋裏 (内部側)	妻側小屋裏 (外部側)
姿図									
型式			トイレﾌﾞｰｽ	トイレﾌﾞｰｽ		嵌め込み木製ｶﾞﾘ	嵌め込み木製ｶﾞﾘ	嵌め込み木製ｶﾞﾘ	嵌め込み木製ｶﾞﾘ
材質			ﾌﾞﾘｯﾄﾞ合板ﾌﾗｯｼｬ	ﾌﾞﾘｯﾄﾞ合板ﾌﾗｯｼｬ		米松 OP	米松 OP	米松 OP	米松 OP
見込			36mm	36mm		縦枠45 x 75、上枠45 x 75、下枠60 x 75、 中棧60 x 75、ｶﾞﾘ60 x 25	縦枠45 x 75、上枠45 x 75、下枠60 x 75、 中棧60 x 75、ｶﾞﾘ60 x 25	縦枠45 x 75、上枠45 x 75、下枠60 x 75、 中棧60 x 75、ｶﾞﾘ60 x 25	四方枠60 x 75、ｶﾞﾘ60 x 45
硝子									
金物			SUS笠木、SUS巾木、取手、ﾗﾝﾄﾞﾘｰﾝｼﾞﾝｸﾞ、 ﾊﾝﾄﾞﾙ付表示錠	SUS笠木、SUS巾木、取手、ﾗﾝﾄﾞﾘｰﾝｼﾞﾝｸﾞ、 ﾊﾝﾄﾞﾙ付表示錠					
備考									
記号	数量	位置	① P 1ヶ所						
			学習室						
姿図									
型式			ｽﾗｲﾄﾞｲﾝｸﾞｰﾙ						
材質			化粧合板ﾊﾞｯﾄﾞ						
見込			55mm						
硝子									
金物			ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰ、附属金物一式						
備考									
姿図									参考
型式									
材質									
見込									
硝子									
金物									
備考									

原図:A2



1ヶ所 1階展示室

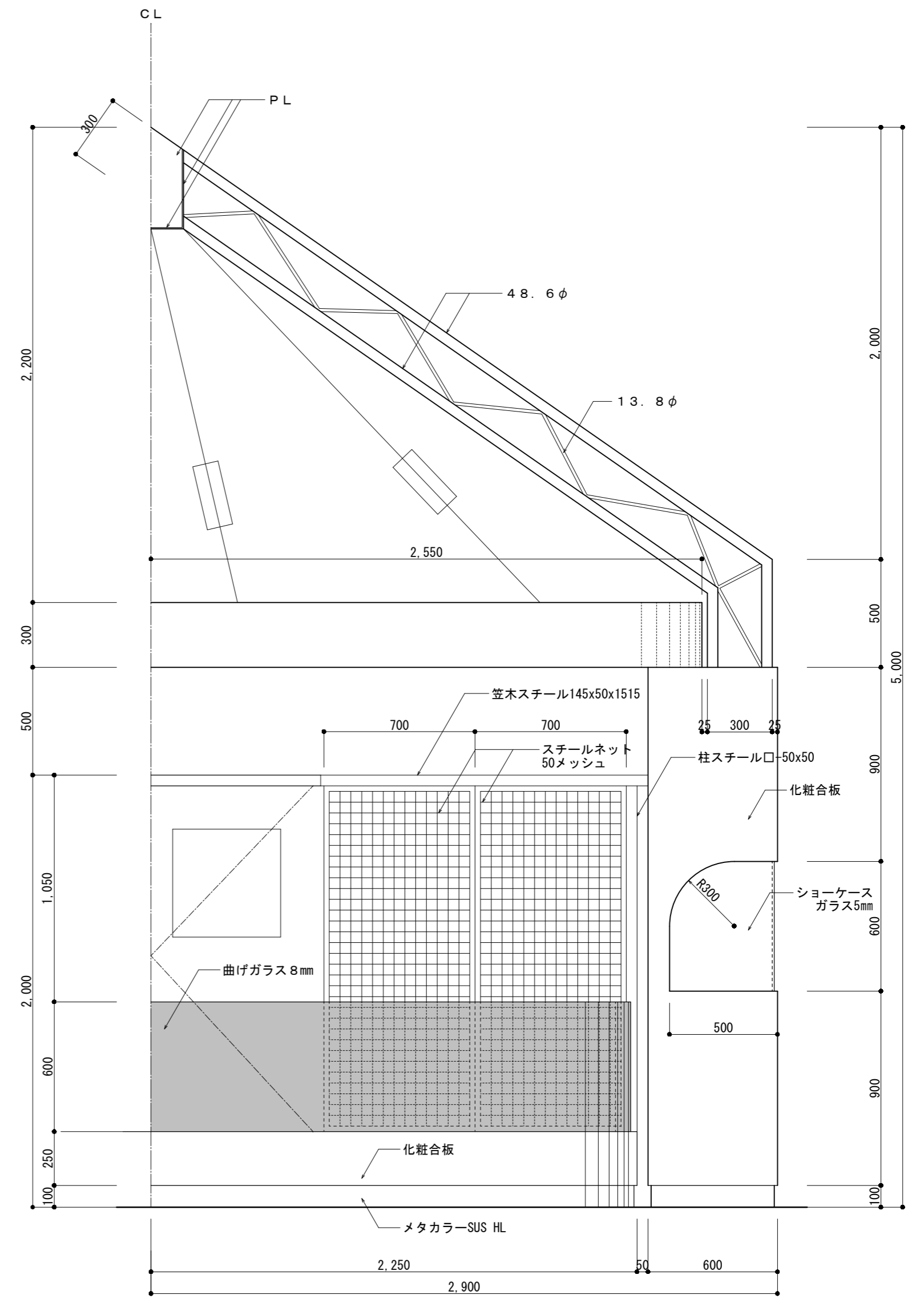
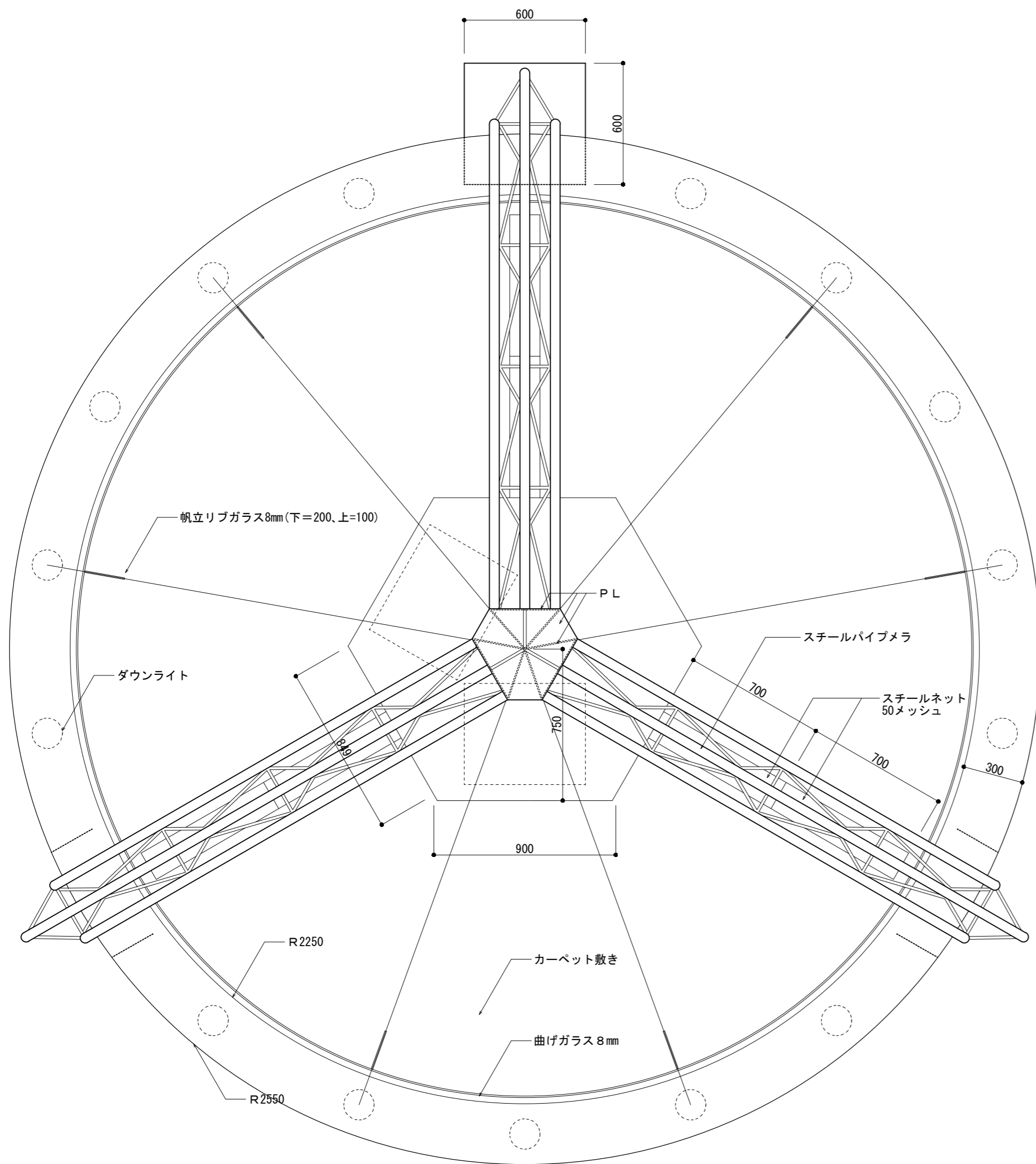


参考

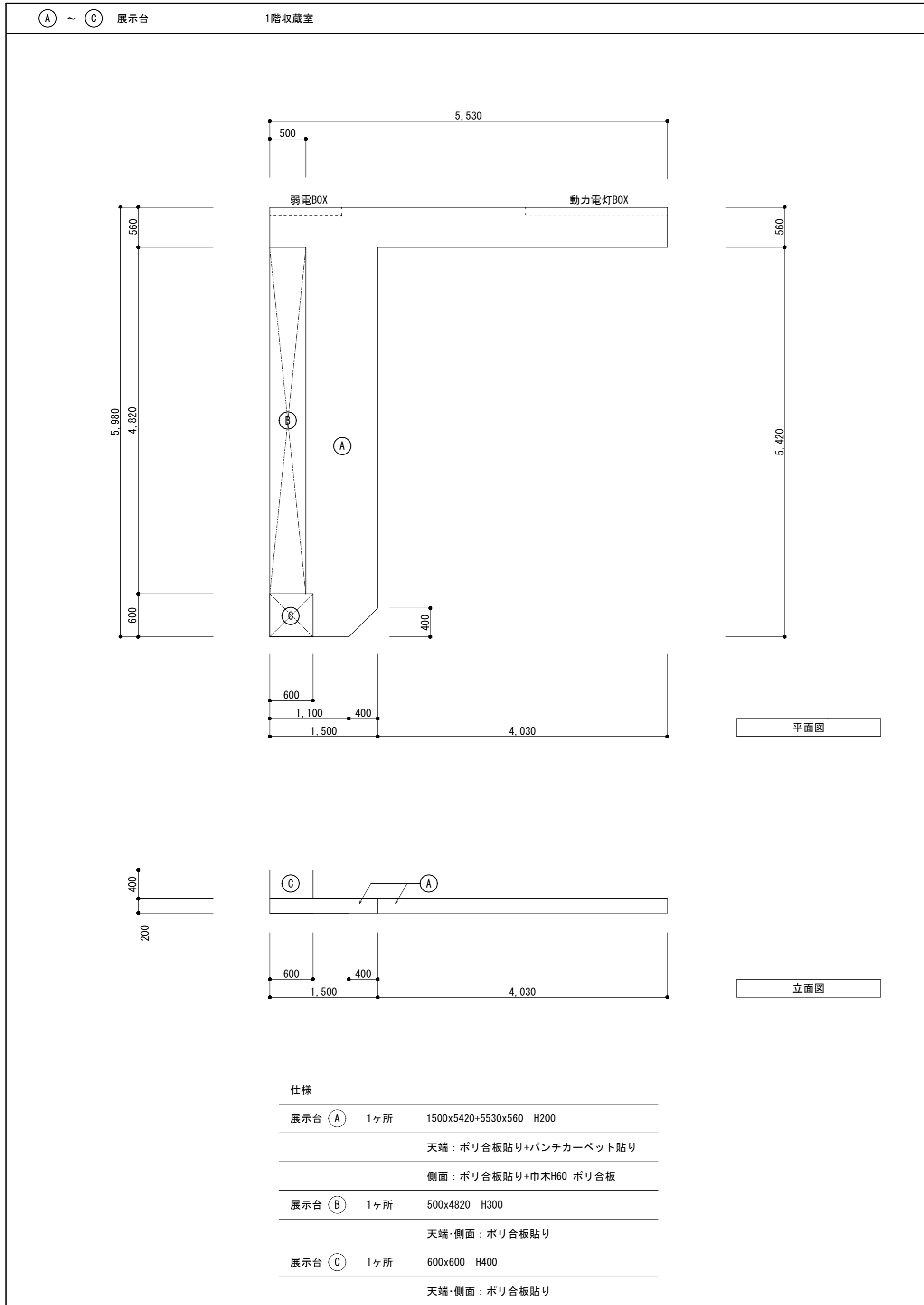
H

1ヶ所

1階展示室

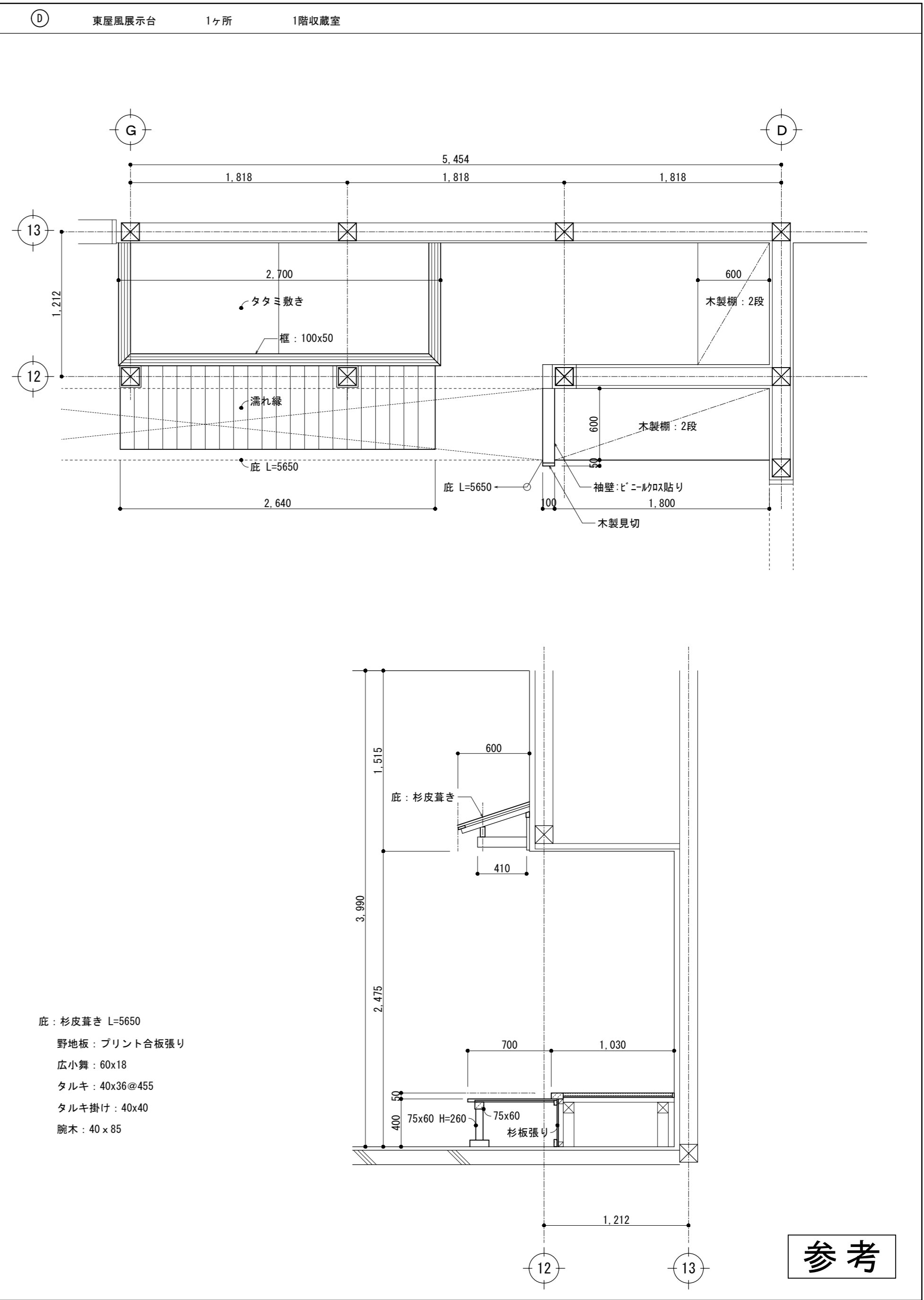


参考



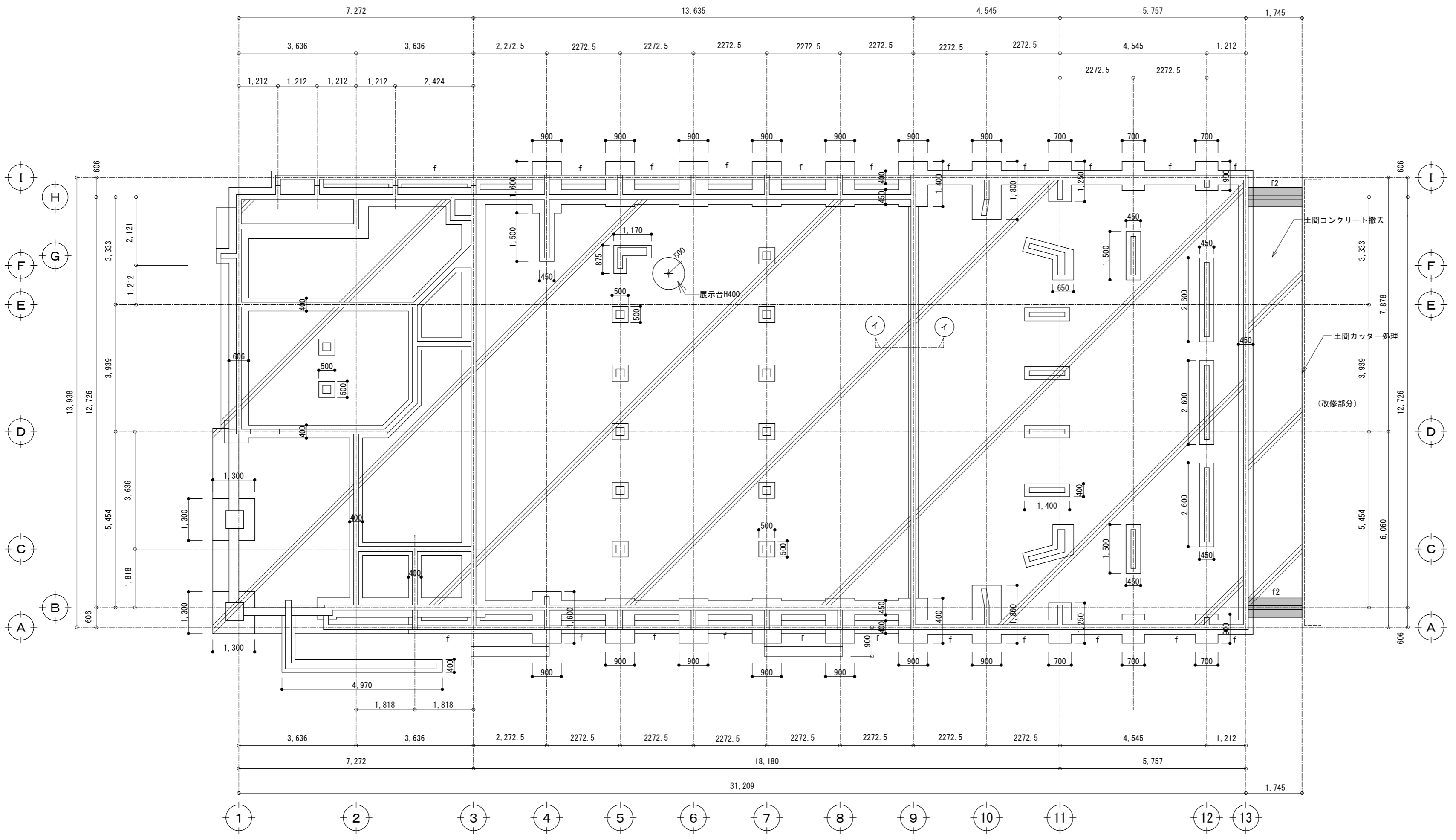
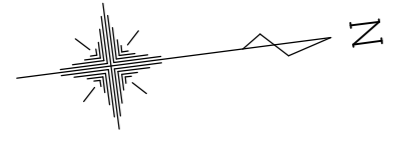
仕様

展示台 (A)	1ヶ所	1500x5420+5530x560 H200
天端: ポリ合板貼り+パンチカーベット貼り		
側面: ポリ合板貼り+巾木H60 ポリ合板		
展示台 (B)	1ヶ所	500x4820 H300
天端・側面: ポリ合板貼り		
展示台 (C)	1ヶ所	600x600 H400
天端・側面: ポリ合板貼り		

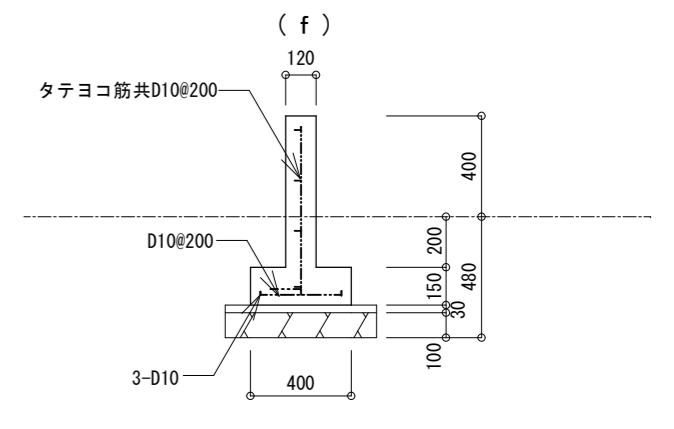


- 底: 杉皮葺き L=5650
- 野地板: プリント合板張り
- 広小舞: 60x18
- タルキ: 40x36@455
- タルキ掛け: 40x40
- 腕木: 40x85

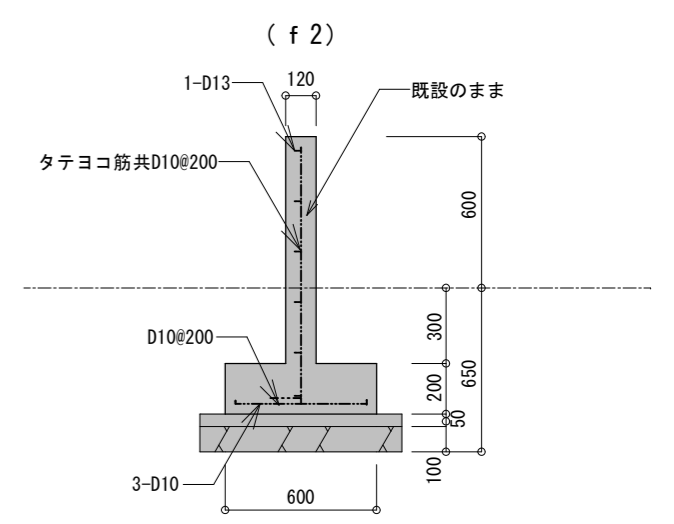
参考



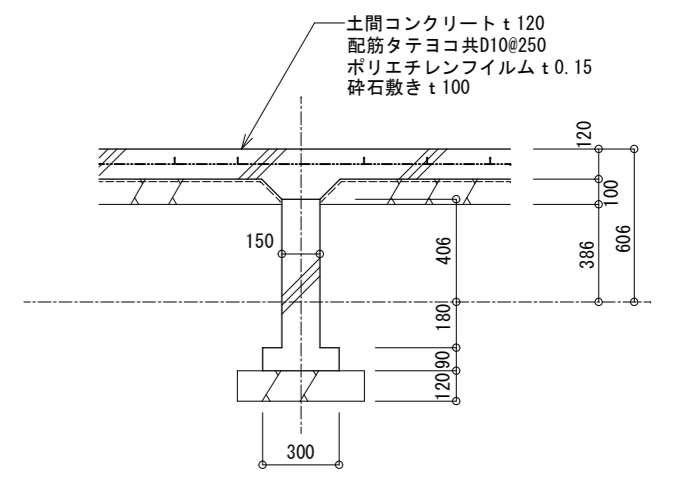
基礎伏図 S=1/100



基礎配筋図 S=1/30

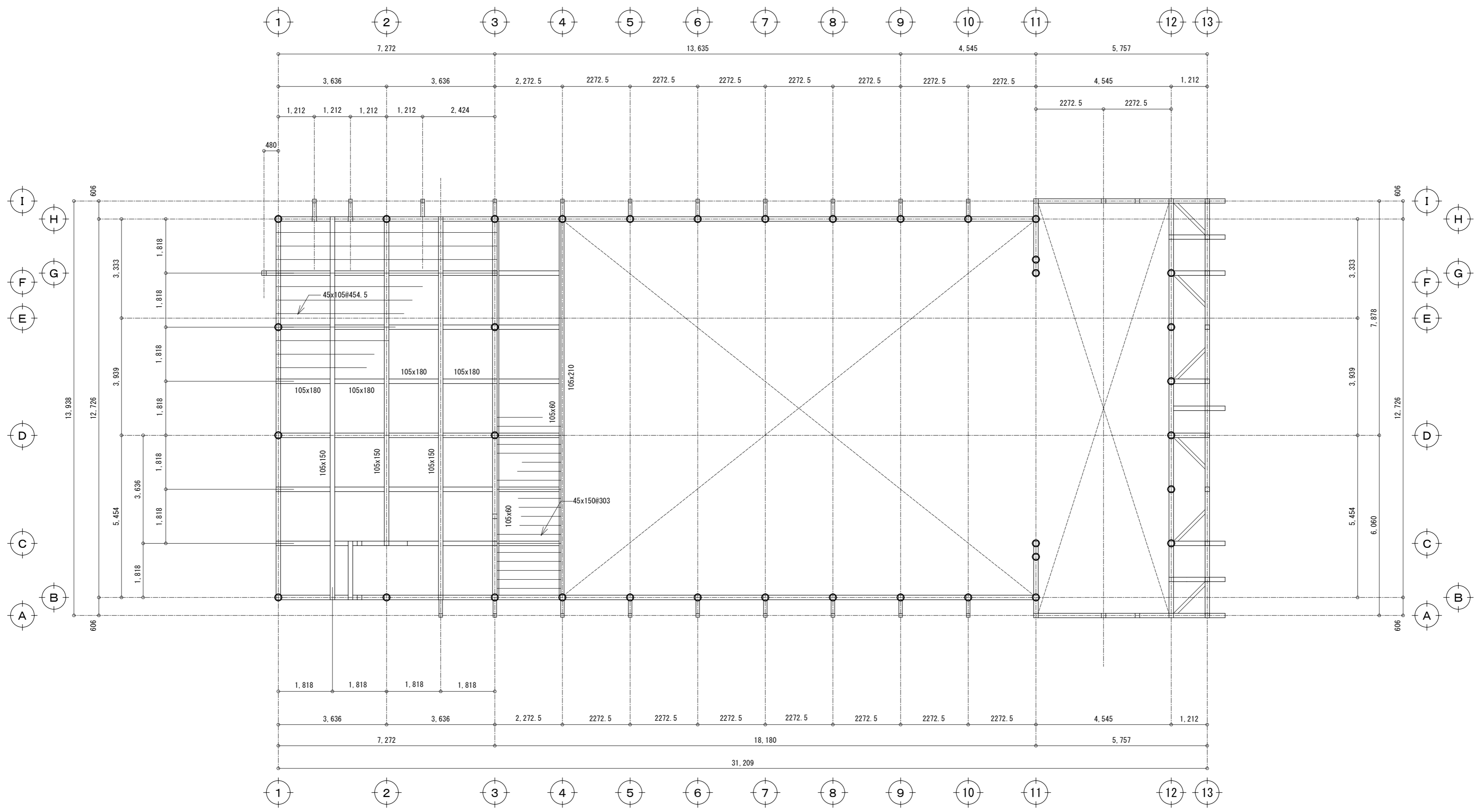


基礎配筋図 S=1/30



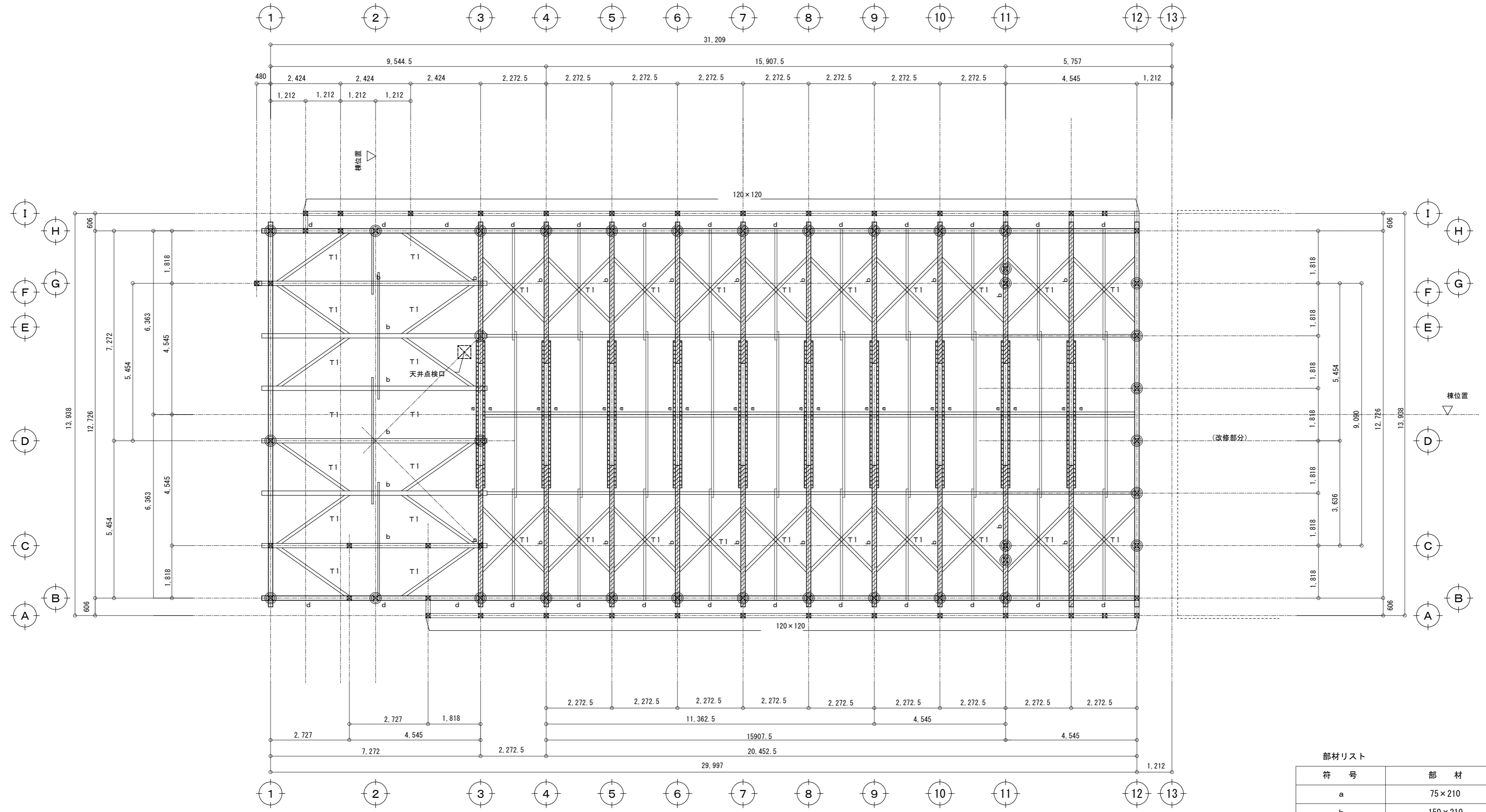
イー詳細図 S=1/30

参考



2階床伏図 S=1/100

参考



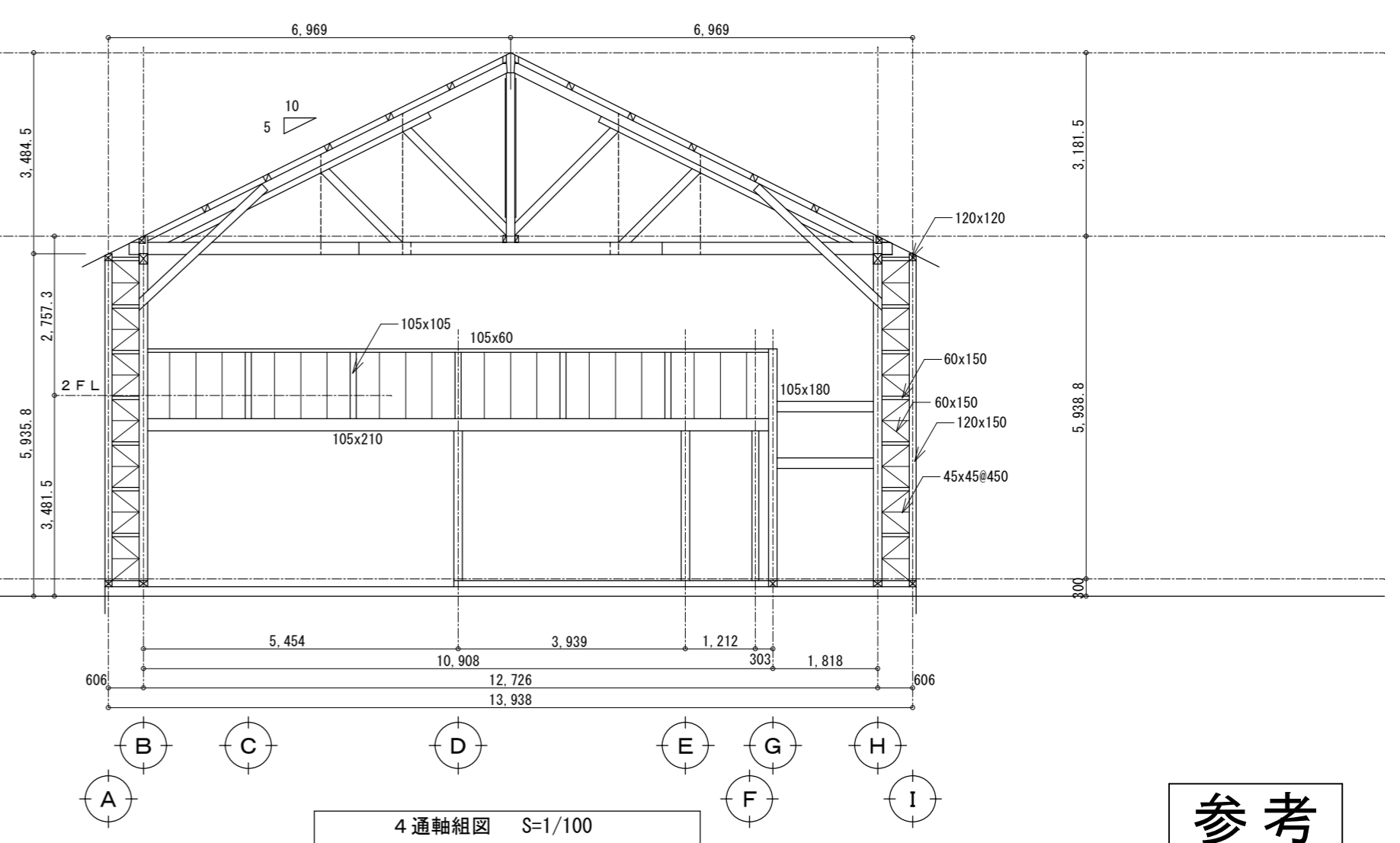
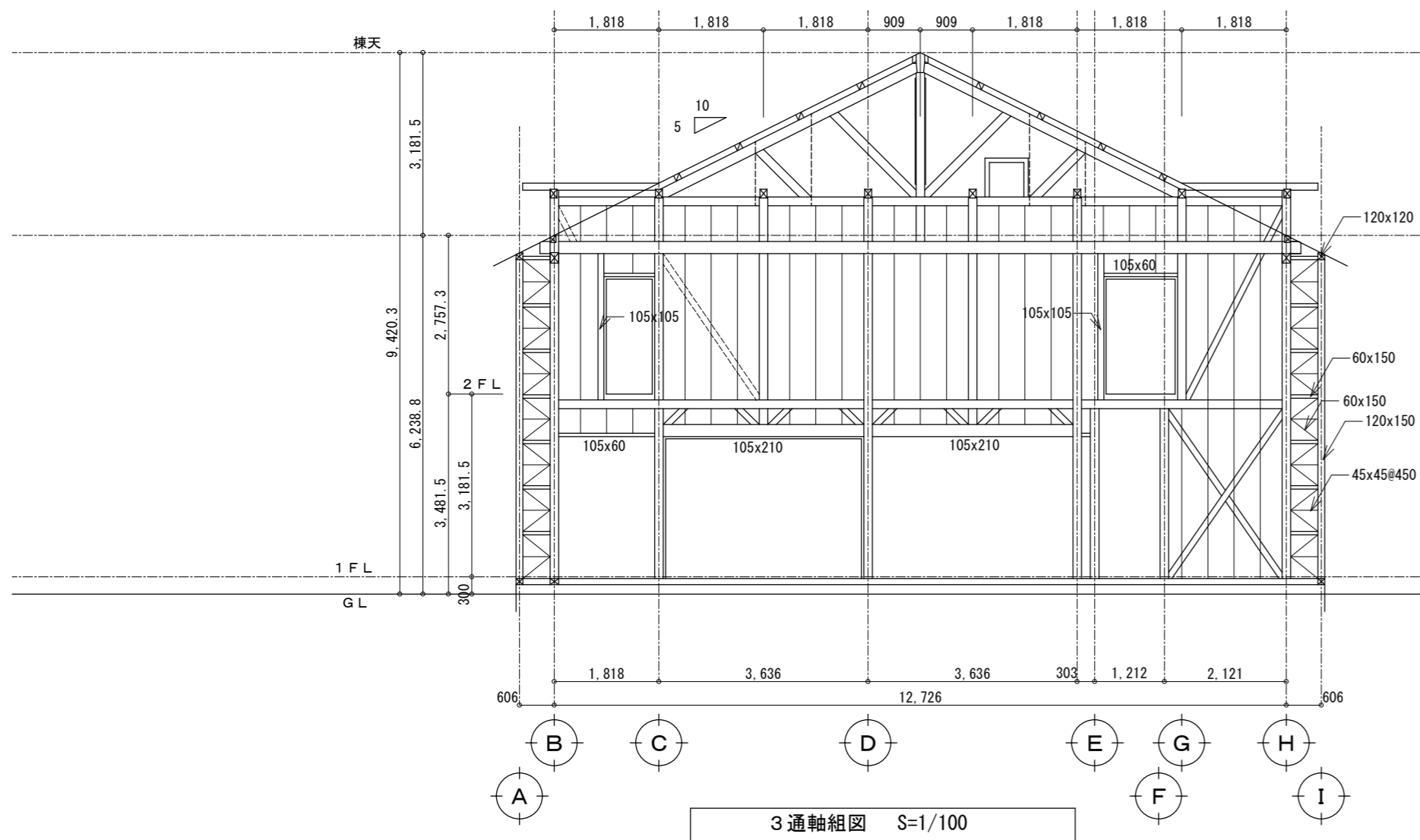
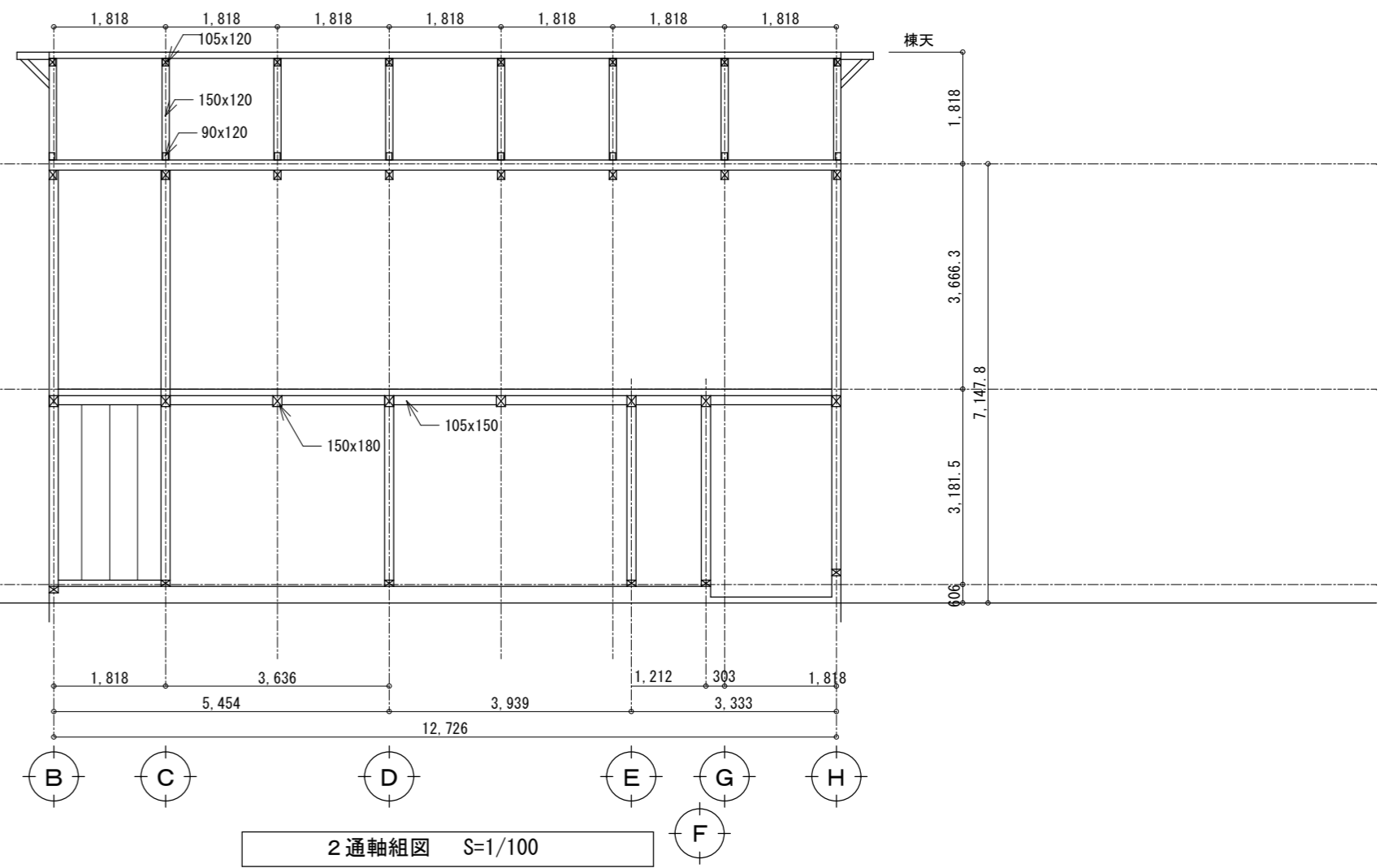
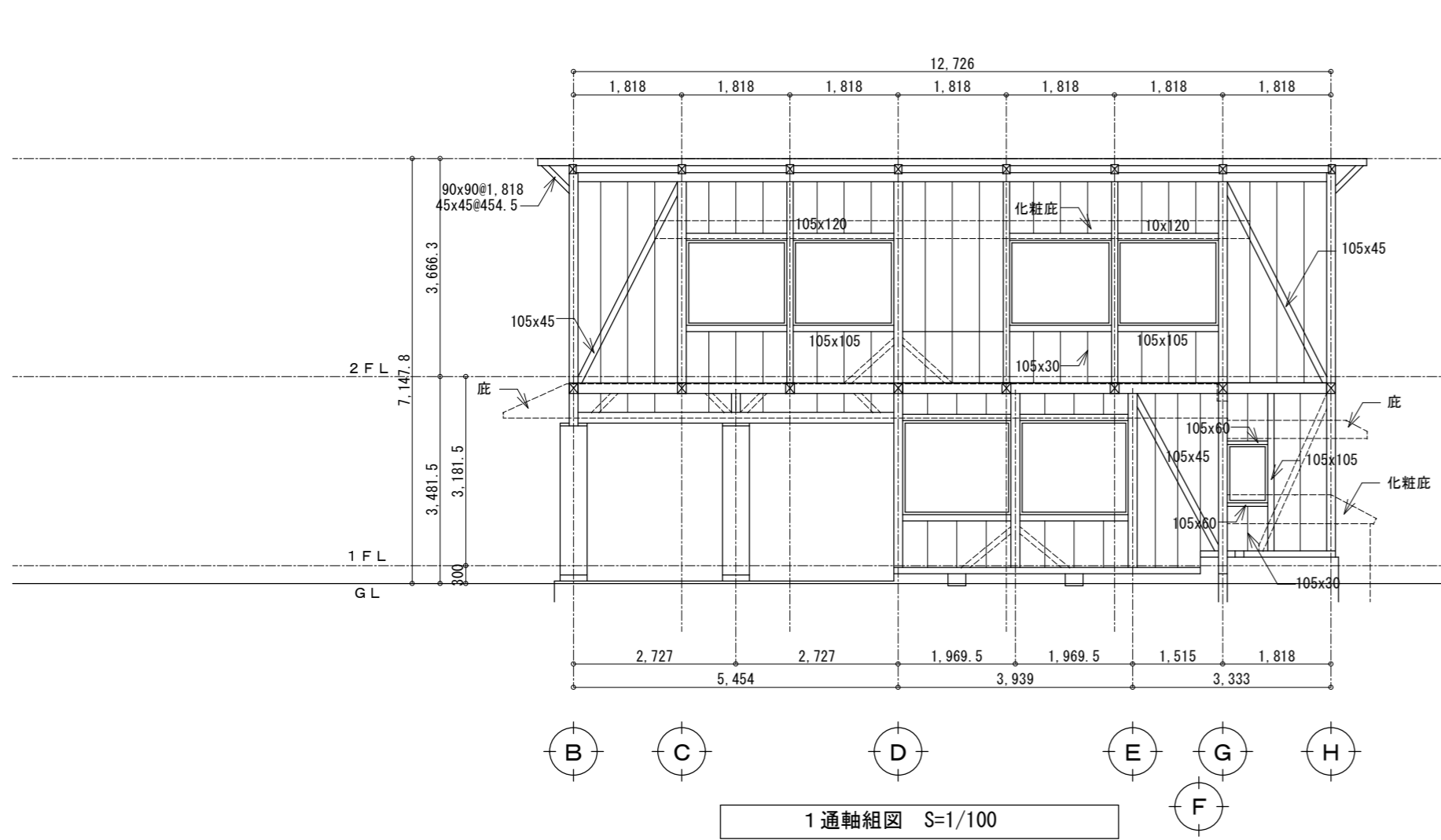
小屋伏図(桁レベル) S=1/100

⊗ は通し柱を示す

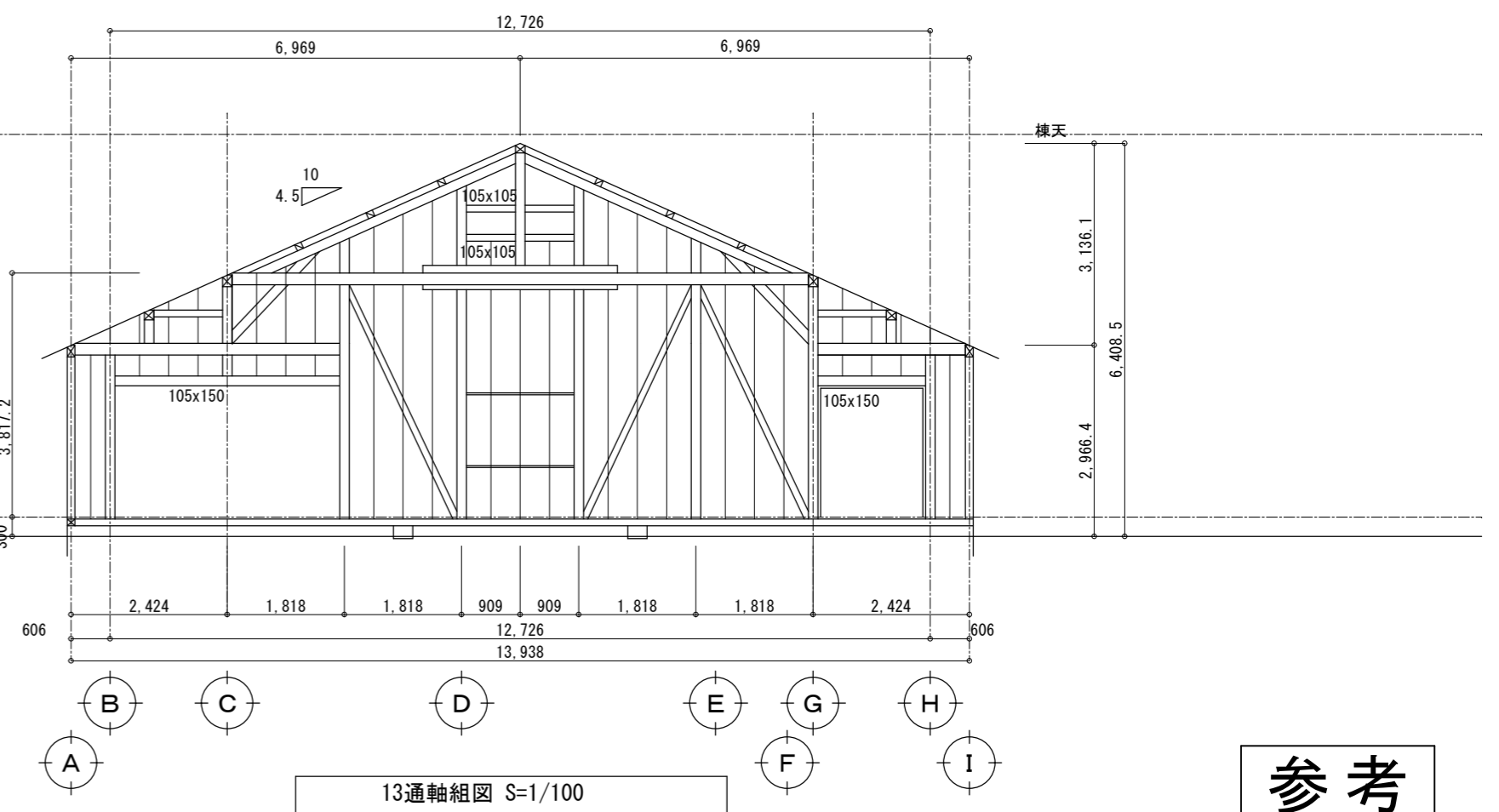
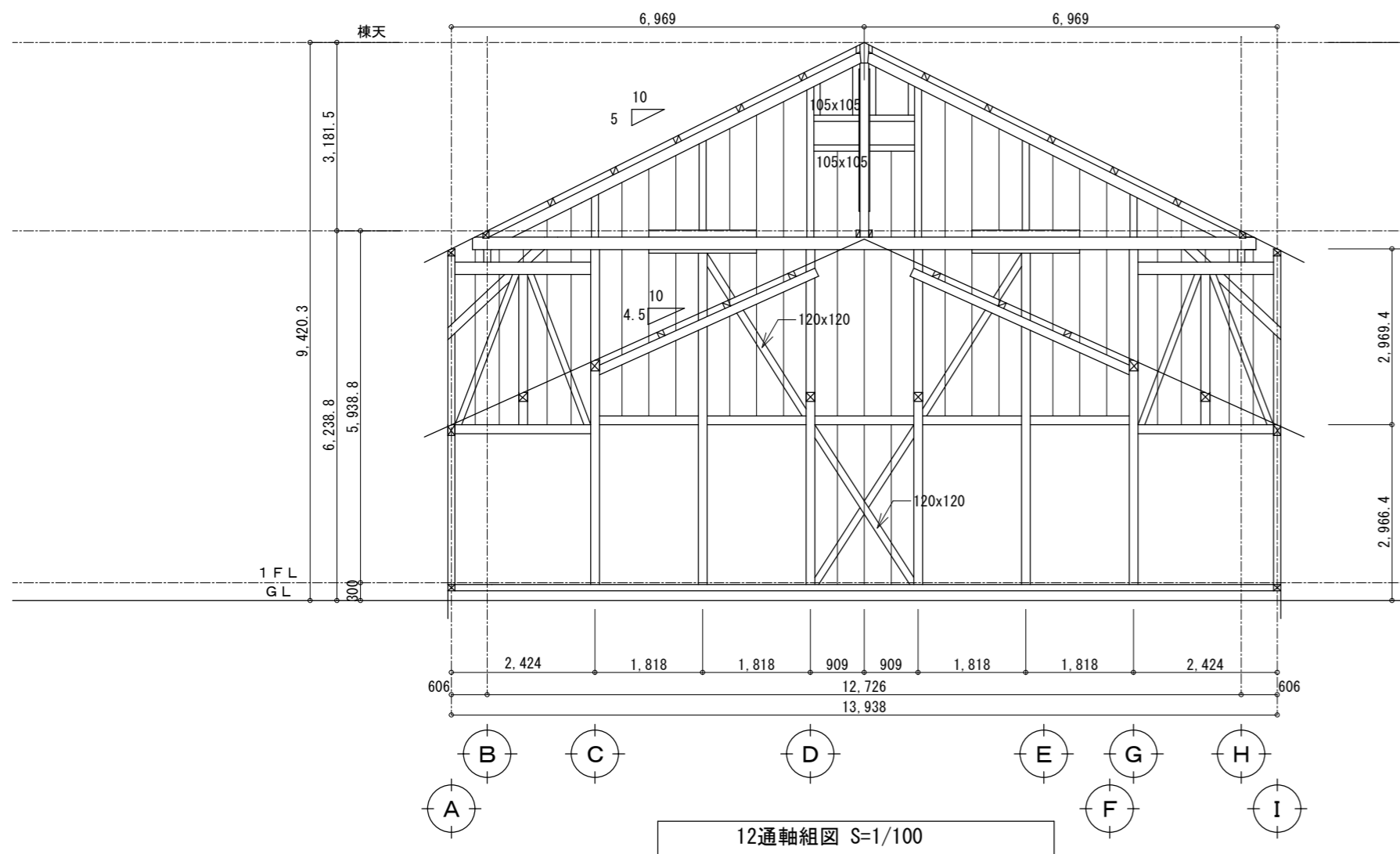
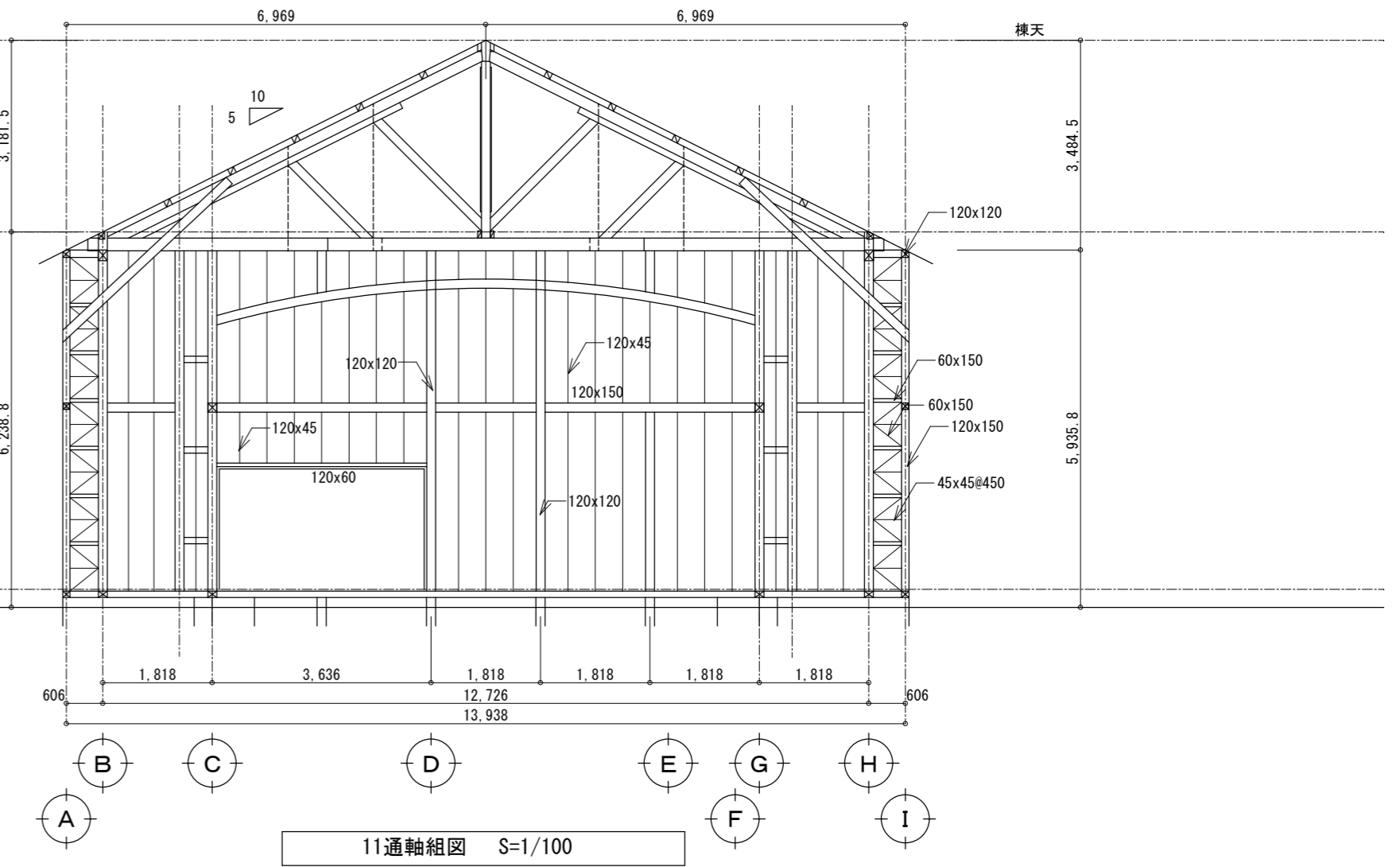
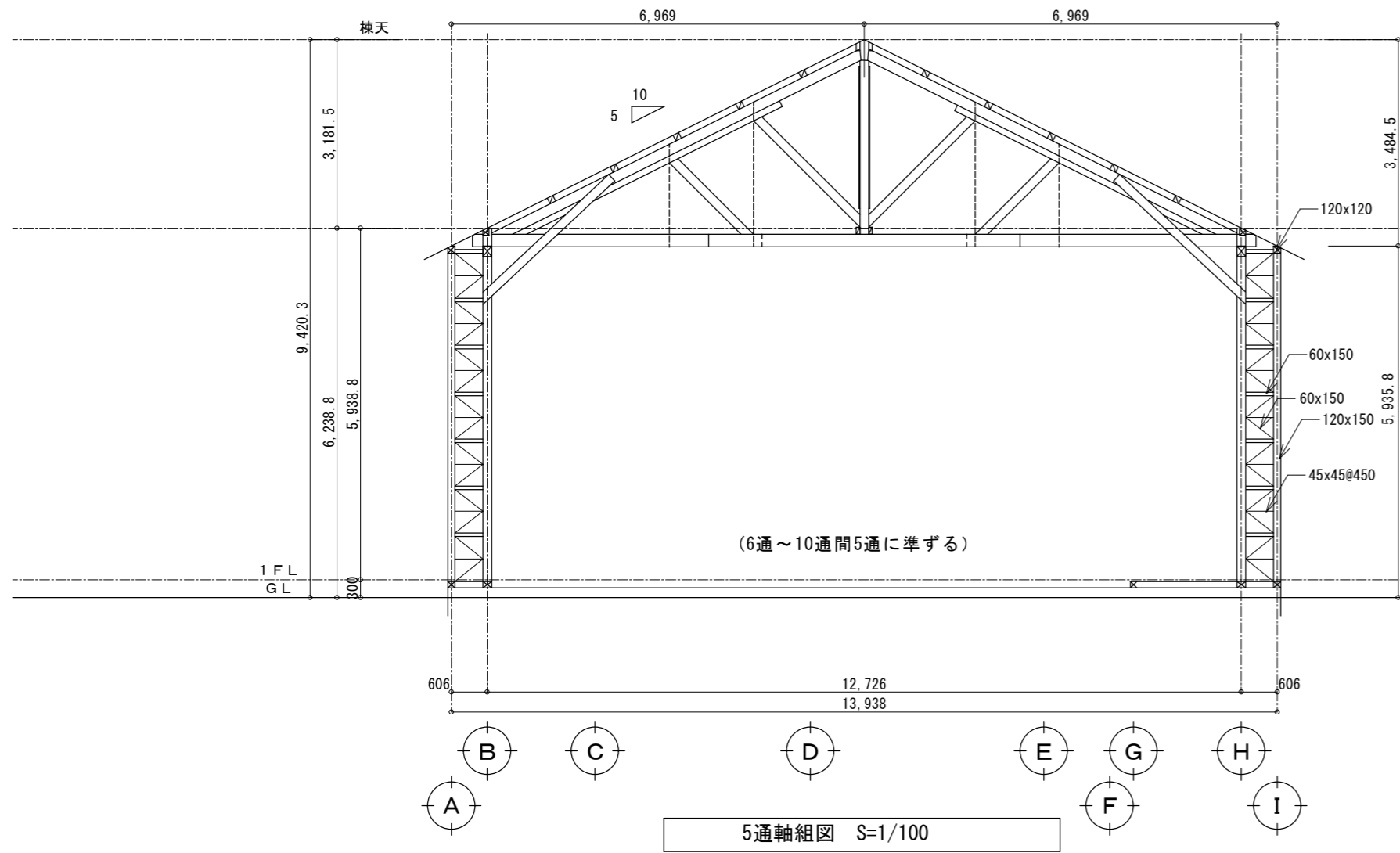
部材リスト

符号	部材
a	75×210
b	150×210
c	105×150
d	150×280
T1 (火打ち)	105×105

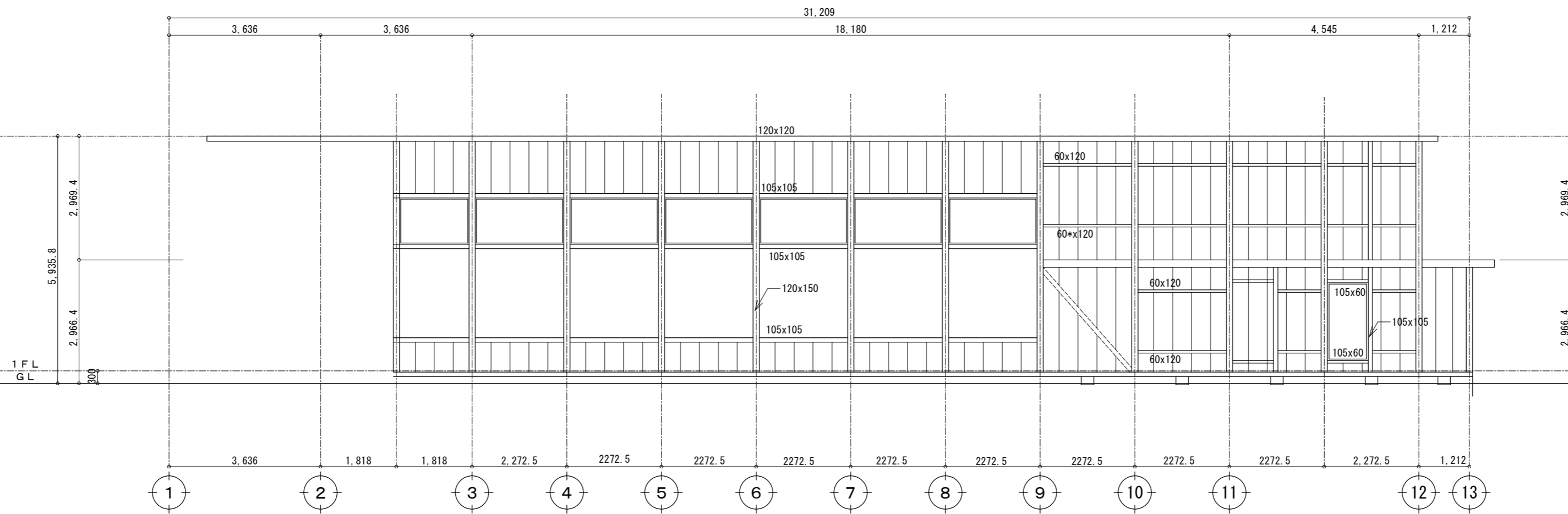
参考



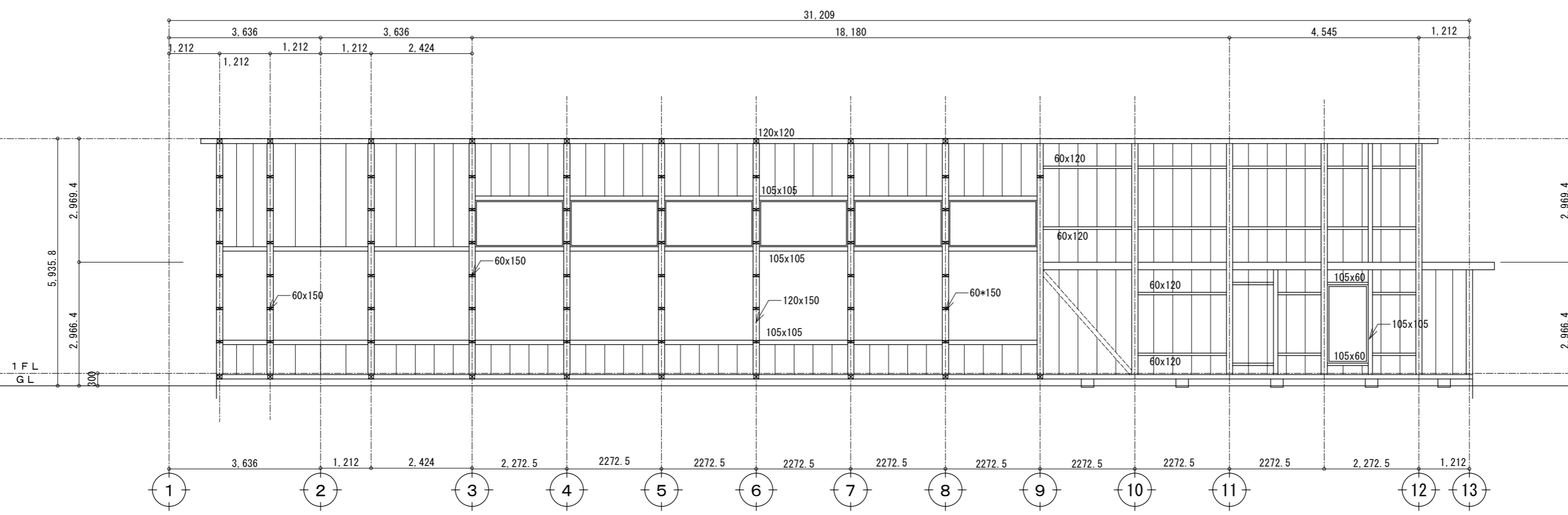
参考



参考

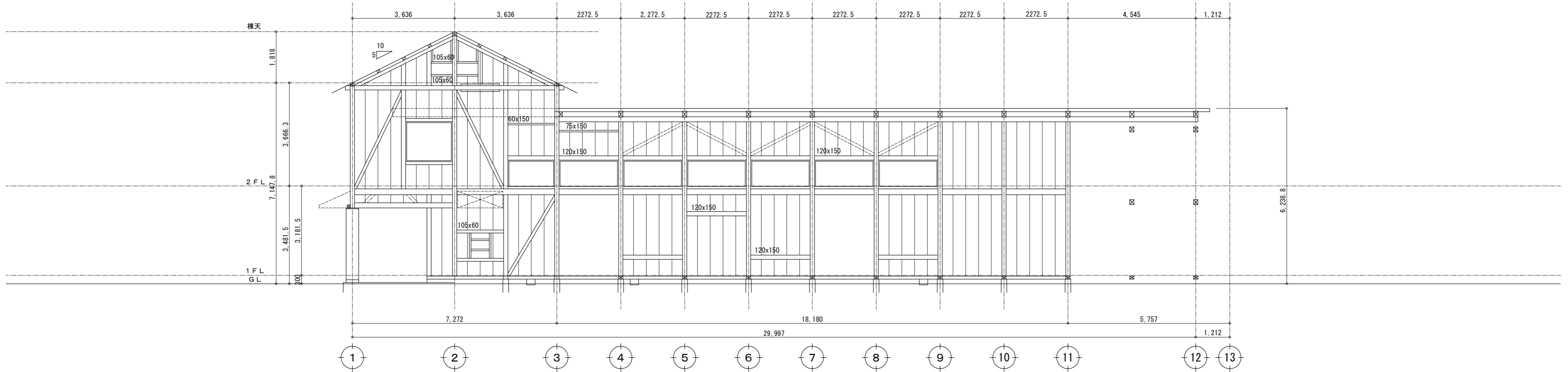


A 通軸組図 S=1/100

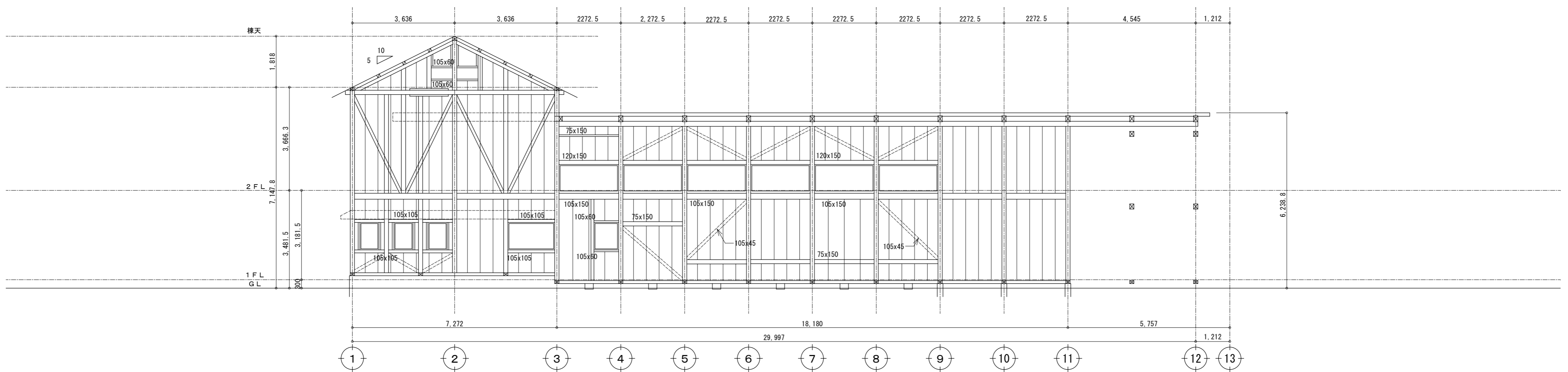


I 通軸組図 S=1/100

参考

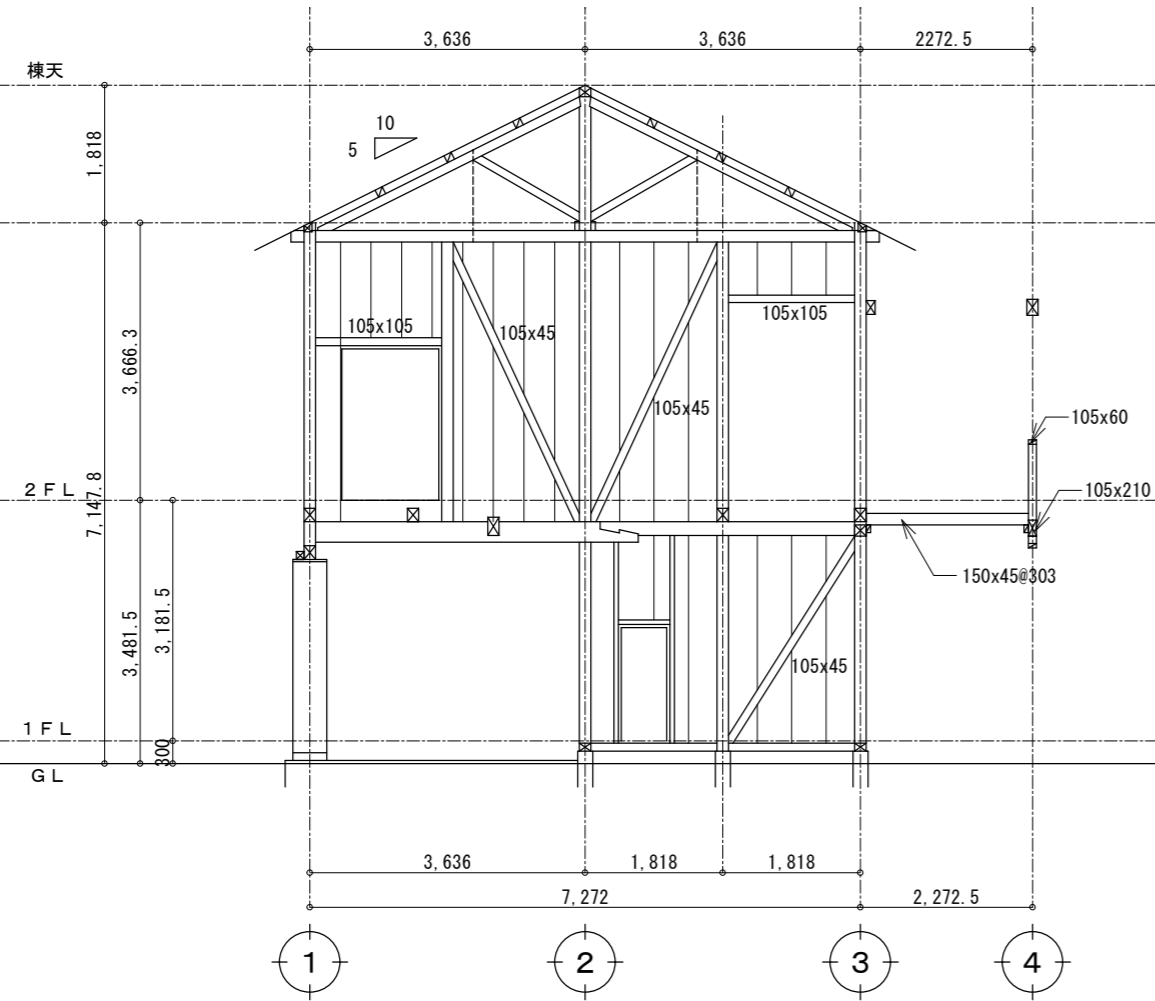


B通軸組図 S=1/100

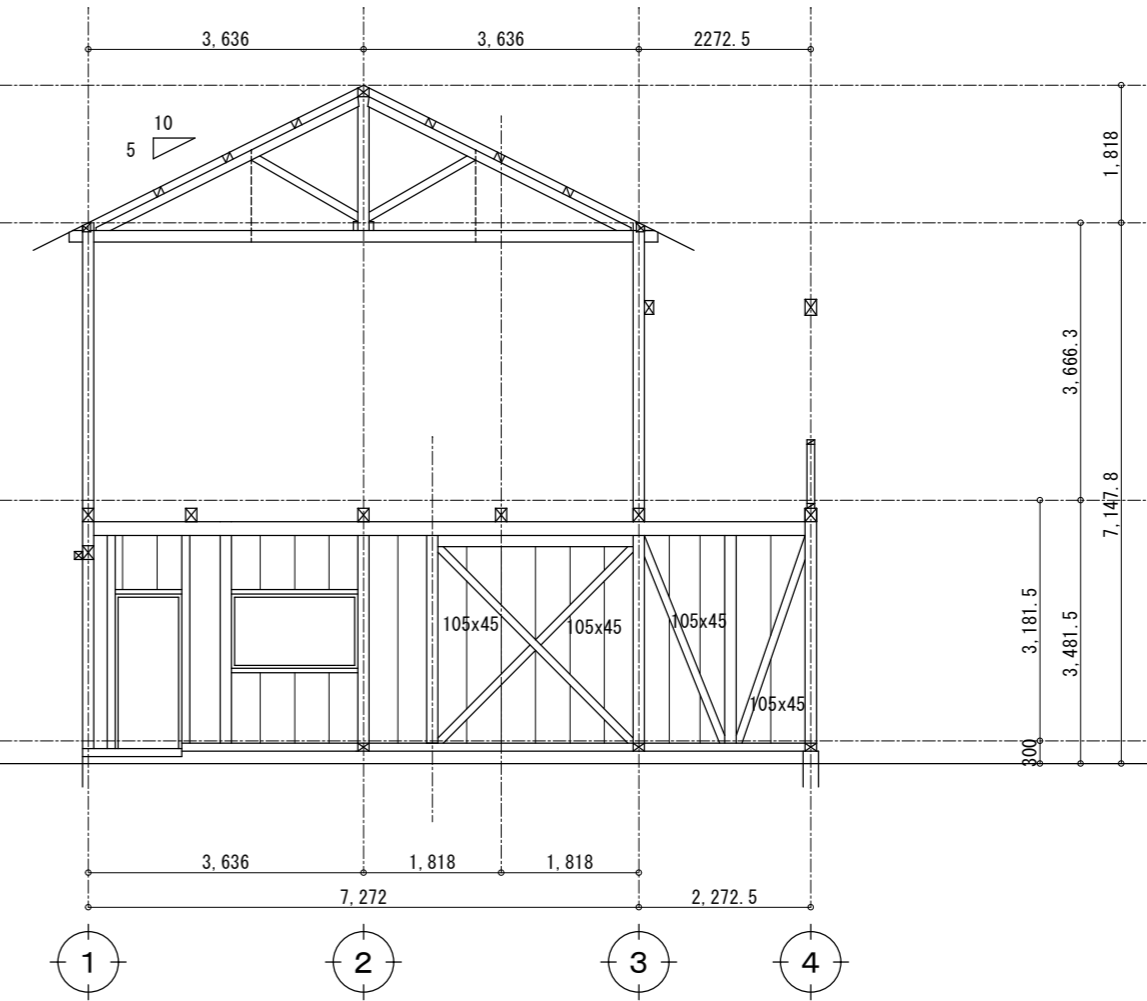


H通軸組図 S=1/100

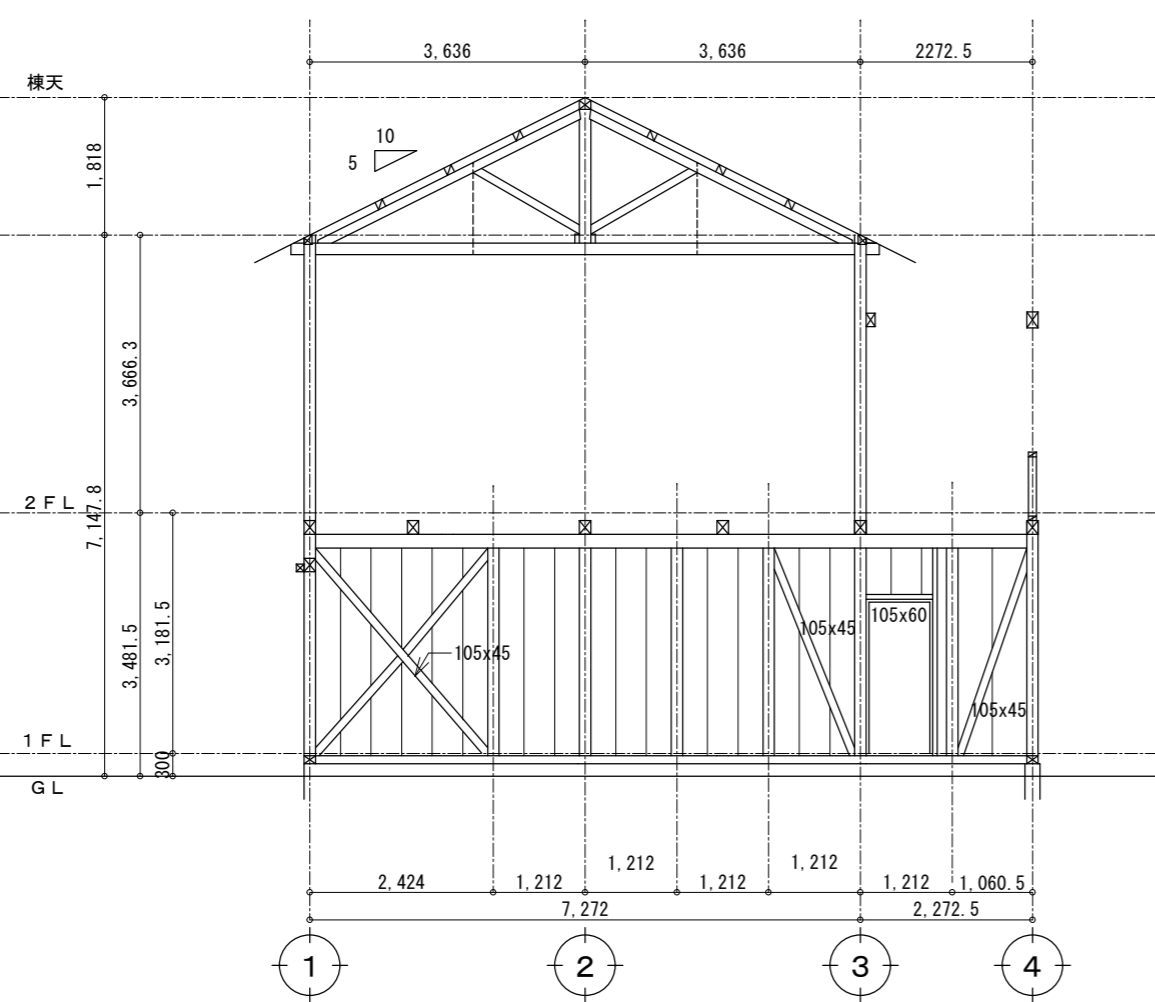
参考



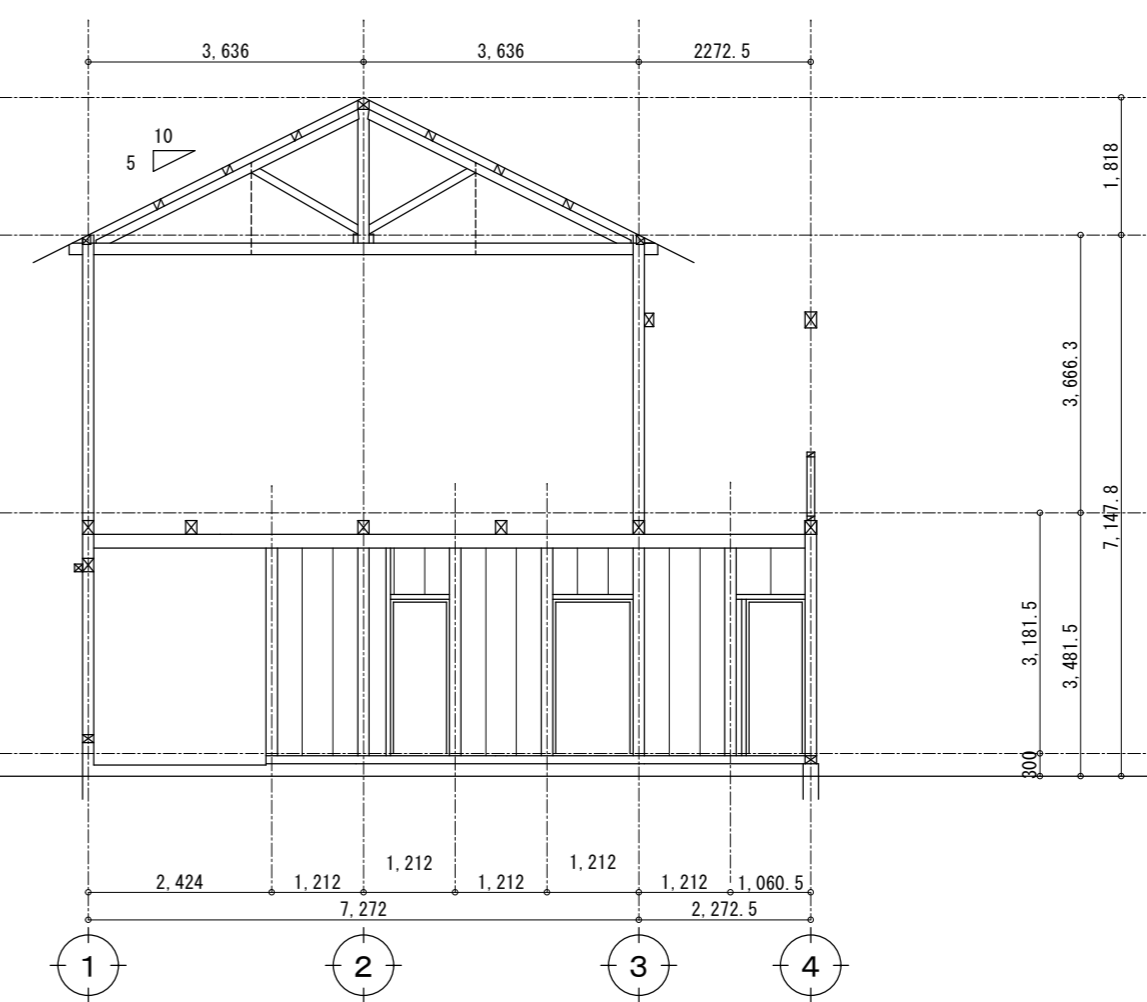
C通軸組図 S=1/100



D通軸組図 S=1/100

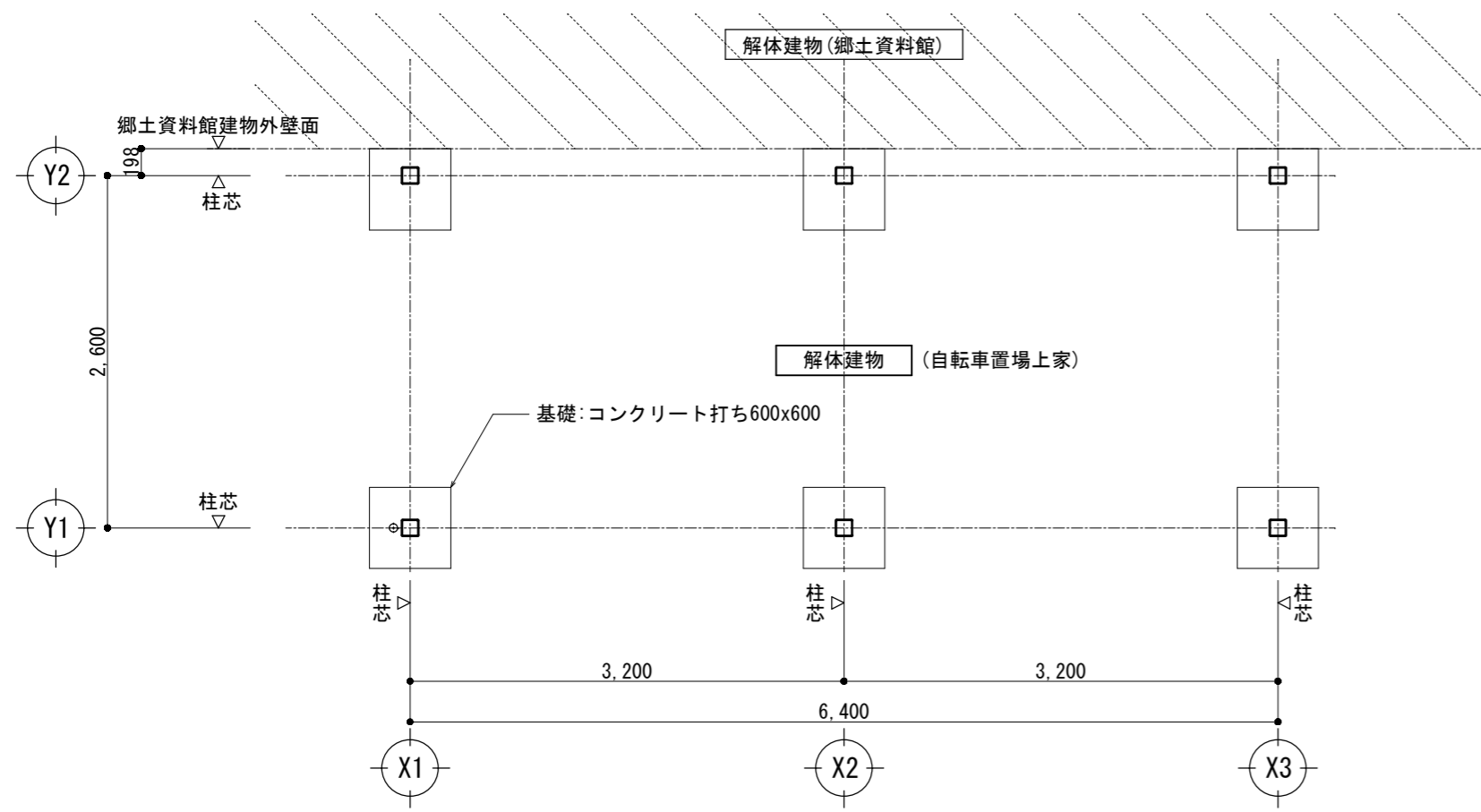
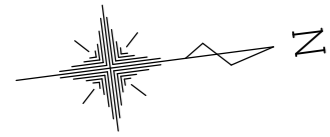


E通軸組図 S=1/100

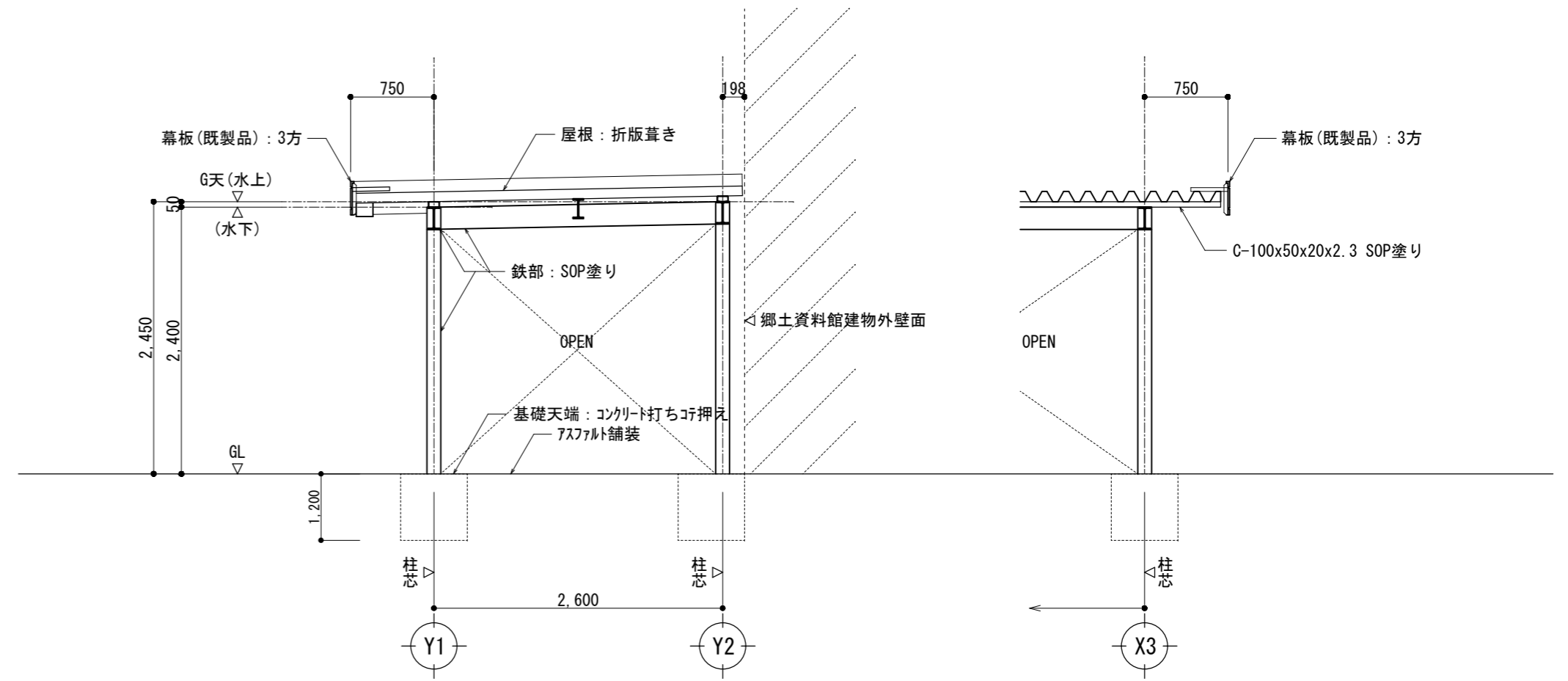


F通軸組図 S=1/100

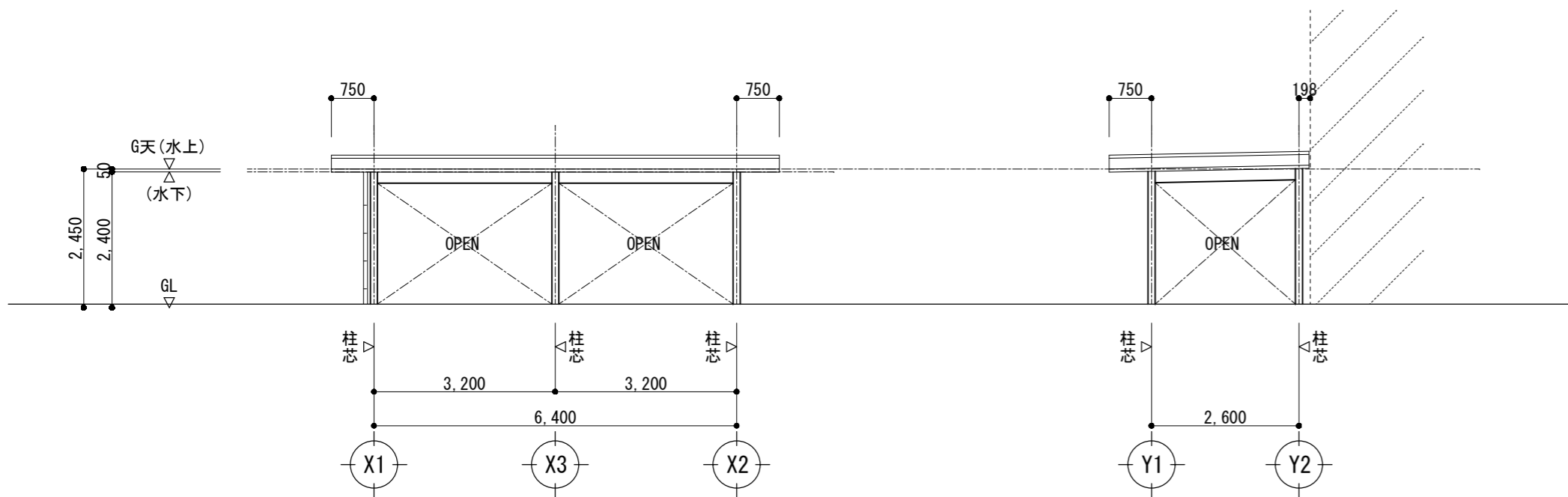
参考



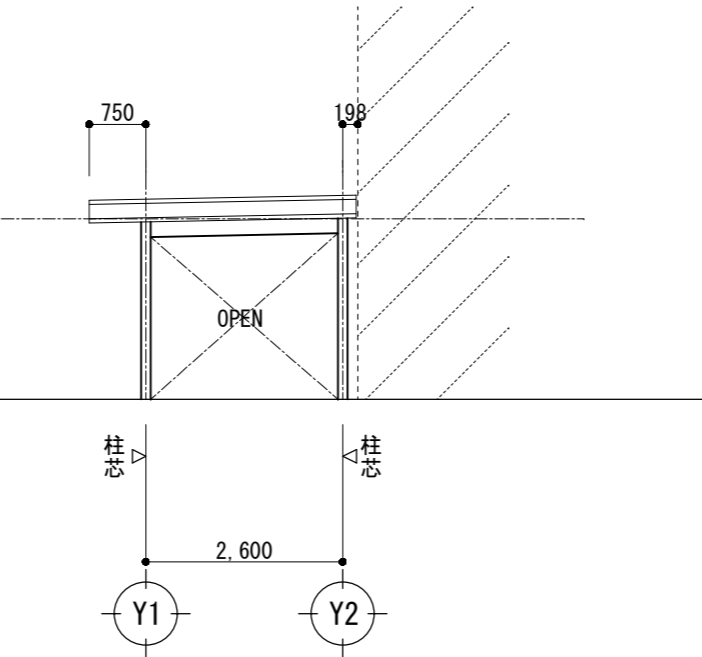
自転車置場 平面図 S=1/50



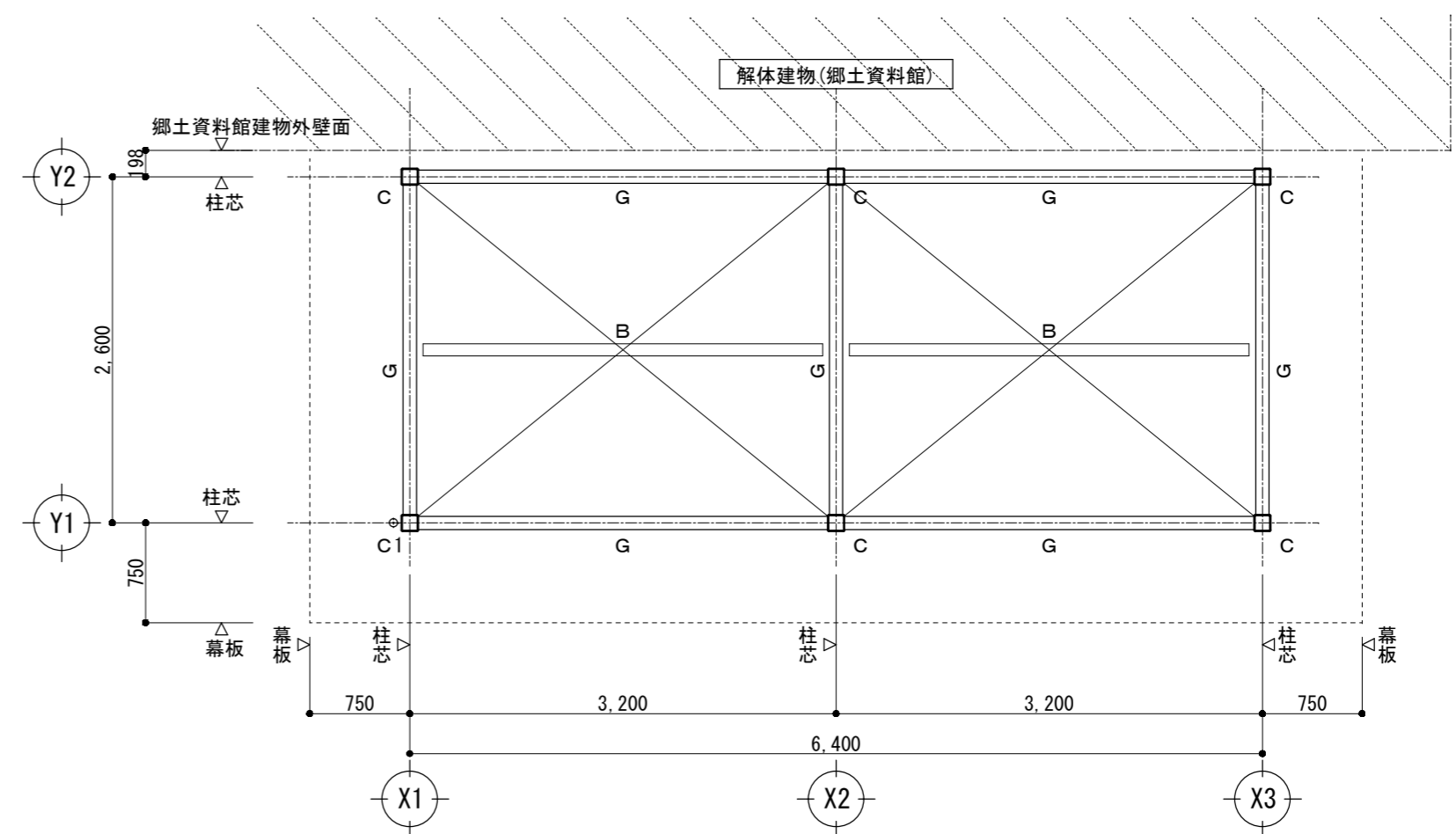
矩計図 S=1/50



東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50

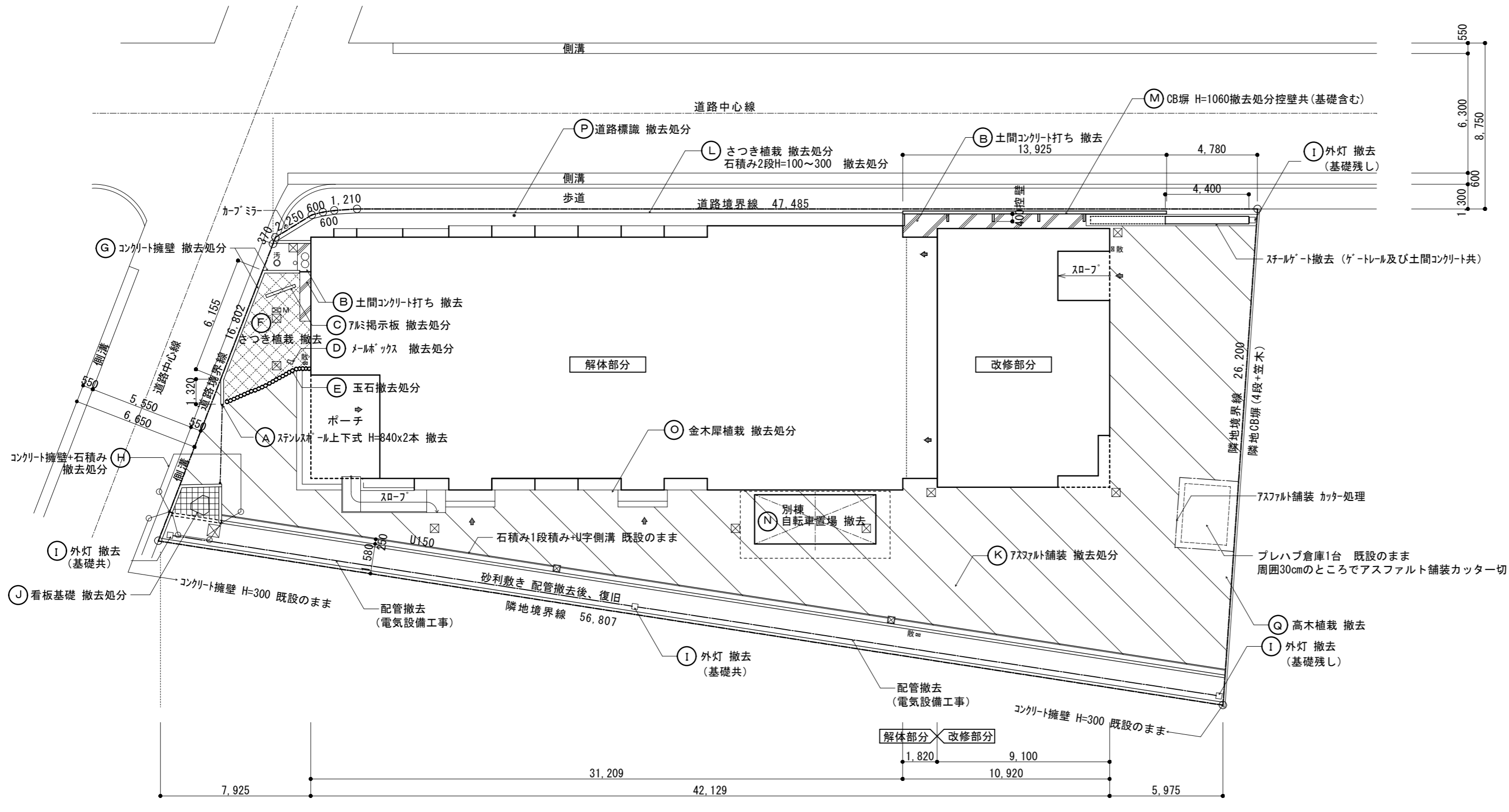
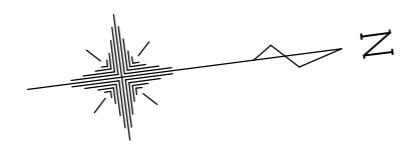


小屋伏図 S=1/50

リスト

C1	□-125x125
G1	H-200x100x5.5x8
B1	H-175x90x5x7
小屋ﾌﾟﾚｰｽ	16φ

参考

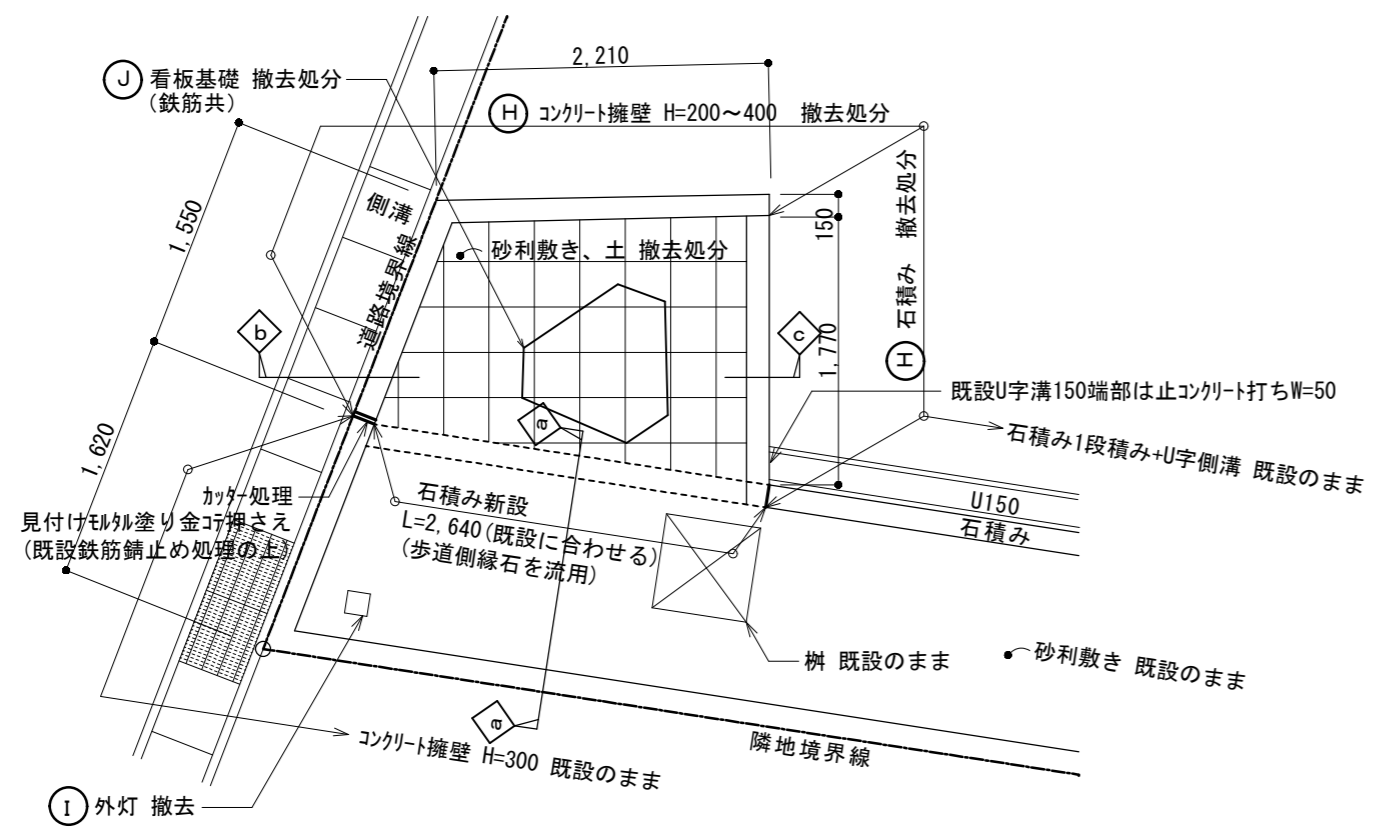


■撤去項目■ (別紙詳細図参照)	
(A)	ステンレス丸取り外し式 76.3φxH840x4本 撤去処分
(B)	土間コンクリート打ち t=100 撤去処分
(C)	7mm掲示板 (W1640×H1020+柱H700) 撤去処分 コンクリート基礎 (300角×300) 共
(D)	丸棒マウス (W390×D300×H190) + SUSφ17 38φxH1000 撤去処分 コンクリート基礎 (300角×300) 共
(E)	玉石 L=4900 撤去処分
(F)	さつき植栽 H=300×300φx14本 + 樹木H=1200x800φ 撤去処分
(G)	コンクリート擁壁 W=150、H=100~350 撤去処分
(H)	コンクリート擁壁 W=150、H=200~400+石積みH=100 撤去処分 (カッター処理) 砂利敷き、さつき植栽 H400×300φx6本共
(I)	外灯 撤去 4ヶ所
(J)	看板基礎コンクリート打ち 撤去 六角形900×330x750、基礎深さH=400部分石積み新設 L=2,640 (撤去済み石流用) (既設に合わせる) 既設U字溝150端部、止コンクリート打ちW=50
(K)	アスファルト舗装 撤去 プレハブ倉庫周囲: 周囲30cmのところをカッター一切処理
(L)	さつき植栽 撤去処分 H=300×300φx26本 石積み2段H=100~300 撤去
(M)	CB塀 H=1060撤去処分控壁共(基礎含む) 控壁@2400
(N)	自転車置場 撤去(別図参照) 鉄骨造 6400×3200xH2,450~2,400 屋根: ルーフタタキ(ケラバ・軒の出共750)、幕板: 既製品3方、鉄部: SOP塗り 基礎: コンクリート打ち 600x600 柱: □-125x125x6本、梁: H-200x100x5.5x8、小梁: H-175x90x5x8、 小屋トラス: 16φ
(O)	金木厚植栽 撤去処分 H=3000×100φx1本
(P)	道路標識 撤去処分: 丸-丸 H≠6.0m (五角形標識2枚、円形600φ2枚取外し)
(Q)	高木植栽 撤去処分 H=4500×250φx1本

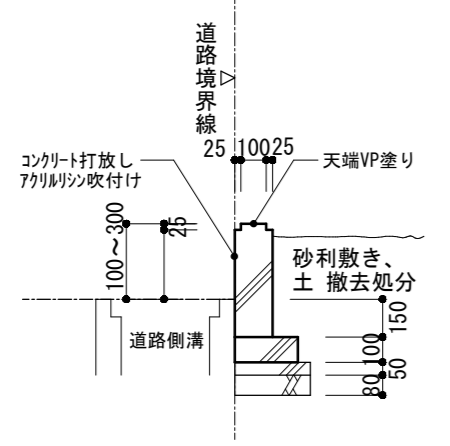
外構図 S=1/200

参考

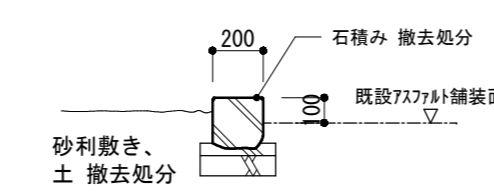
④ コンクリート擁壁他撤去処分 + コンクリート擁壁新設 S=1/50、1/30



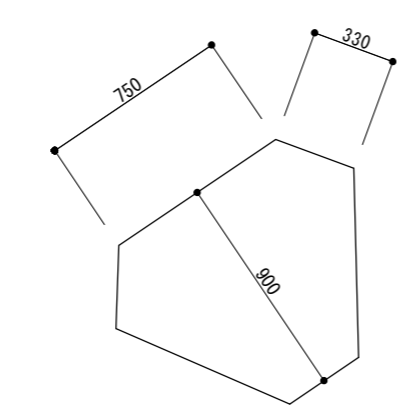
④① 拡大平面図 S=1/50



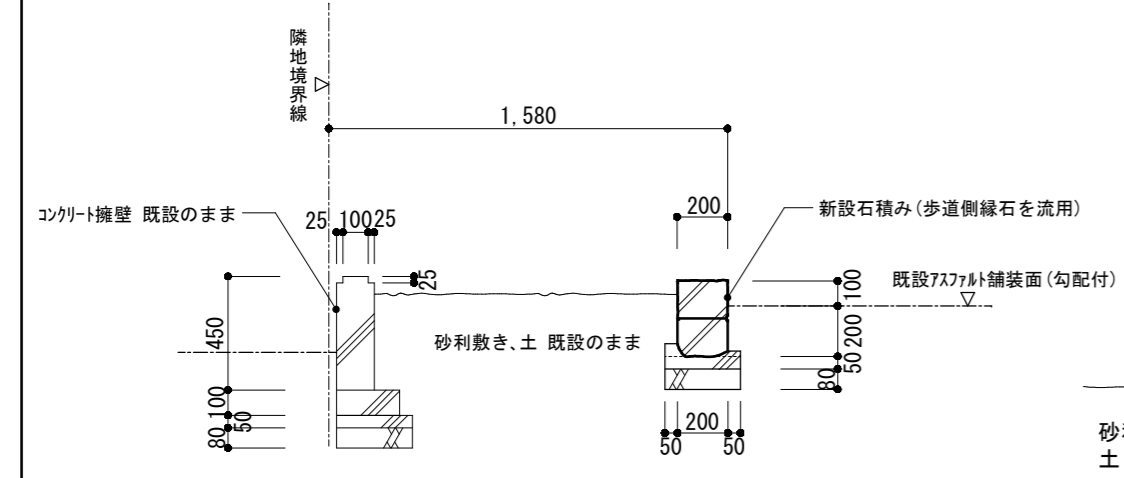
④b 拡大平面図 S=1/30



④c 拡大平面図 S=1/30

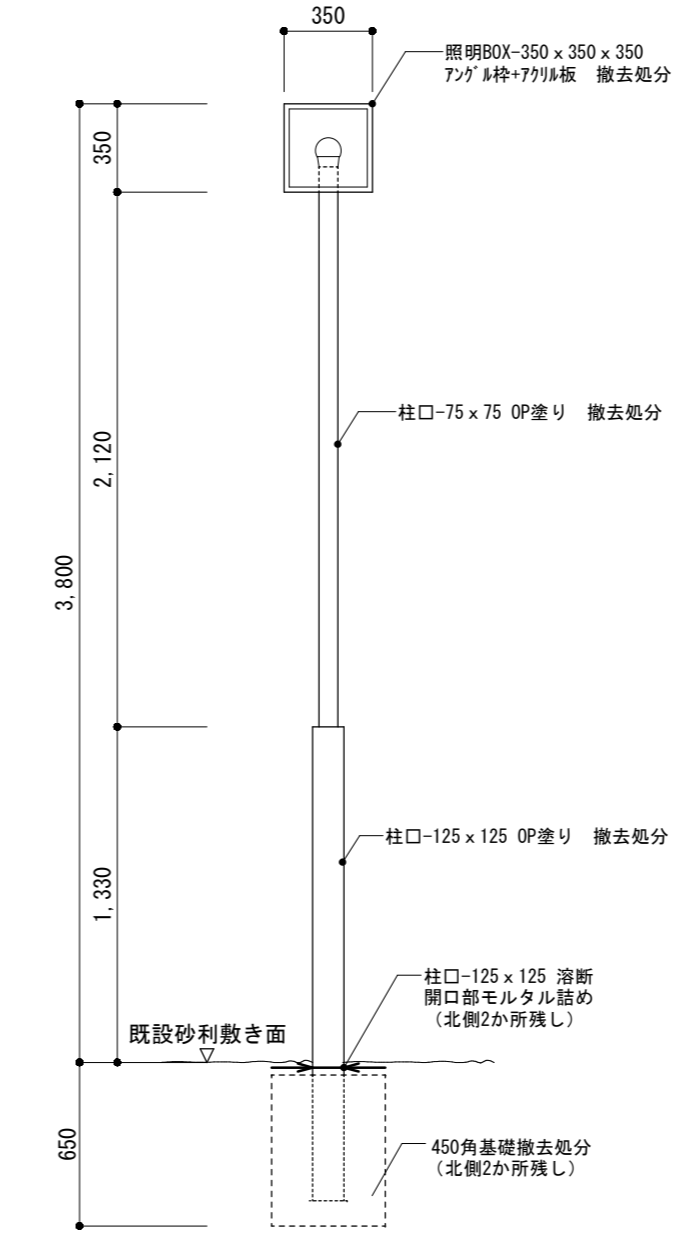


④j 看板基礎 S=1/30

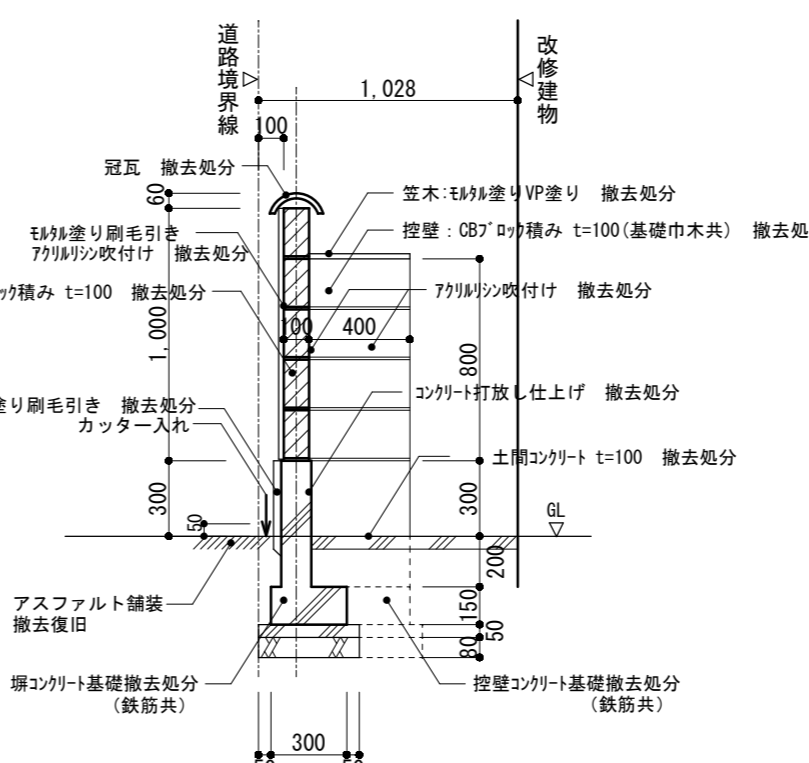


④-a 拡大平面図 S=1/30

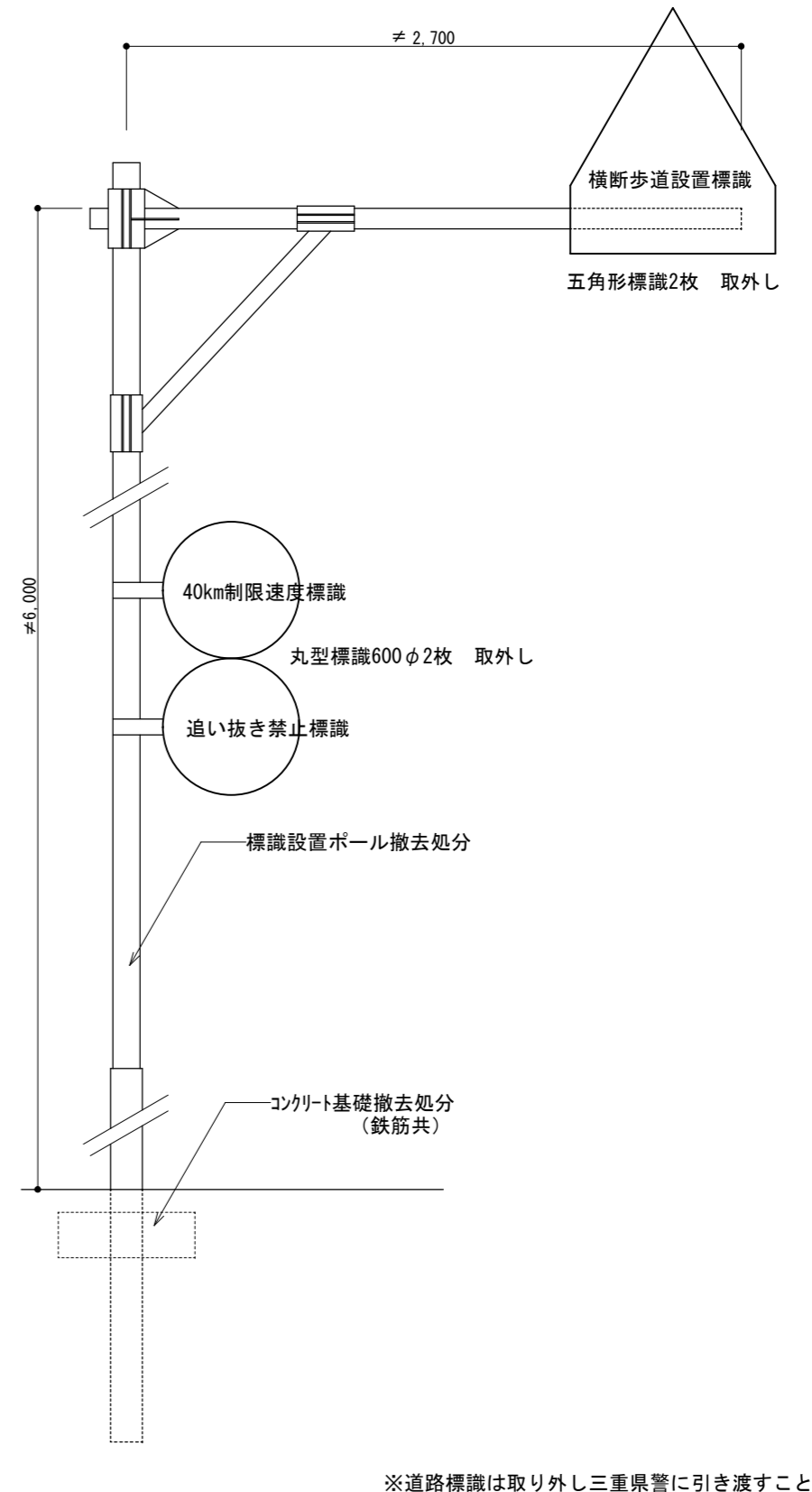
① 外灯撤去処分 4ヶ所 S=1/30



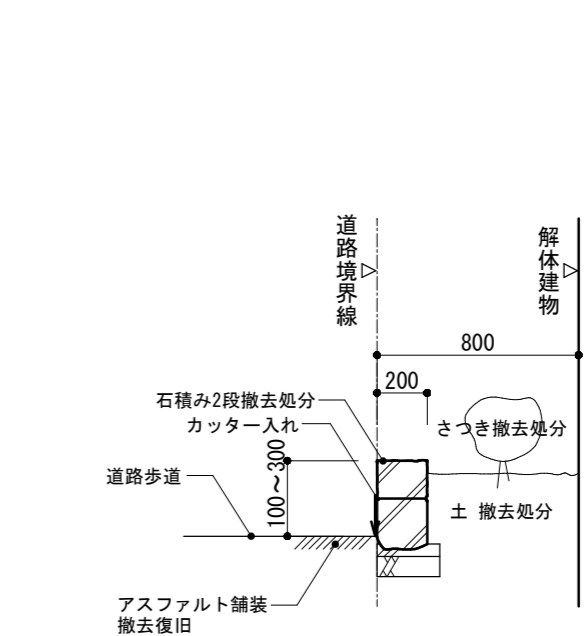
⑤ CB塀 H=1060 + 控壁 ⑥ 土間コンクリート S=1/30



⑦ 道路標識撤去処分 1ヶ所 S=1/30

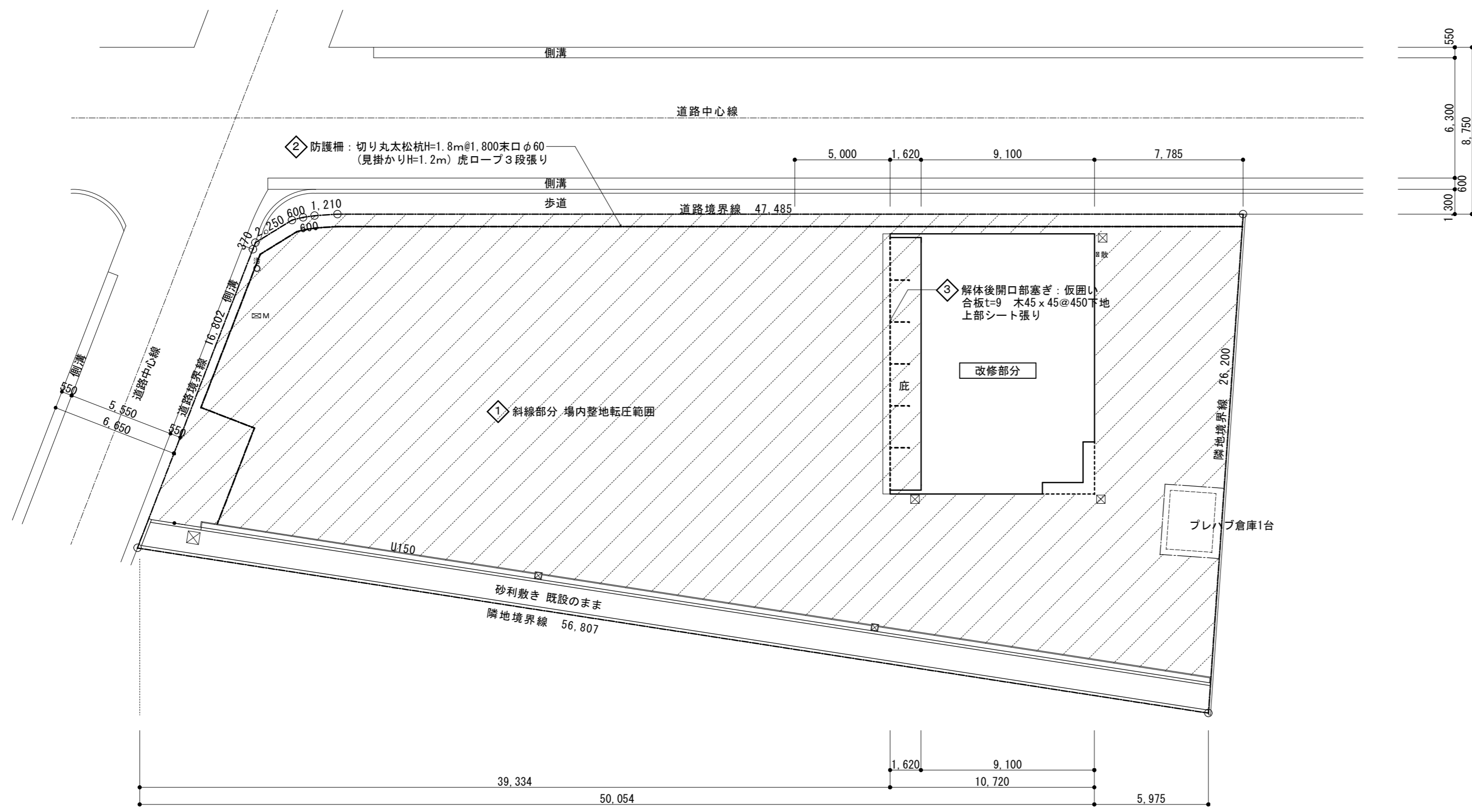
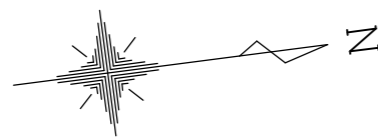


⑧ さつき植栽撤去処分 S=1/30



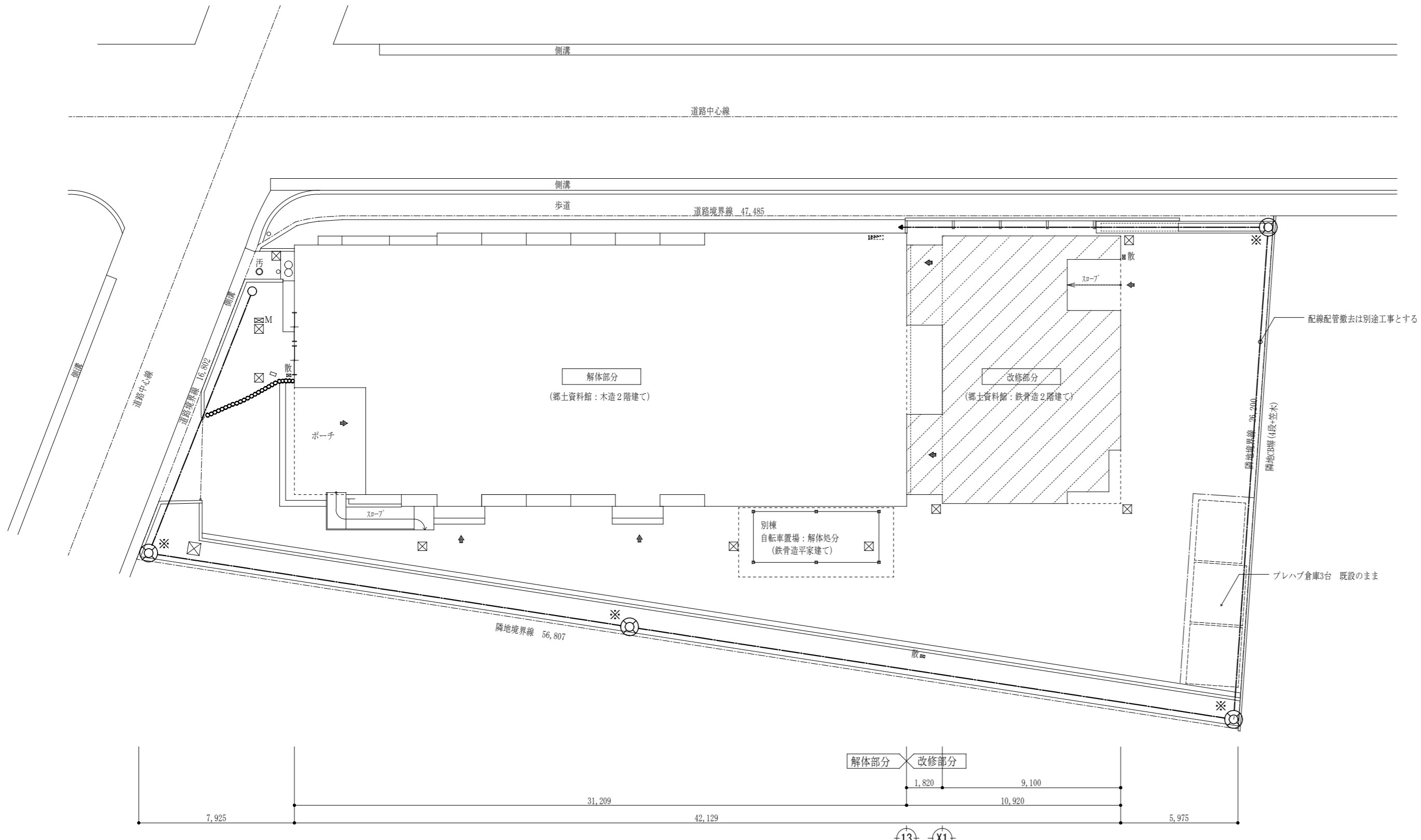
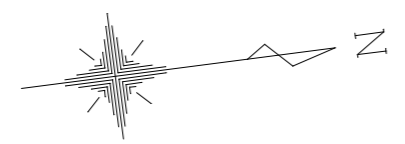
参考

※道路標識は取り外し三重県警に引き渡すこと。



■ 凡例 ■	
①	場内整地転圧
②	防護柵: 切り丸太松杭H=1.8m@1.800末口φ60 (見掛かりH=1.2m) 虎ロープ3段張り
③	解体後開口部塞ぎ: 仮囲いH=1.8m 合板t=9 木45x45@900下地 (控え含む) 上部シート張り

解体後敷地図 S=1/200



凡例	
記号	名称
○	ガーデンライト 1灯型
⊙	ホールライト HF100W×1

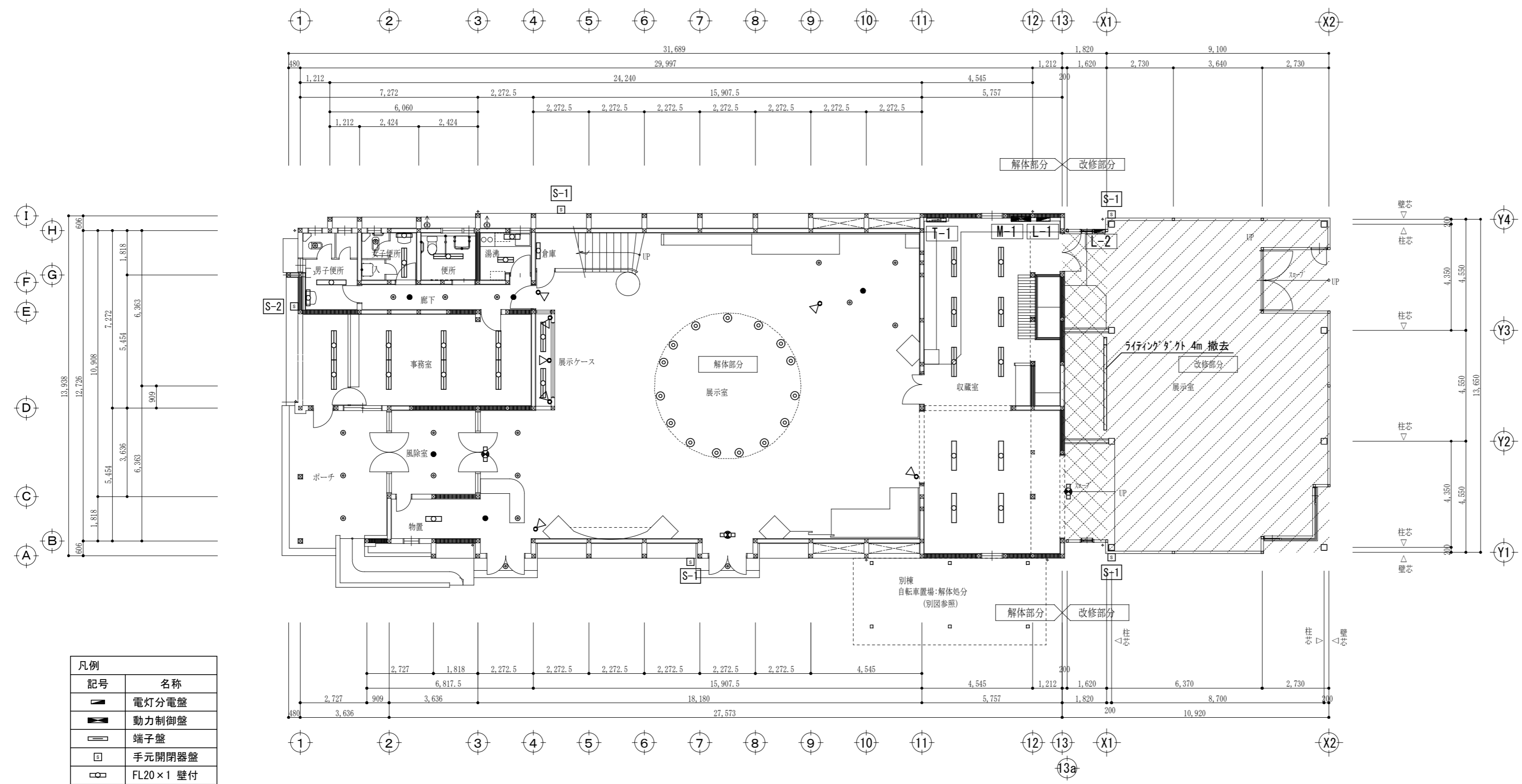
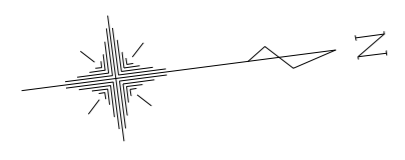
撤去照明器具リスト		
部屋名	型式	数量
屋外	ホールライト HF100W×1	4
	ガーデンライト1灯型	1

図中記入なき配線は下記とする
 CV5.5-3C(HIVE28) 配線配管撤去

※印の器具は、建築工事にて撤去とする

配置図 S=1/200

- 解体工事：郷土資料館 - 木造2階建て
- 自転車置場：自転車置場 - 鉄骨造平屋建て
- ▨ 改修工事：別注工事(鉄骨造2階建て)



1階平面図 S=1/150
※配管配線は可能な限り分別し撤去とする

撤去する盤内容は、下記の通り

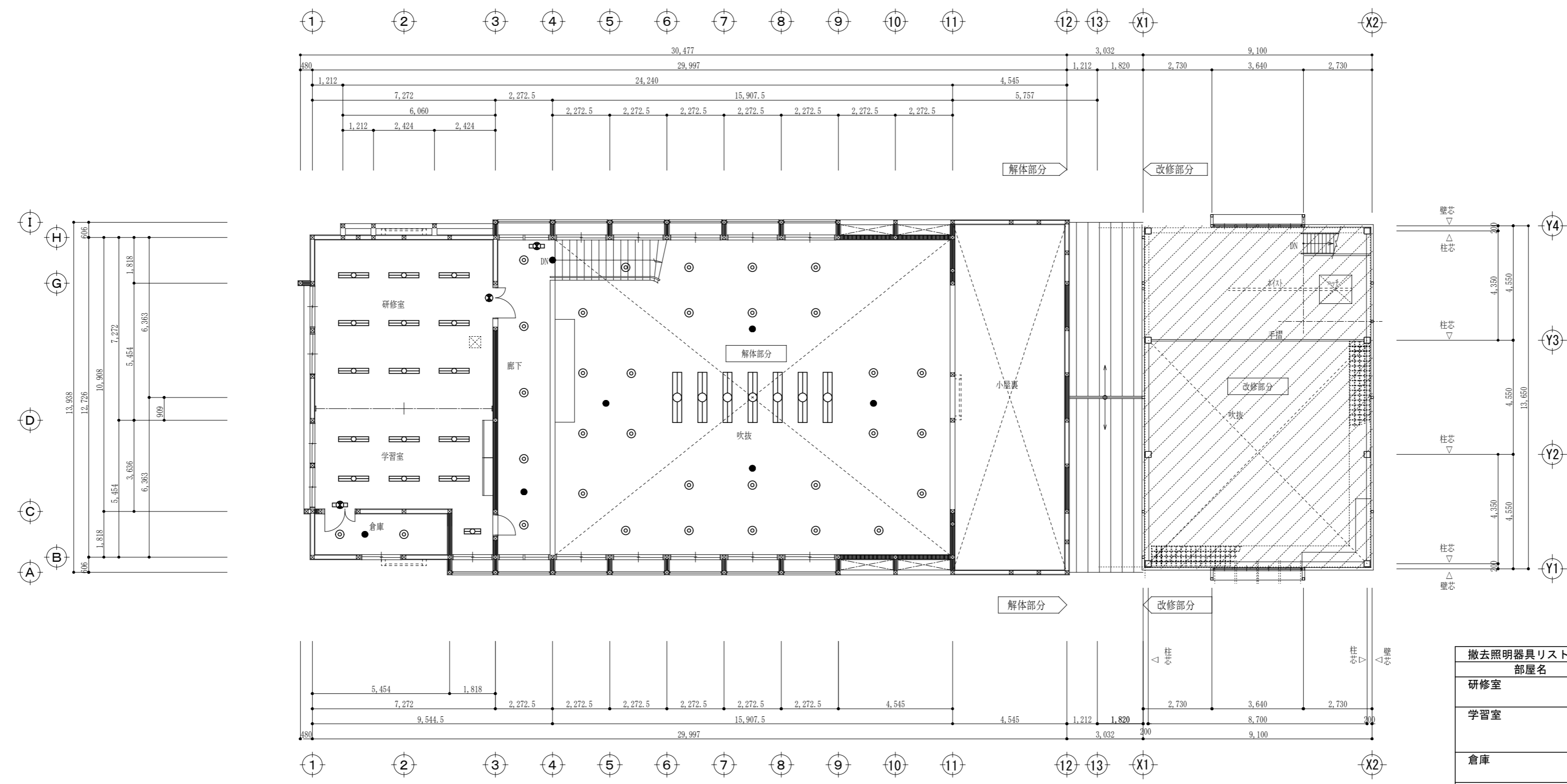
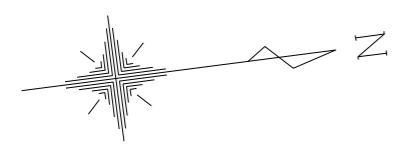
盤名称	型式	数量
L-1 銅板製	ELB3P100/100	1
	MCB2P50/20	2
	MCB1P50/20	37
	ELB2P50/20	1
	リモコンマス	1
	リモコンリレー	16
	自動点滅器	1
W:550×H:1600×D:150		
L-2 銅板製	ELB3P50/50	1
	MCB2P50/20	14
	リモコンマス	1
	リモコンリレー-20A	10
	W:550×H:900×D:150	
M-1 銅板製	MCB3P100/75	1
	ELB3P50/40	3
W:800×H:700×D:200		
T-1 銅板製	保安器1P	2
	保安器2P	1
	ブラスター	2
	2分配器	1
W:800×H:1400×D:150		
S-1 樹脂製	MCB3P50/40	1
W:200×H:350×D:150		
S-2 樹脂製	MCB3P100/100	1
	MCB3P60/60	1
	MCB3P30/30	1
W:500×H:600×D:200		

撤去照明器具リスト

部屋名	型式	数量
男子便所	FL40W×1 埋込	1
	ダウライト	1
	ブラケットライト	1
女子便所	FL40W×2 直付	1
	ダウライト	1
	ブラケットライト	1
便所	FL40W×2 直付	1
	FL20W×2 埋込	1
湯沸	FL20W×1 直付	1
	FL20W×1 直付	1
廊下	ダウライト	3
	非常照明 埋込	2
事務室	HF32W×2 埋込	8
	ダウライト	3
ポーチ	ダウライト	2
	非常照明 埋込	1
物置	FL20W×1 直付	1
	ブラケットライト	1
解体部分展示室	ダウライト	22
	非常照明 埋込	2
	スポットライト	4
	誘導灯B級	2
" (展示ケース)	FL40W×2 直付	2
	スポットライト	3
収蔵室	FL40W×2 直付	6
	FL40W×1 直付	4
	誘導灯B級	1
改修部分展示室	誘導灯B級	1
	ライティングダクト	4
屋外	ダウライト	2

凡例

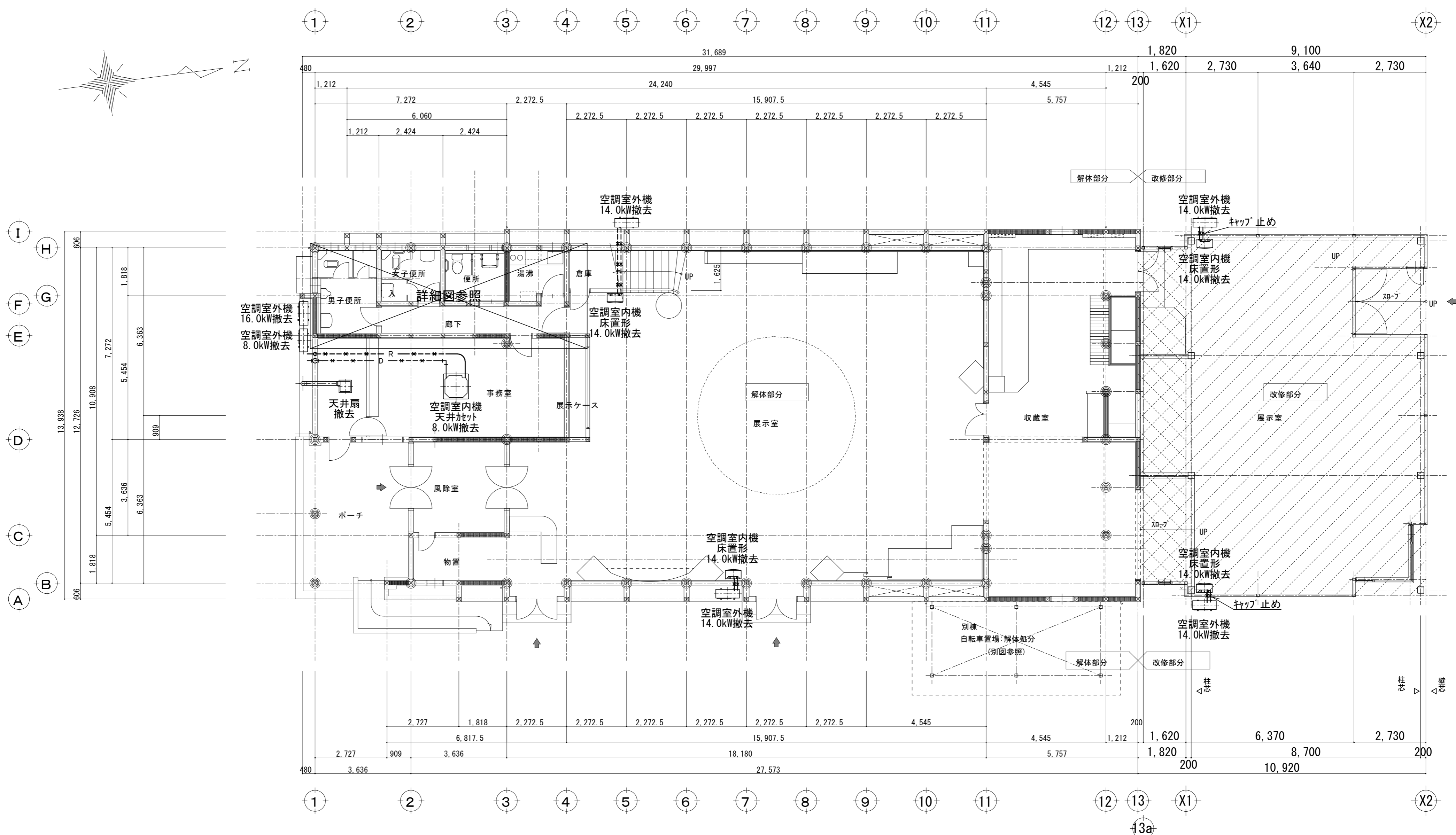
記号	名称
□	電灯分電盤
■	動力制御盤
□	端子盤
□	手元開閉器盤
□	FL20×1 壁付
□	FL20×1
□	FL20×2
□	FL40×1
□	FL40×1
□	FL40×2
□	誘導灯 B級
○	ダウライト
△	スポットライト
●	非常照明 埋込



2階平面図 S=1/150

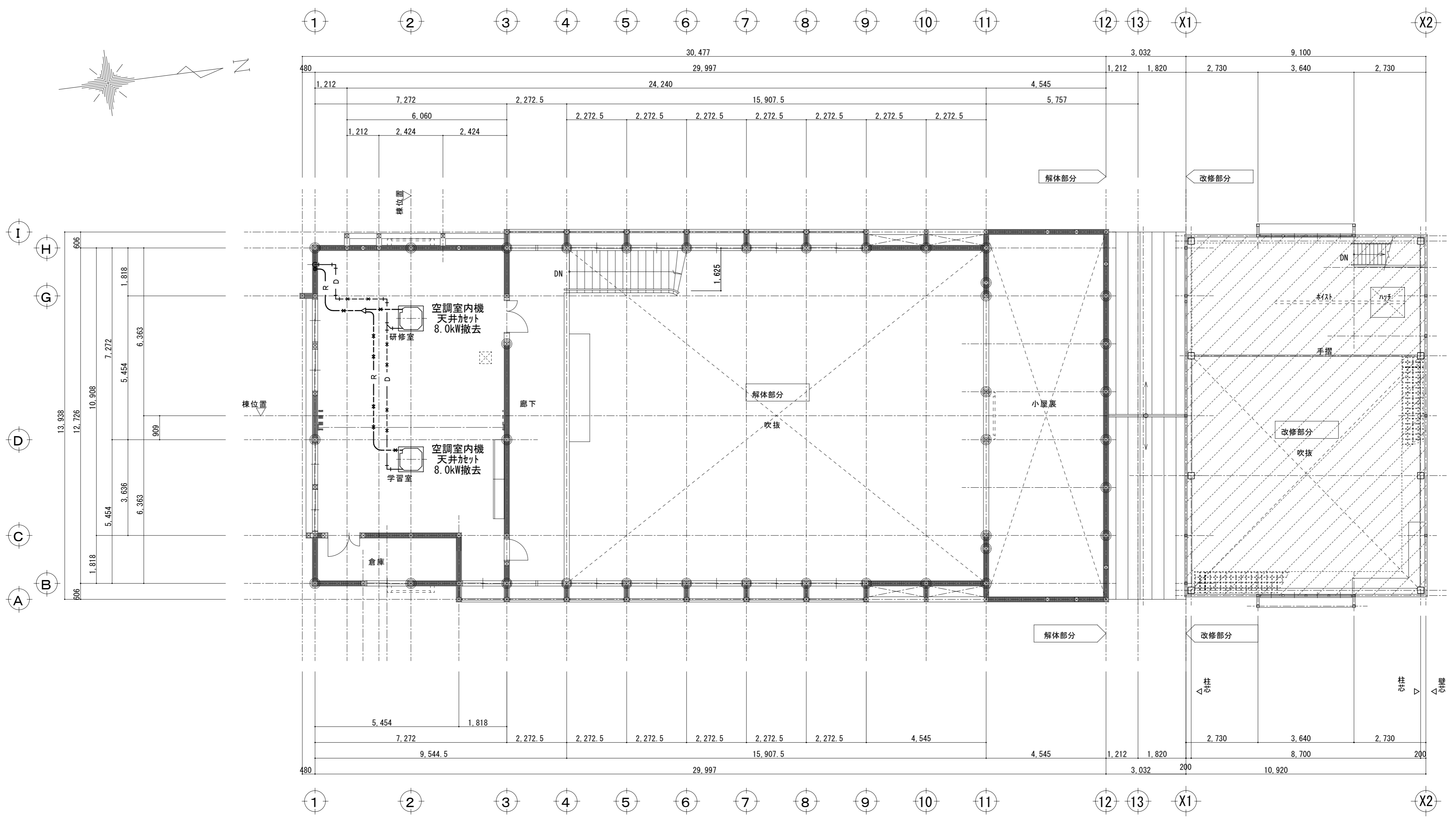
※配管配線は可能な限り分別し撤去とする

撤去照明器具リスト		
部屋名	型式	数量
研修室	FL40W×2 埋込	9
	誘導灯 C級	1
学習室	FL20W×2 埋込	1
	FL40W×2 埋込	6
	誘導灯 B級	1
倉庫	タ'クライト	2
	非常照明 埋込	1
廊下	タ'クライト	5
	非常照明 埋込	2
	誘導灯 B級	1
解体部分吹抜	FL110W×2 埋込	7
	タ'クライト	26
	非常照明 埋込	4



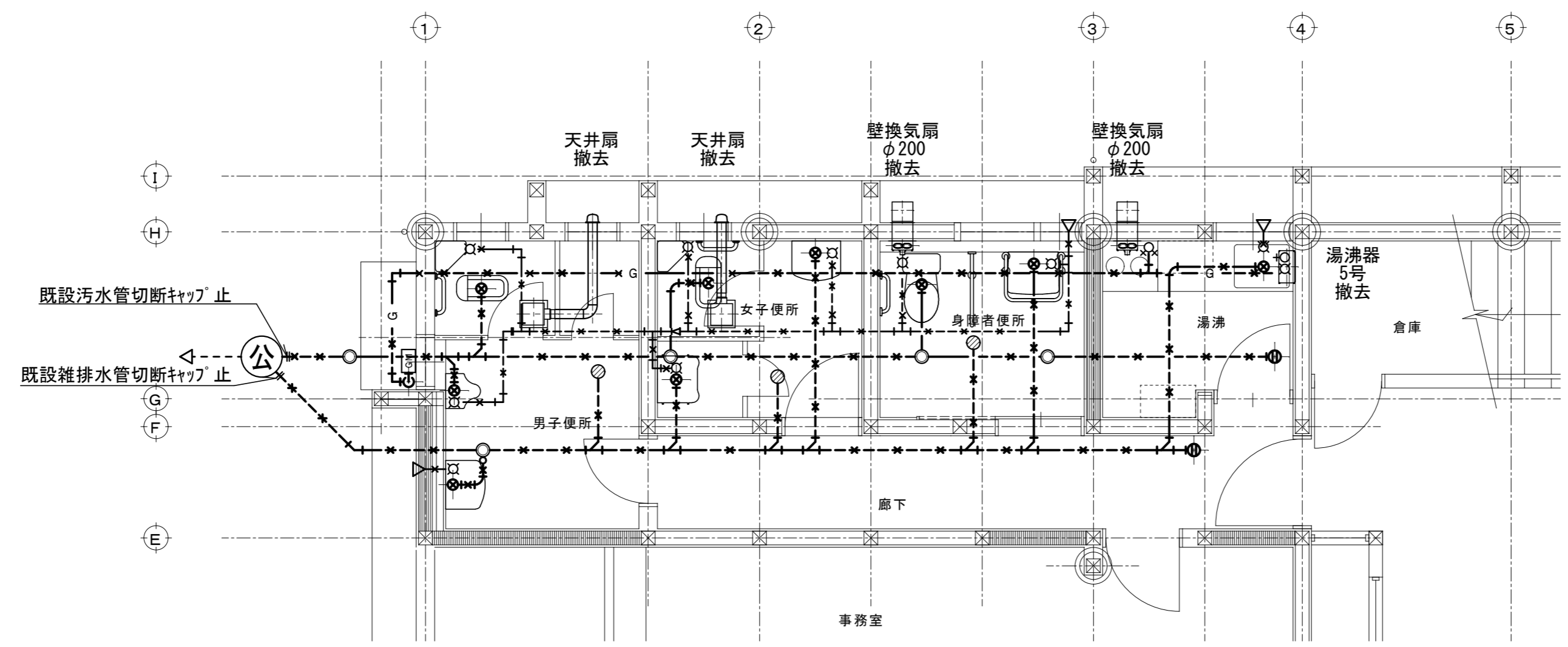
空調機、冷媒・ドレン管撤去

1階平面図 S=1/100



空調機、冷媒・ドレン管撤去

2階平面図 S=1/100



給水・ガス・排水配管撤去
 衛生器具撤去
 給湯器撤去
 換気扇撤去

既設撤去衛生設備 器具表

名称	仕様	設置箇所	男子便所	女子便所	身障者便所	湯沸	廊下	合計
洋風便器	C730、S730 (ロータンク)、紙巻器				1			1
和風便器	C750、S570B (ロータンク)、紙巻器		1	1				2
床置形小便器	U308、フラッシュバルブ		1					1
掃除用流し	SK322			1				1
壁掛洗面器	L230S、立水栓、水石嵌入		1	1	1			3
化粧棚	S-3		1	1	1			3
タオル掛			1	1	1			3
I型手すり	SUS製 L=600		1	1	1			3
T型手すり	SUS製 L=600				1			1
洗面器用手すり	SUS製				1			1
床排水金物	T5A-50		1	1	1			3
小口径樹			1	1	2			4
床上掃除口	COA-50					1	1	2